Haas School of Business
University of California
Berkeley
The
Setup
Manual
2009-2010

The Setup Manual
2009-2010
目次

I. ようこそUC Berkeleyへ

長くて辛い出願の冬を乗り越えての合格、本当におめでとうございます！卒業生、在校生を代表してお祝い申し上げるとともに、新しい仲間となる皆さんに心から歓迎のごあいさつを申し上げます。ようこそ！

小規模なMBAプログラム

ビジネススクールではできるだけ多くの人と会ってネットワークを広げたいと思っている方が多いことでしょう。ハースのMBAプログラムは、1学年約240人という少数精鋭で、トップビジネススクールの中では、最も小さい部類に入ります。そんなコンパクトサイズの学校でそうした豊かなネットワークを構築できるのか？…とちょっとした懸念を持っているとすれば、そんな心配は無用です。ハースのアットホームな環境はビジネススクールのメリットを「ヒューマンタッチ」で実現してくれます。これは、東海岸のマンモス校に比べ、ハースの大きな魅力の一つと言えます。
たとえ小規模とはいえ、ハースで出会う仲間たちは本当に多様なバックグラウンドと夢とアイデアを持った選りすぐりのリーダーたちです。ハースでは、勉強はもちろんのこと、世界に知られる教授陣や近い将来世界のビジネス界をひっぱるクラスメートたちと知り合い、交流を深め、フレンドリーな環境の下でネットワークを最大限に広げることができるのです。また、全36学部中35学部が全米Top10に入る、UC Berkeley全学のコミュニティーに容易にアクセスできることから、小規模校でありながらMBA外の授業やネットワーク機会にも非常に恵まれています。

インターナショナルな学生が多い

毎年、ハースMBAの35％強は海外からの留学生、また約7割が2ヶ国語以上を話すという海外比率は、米国トップスクール中最高です。サンフランシスコを中心とするベイエリアの文化の多様性ともあいまって、外国人学生に大変理解のある雰囲気とプログラムが用意されています。アメリカ人だけでなく、ヨーロッパ、アジア、南米諸国の学生など、普段なかなか接することのできない国の人達と机を並べて勉強できる経験は大変貴重です。

シリコンバレーと起業家風土

株式公開前の新進気鋭のスタートアップ、ニューエコノミーの旗手として90年代後半のアメリカ好景気の牽引役となったドットコム企業、最近ではClean-tech企業やBio-tech企業…。ハースはこうした流れのど真ん中に位置する恵まれた環境にあります。シリコンバレーの起業家やVCたちがキャンパスに次から次へとやってきてはインフォーマルなスタイルで経験を語り、MBA学生をサポートします。起業のクラスでは実際にビジネスプランを書き、VCへのプレゼン（ピッチ）を練習し、実生活さながらのシミュレーションが展開されます。現在全国から注目を集めているのはビジネスプランコンペティション。「明日は起業」の夢を持った学生がベイエリアのアントレプレナーたちと一緒になってVCファンドの獲得をめざすこのコンペはハースならではの起業家精神あふれる催しを具現化したイベントです。
こうしたホットな立地と起業家風土は今のビジネスリーダーたちからも高い評価を受け、ハースに対する各方面からのランキングの上昇に貢献しています。また、フォーチュンアジア誌がハースをビジネススクール1位にランクしていた事も、アジアにおけるハースおよびUCバークレーの知名度の高さを知る目安となるでしょう。

また、将来はNon-profitsの分野での活躍を目指してくる学生がハースには非常に多く、それもハースを特徴付ける重要な一面となっています。これらクラスメートとの交流を通じ、色々な視点から物事を観察・分析する機会にも恵まれ、起業家、企業人としてもCSRの観点を含めて大いに刺激をうけることができるでしょう。ただ、このような卒業後の就職先と比較的小さいクラスサイズもあり、卒業後の給料比較で他のビジネススクールより低くなる傾向にあり、結果として一部のランキングではハースがトップ10外にランキングされたりしているケースもありますが、これもハースの特徴の一つです。

各分野に優れた教授陣

カリフォルニア大学バークレー校は、キャンパス全体で現在10人以上のノーベル賞教授を抱え、これは、ハーバード、MITに次ぐ人数を誇っています。こうしたアカデミック・エクセレンスを背景に、ハース・スクールも各分野に全米でも5本の指に入る教授陣が名を連ね、レベルの高い授業を展開していきます。技術・製造戦略分野ではオペレーションのベックマン、ハイテクマーケティングのグレイザー。グローバル経済ではオバマ政権のアドバイザーにも任命されたタイソン、イノベーションの分野では、"Open Innovation"の著者でもあるチェスブロー、組織・人的資源管理の分野では、Kelloggで教鞭をとった後、母校バークレーに凱旋したチャットマンらの有名教授がいます。こうしたことから、ハースはリサーチ分野においてもビジネススクールの上位にランキングされています。

ケース、レクチャー、プロジェクトのベストミックス

ケーススタディ、レクチャー、そしてグループプロジェクトの比率も実はハースの魅力の一つです。また、ケーススタディは実務を知るという意味で貴重な手法ですが、ケースばかりで実際の理論やモデルの講義を受けないというのもバランスが悪いのではないでしょうか。ハースではケースとレクチャーがおおまかにいって半々。バランスの取れたプログラムとなっています。
また、クラスメートたちとの交流を深めるグループプロジェクトはビジネススクールの大きな特徴の一つですが、その一方で過多なグループプロジェクトは外国人学生にとって重荷ともなります。チームプロジェクトの比重はそれでもかなり重いですが、それでのほかのいくつかの学校に比べればほどよい比重だと言えるのではないでしょうか。

最新設備の整った校舎

96年にビジネススクールの新校舎が完成しました。UCバークレーキャンパスの中でも最も美しく、最も耐震性の高い校舎です。教室、教授棟・スタッフ棟をはじめ、図書館、コンピュータセンター、カフェテリアなど、すべてが機能的にまとまった素晴らしい環境です。

生活し易いバークレーの環境

バークレーの位置するサンフランシスコ・ベイエリアは、アメリカの大都市の中でも、常に人気都市の上位に選ばれています。また、歴史的に日本とつながりも深いことから、日本人にとっての過ごしやすさは格段です。まぶしい太陽の光と真っ青なカリフォルニアの空に抱かれ、オフタイムにも気軽にショッピング、スポーツ、アート、レストラン探索、ナパをはじめとする近郊のワイナリーめぐりなどが楽しめますので、単身の方はもちろん、ご家族と共に住む場合も抜群の「クオリティー・オブ・ライフ」を満喫することができます。

確かに、最初の学期は、きついワークロード、スピード感あふれる授業展開等に戸惑われるかもしれませんが、春学期からは思う存分、自分の問題意識に合わせて勉強するなり、クラブ活動などを通じて学生との親交を深めるなり、ニュー・ビジネスを起こすなり、充実した素晴らしい日々を過ごす事ができるでしょう。

このマニュアルのご利用にあたって

このセットアップマニュアルは、UCバークレーのMBAプログラムや、バークレーでの生活について日本にいる間に知っておきたい情報を、合格者の皆様にお届けするために、日本人MBA在学生が協力して作成したものです。
先輩方から長年蓄積された情報・ノウハウに加え、最新の情報をできるだけ織り込んだつもりです。我々の経験から言っても、セットアップの期間はもちろんのこと、その後も様々な場面でこのマニュアルは大変役に立っています。是非、隅々まで目を通していただき、バークレーでの生活を立ち上げるために、また本校のプログラムに対する理解を深めていただくために、御活用いただければ大変幸いです。

ただし、当たり前のことですが、ここに盛り込まれている内容がわれわれの持っている情報のすべてではありません。渡米に際しては、いろいろと不安に思ったり、悩んだりすることがあると思います。私たちもみんな同じ経験をしてきました。そういうときには、遠慮せずに我々新2年生に直接聞いて下さい。
また、同じ事柄についても、当然ながら人によって見方は異なります。たとえば住居探しについての考え方は独身の人と既婚の人では見方が違うでしょうし、授業の面白さや難易度についての見方も、そのひとのバックグラウンドや興味によって様々です。このマニュアルはできるだけ客観的な事実を中心に記載してありますが、ここに書かれたことを絶対視せずに、できるだけいろいろな人の意見を聞いてみることをお奨めします。

最後の章に新2年生の連絡先をまとめました。これらを参考にして、電話でも電子メールでもかまいませんので我々とコンタクトしてみて下さい。また、我々はhaas2011j@yahoogroups.jpというメーリングリストを持っています。特に、夏の間は旅行やサマージョブでバークレーを留守にしていることもあろうかと思いますので、質問があればこちらに電子メールを送っていただくのが確実かも知れません。

また、初めてバークレーにいらして、苦しい家探しをする時の拠点として、新2年生の家や車が空いているかもしれません。どんなことでも結構です。ぜひとも連絡してみてください。必ずお役に立てると思います。

また、既にご存知の方も多いかも知れませんが、日本人向けサイトにも参考になる情報があるかも知れません。初めての方は是非visitしてみて下さい。

http://groups.haas.berkeley.edu/japan
また、もし合格者の方の中で、手元にマニュアルの届いていない方がいらっしゃったりしたら、上記のメーリングリストに宛ててその旨申し出るよう教えて差し上げてください。Eメールなどの手段でいち早くお送りします。

どうぞ十分に期待してバークレーにいらして下さい。8月にキャンパスでお会いできるのを心から楽しみにしています。とりあえず、みんなでガンガン飲みましょう！！そして、学年に関係なく、一緒にバークレーでの学生生活を満喫しましょう！

2009年3月
日本人MBA新2年生一同
ハース・スクール・オブ・ビジネス
カリフォルニア大学バークレー校

II. バークレーとベイエリアの生活

なんといっても生活環境は重要な関心事。そこで、まずこの章では、バークレーとベイエリアでの生活環境をとりあげることにします。

1. 気候

バークレーを含むベイエリアは一年を通して非常に過ごしやすく生活のしやすい環境です。夏は涼しく冬は暖かく、日中気温も7-8月でも30度を越えることはあまりなく、1-2月の最低気温も5度を下回ることは稀です。しかしながら、やっぱり冬は寒いと思います。特に日中の温度差が激しいと思いますので、冬は当然、ダウンジャケット等が必要です。冬も暖かいと勘違いしないように。

みなさんがこちらに到着される夏の間はほぼ毎日晴天が続きます。ただし、一日の間での寒暖の差はかなりあり、昼間半袖を着ていても、夜は薄手のセーターやジャンパーが必要になったりします。ちょうど夏の軽井沢のような気候です。

10月以降はさすがに気温も下がりますが、11月にインディアンサマーと呼ばれる1週間で夏が戻ったかのように暑くなる日が続き、それ以降は雨期に入り、数日にわたってしとしとと雨が降る日が続きます。 3月に入れば、もう太陽は夏色で、シミ・そばかす対策やサングラスが必須です。4月頃は夜8時ごろまで明るくなり、バークレーから見てゴールデンゲートブリッジの向こうに沈んでいく夕陽が空を染めていく様子が毎日美しく眺められるようになります。年間を通じて空気が乾燥しています。肌あれに御注意を。

2. 衣類

毎日の学校生活では、Tシャツ、トレーナーにGパン、短パン、スニーカーというラフなスタイルが一般的です。

一般的な服装の例を挙げると、夏（4月から10月）は、日中はTシャツとチノパンでいいのですが、朝晩の気温を考えると、トレーナーやジャンパーは持って歩いたほうがいいです。冬（11月から3月）は長袖のシャツ、セーターにGパン、プラスしてジャケット/ダウンジャケットを着る(朝夕は結構冷えます)といったところ。日本でいう11月ごろの服装と思えばいいと思います。冬に東海岸に行くときと、自転車通学の方以外はヘビーなコートや手袋マフラーは必要ないでしょう。

カリフォルニアのビジネススーツは「ビジネスカジュアル」と称される、これまたカジュアルな服装が大半ですが、インタビューの場合は例えシリコンバレーの会社でも、基本的にはスーツです。ビジネスカジュアルは基本的に「Tシャツ、Gパン、短パン、スニーカー、サンダル以外でジャケット着用」と覚えておきましょう。Yシャツにスーツのズボンをはいている学生も多くいます。最初のオリエンテーションの会合で「ビジネスカジュアル」という指定を見たらこの基準をあてはめてください。

なお、学校のパーティーでフォーマル指定（男性はブラックタイ、女性は黒のノースリーブワンピースなどが一般的）になることも年に1～2回ありますが、それはそのときに考えれば大丈夫でしょう。

衣類・靴はこちらでは日本より原則安く、サイズも豊富ですので、どうしても日本から持ってこなければいけないということはないかと思います。（アジア系の移民の多いこの地域では日本人的体格に向けたサイズも本当にたくさんあります。）強いて言えば着物（浴衣など）を持ってくればパーティーのときなどにウケルという程度です。特にハロウィーン用の衣装は日本の方が充実しているのでFancyな衣装を持ってくるとHero/Heroineになれるかもしれません。

3. 治安

学園都市としてのイメージがある一方、60年代・70年代にはヒッピー文化の牽引役となった歴史から、リベラルな雰囲気も合わせ持つバークレー。ホームレスも多く、キャンパス周辺、テレグラフ通り、ユニバーシティー通りとそれより南側（特にサクラメント通りより西側）のエリアなど、一部の地域で治安が万全とは言えない箇所もあります。ただし、これらの地域にも学生たちは多く住んでいますので、常識的に生活している上では問題がなく、アメリカで安全に暮らすために必要な心構えがあれば大丈夫ということです。つまり、「夜間の一人歩きは絶対にしない（キャンパス内も含む）」、「危ないエリアに用もなく行かない」「車の外から見えるところに物を置かない」、「財布を人から見えるように持たない」などアメリカで初歩的な安全ルールを常に心に留めておけば大丈夫。こちらに来られればそういった生活習慣にはすぐに慣れてしまわれると思います。

尚、以下のサイトで全米の犯罪発生状況がわかります。

http://www.crimereports.com/

III. 出国まで（出発準備編）

1. ビザ申請

留学先が決まったら、まず行うべきなのがビザの申請。早すぎるということはありませんので、すぐに準備を始めましょう。詳細はアメリカ大使館のサイトを熟読してください。

http://japan.usembassy.gov/j/tvisaj-main.html

主なステップとしては、

(0) パスポートがない場合はまずパスポートを取得する (1) 学校から合格者宛に送られてくるパンフレットの指示に従い、必要書類を郵送などする

(2) 上記ウェブサイトに従い、必要書類を準備する

(3) I-20を入手する（書類郵送、送金、郵送で受け取る、など数週間はかかります）

(4) 書類が揃ったら、大使館での面接を予約する（上記サイトで予約可能。1ヶ月先まで予約がいっぱい、ということもよくあります。要注意！ 東京では間に合わないので、沖縄の大使館までわざわざ申請に行った人もいます）

書類郵送からI-20受け取りまでの期間は、申請時期によって異なるようですが、概ね1ヶ月程度を見ておくとよいでしょう。

なお、大使館の面接予約はI-20を受け取る前でも可能です。2008シラトリの場合は、I-20の到着を書類送付後1ヶ月と見込んで、学校に必要書類を郵送すると同時に1ヶ月先の面接を予約しました。

留学目的の入国の際は、原則としてパスポートと米国ビザ及び財政証明書を添付したI-20が必要です。 ビザの種類は通常の場合留学生ご本人はF-1、同伴ご家族はF-2となります。 この種類のビザでは、米国内での就労は原則不可能です。 ただし、F-1保持者本人に限りプラクティカルトレーニングという名目で、通算12カ月までの就労は認められています。 サマージョブをする人は、この枠を利用することができます。(この法律も将来的には変わる可能性があります)。 また、GSI (Graduate Student Instructor：教授の授業をサポートし、ディスカッションセクションと呼ばれる補習授業や採点作業を受け持つ) や学校内でのリサーチ業務は留学生の採用も認められています。 F-2の方は、就学はできますが就労は禁止されています。 各種ビザでの就労、更新、海外旅行、卒業後の問題等に関しては、学期開始後すぐに詳しいセミナーがあります。

上記の F-1/F-2 以外に、J-1(本人用)/J-2(配偶者用)があります。このビザの主なメリットは配偶者が米国に於いて就労可能という点です。デメリットとしては、配偶者が実質的に米国の保険に加入しなければならず（例えば大学が扱うDHIPというプラン）、日本の損保の保険と比較して割高になるという点が挙げられます。J-1/J-2 取得の為には年間 $2,000 以上の財政援助を家族以外から得ていることが必要となります。この J-1/J-2 を希望する場合は、前述の I-20 の代わりに IAP-66の交付を大学に申請します。詳しくは Berkeley International Office (Tel: 510-642-2818) まで問いあわせて見てください。

http://internationaloffice.berkeley.edu/index.php

また、有限会社フォーシーズという会社が運営している「アメリカビザ情報」も参考になるかも知れません。

http://www.usvisa-service.com/

I-20には正規の授業開始（通常8月下旬の予定）の日付が記入されており、その30日前（08年の場合は7/29）から入国することができます。後述するサマーワークショップはこの授業にはカウントされません それ以前に入国される場合は、一般的には、サマースクール用の I-20で入国し、後で書き換えることになりますが、後述するUCバークレーのサマーセッション（Summer Sessions）に参加する場合は、先にサマーセッションの登録を完了してから、International Officeに申請を行い、MBAプログラムとサマーセッションの両方をカバーするI-20を発行してもらう流れになります。 ちなみに、他校のサマーセッションに参加する場合は、他校のI-20でVISAを取得・入国し、サマー終了時に、他校からStudent情報をUCB宛にReleaseしてもらった上で、UCBのI-20を当地で受け取るというプロセスになります。F以外のビザ、または無ビザ（ウエーバープログラム）で入国してから切り替えることは不可能ですのでご注意ください（過去にB-1ビザで入国していて切り替えに半年かかると言われ、帰国を余儀なくされた例もあります）。 申請の手続きはUCBのレジストレーションオフィスから正式なI-20取得案内が郵送されてきますので、そちらの指示に従って早めに郵送してください。

ご家族も渡米される場合には、別途家族用I-20を取得することを忘れずに。I-20が大学から郵送されてきたら、大使館等へ直接行く必要があります。（当日はセキュリティ管理の為大使館への入管に時間がかかりますので、予約の時間の前に余裕を持っていかれることをお勧めします。また午後の時間は午前の手続きの遅れが響いていることが多いので、予想以上に待たされることもあるようです、できれば午前中の早い時間に予約を取られることをお勧めします。） 駐日米国大使館では、ビザ取得に関する有料(結構高い）情報電話サービスがあります。郵送、出頭申請などさまざまな形がありますので、旅行ガイドやこの情報電話サービスで申請方法をよく確認してください。郵送手段をとられる場合は、1週間から10日かかります。自費留学の方は証明のため、英文の預金残高証明書を銀行から事前に入手しておいてください(ビザ申請、入国時に必要です)。

家族を同伴する場合、大学からI-20を受け取ったら必ず家族の氏名が正しく記載されているか（表面のRemarksの欄）確認すること。特に、渡米直前に入籍される場合はご注意下さい。当然結婚後の氏名が正しく記載されている必要があります。（パスポート・国際免許等も同様です。）多くの大学で例年トラブルが頻発し、一緒に渡航できないケースをよく聞きます。I-20関連は出国前の最も重要な点ですので、不安な点はBerkeley International Officeによく確認して完璧を期すことです。

ご承知の通り2001年9月11日のニューヨーク世界貿易センター他爆破事件の影響として、日本人を含め外国人へのビザ発給の審査が厳しくなり、その為時間を要することが懸念されます。1日でも早くビザを申請されることをお勧めします。

（米国大使館情報電話番号）

札幌 0990－5－43115　仙台 0990－5－26200

東京 0990－5－26160　大阪 0990－5－12122

福岡 0990－5－00588

2. 国際免許の取得

現地での運転免許証の取得は一定期間かかりますので、当座の為に国際運転免許証を取られると便利です。 国際運転免許証は、日本での免許さえあれば運転免許試験場等で1～2時間で簡単に取得できます。

現地での免許証の取得については、後述の「免許取得」（Ⅳ. 生活スタート編）を参照してください。

3. 自動車保険・傷害保険

現地での自動車保険、障害保険には、

a) 現地で加入
b) 日本の損害保険会社を通じて加入(JALファミリークラブを利用、など）

がありますが、新2年生の多くが、以下のJALファミリークラブ海外赴任者総合保障制度（AIU保険）を利用しています。特に現地で自動車保険に加入する予定がある場合は、非常に便利です。海外旅行傷害保険は、東京海上、安田火災などの日本の損害保険会社でも扱っていますが、詳細は各保険会社のウェブなどを参考にしてください。

>JALファミリークラブ・海外赴任者総合保障制度とは？

JALファミリークラブが、会員向けに提供している保険制度。

特長

- アメリカでの自動車保険料が安くなる
- 基本プランで、借家人賠償責任などもカバー
- 事故処理などの手続きが、日本語でできる

加入手順

1） JALファミリークラブに入会する
2） 海外赴任者総合保障制度の申し込み
3） 現地で車を購入後、自動車保険加入手続き

まずは、1)と2) の手続きが必要です（年会費がそれぞれ10,300円、45,000円）。日本でのこの手続きに最低3週間から4週間はかかるので、早めに準備をしてください。詳細は下記に連絡をとって、パンフレットを参照してください。また、JALファミリークラブの会費は「JALカード」から引き落とされるため、同時にJALカードへの申し込みも必要となります。私費の方は会社員のステータスがあるうちに、こちらのカードの申し込みもお忘れなく！

JALファミリークラブ事務局

TEL:03-5460-3999

http://www.jal.co.jp/jalmile/jfc/

2)の保障制度(の基本プラン)では、自動車事故、失火による損壊などを　二億円までカバーします。が、免責金額があり

(対人一人10万ドル、一事故30万ドル、対物一事故2万5千ドル)、この部分を現地での自動車保険でカバーする必要があります。

3)の自動車保険については、基本的には現地でどの会社のものに加入してもかまいませんが、上記の免責金額を満たさなければなりません。AIU(ファミリークラブ)で申し込むと、現地の自動車保険会社は自動的にUSAAになります。この場合加入手続きは電話一本で済み、料金も割安です(車種、住所、既婚/未婚などにもよりますが、半年で500ドル～1000ドル程度)。

(Ⅳ 生活スタート編　7章「自動車保険」参照)

4. 健康保険

健康保険には、

a) UCBの大学保険を利用

b) 日本の保険のもちこみ

c) 医療障害保険(駐在員保険、留学生保険など)

があります。

a) 授業料には大学のヘルスセンターが無料で診療してくれる大学保険がついています。2002年から、歯科もカバーするようになりました。これを利用する場合、手続きはすべて八月半ばに学費を支払った後となります(**Ⅳ　生活スタート編参照)**。

b) 一時本人の立替による会社からの払い戻し(もしくは日本の通常の健康保険の持ち込み)

日本の保険であれば当然本人一部負担分がありますし、また医療費の高いアメリカでは、病院に診察の予約を取る前にクレジットカードで信用保証をするか、場合によっては多額のデポジットを積まされ、それは治療が全て完了するまで戻ってこない等、やや面倒だったりする事もあります。たとえばこちらで出産した人の話では約5000ドル近く最初の段階で払わなければならなかったということでした。この方法の最大のメリットは医者の選択が完全に自由なため、日本語の話せる医師や、自宅にすぐ近い病院を選択できるという事でしょう。この種の制度を利用する場合は、会社や所属の健康組合などに十分に説明を聞かれてくる必要があるでしょう。

c) 医療傷害保険(駐在員保険、留学生保険など)

この方法の場合は、保険会社の指定病院であれば保険会社からの直接支払いのキャッシュレス方式となり、それ以外であればBと同じく本人立替となります。ただこの保険の場合、カバーする金額合計に上限がありますので十分な保険金額のものを掛けられる必要はあるでしょう。キャッシュレス方式のきく指定病院の数は、保険会社によってもまちまちですので、加入したところできちんとしたキャッシュレス病院リストを入手してくる必要はいうまでもないところと思います。この保険では、歯科や妊娠出産関係はいっさいカバーされません。

なお、クレジットカード自動付帯の保険で来ようという方はないとは思いますが、カード会社提携先の保険会社によって異なりますが、例えばJCBゴールドカードの保険ですと、日本出国後3ヶ月までは対応できます。したがって、6月以降に米国到着なら、a)の大学保険加入までの間をしのげないこともないです(お勧めはしません)。

5. 予防接種

アメリカの幾つかの州では予防接種を義務づけているようですが、**カリフォルニアでは必要ありません**。ただし、幼児を保育園等に入学させる場合には、いくつかの指定された予防接種を受けていることが条件となります。日本での予防接種暦を持参することをお勧めします。

6. 銀行口座 (インターネットバンキング手続き)

渡米前に銀行口座関連ですべきことは、

a) 日本にいながらアメリカの口座を作る

b) 日本からアメリカに送金などをするための、インターネットバンキングの手続きをする(アメリカの口座は現地で作る)

c) より高度なやりとりを日米間で行うための手続きをする

の3つが代表的でしょう。どのパターンにするかは人によってまちまちです。

a) 三菱東京UFJ銀行の「海外口座紹介サービス」というのを利用すると、日本にいながら現地の銀行（Union Bank of California）の口座を開設することができます。申し込み後数週間でATMカードが送られてきますので、出国時に多額の現金やT/Cを持ち歩く必要がなくなります。非常に便利なサービスですので、検討してみてはいかがでしょうか。

具体的な手順：

1. 三菱東京 UFJ 銀行に普通預金口座を開設する
2. 「海外口座紹介サービス」に申し込む
3. Checking Account（決済口座。金利なし）と Saving Account（普通預金。金利あり）からの選択する必要があるが、生活のセットアップの為の口座開設なので、Checking Account が便利。Saving Account の ATM カードにはデビッド・カードの機能がない。
4. 数週間後、ATM カードが送られてくる。これで、米国到着後いつでも現金の引き出しが可能に。
5. わからないことは、日本語対応のスタッフに問い合わせ。
6. 現地に到着後、必要に応じて Saving Account や家族口座の開設、あるいは他の銀行に口座開設をする。

※Union Bank of Californiaは、2008年に三菱UFJグループの完全子会社になっています。この情報は2007年以前のものなので、詳しい手続きはHP等をご参照ください。

Union Bank of CaliforniaのATMはBerkeleyに一つしかありません。Shattuck Ave.沿い、BartのDowntown Berkeley駅から歩いて2分ほどのところに支店がありますが、そこに併設されているATMのみとなります。他行のATMからおカネをおろすと手数料がかかりますので、頻繁にATMを利用する場合は、Bank of AmericaやWells Fargoのほうが圧倒的に便利です。特に、Bank of Americaの場合は、Haasキャンパス内にATMがありますので便利です。

とはいうものの、日本と違ってこちらでは現金を引き出す機会はそう多くはありません。私のように車で通学している場合には、学校帰りに支店に立ち寄ればすむうえ、Safeway等のスーパーマーケットでcash backもできますので、ほとんど不自由はありません。

日本にいるうちに口座が開設できるというメリットは非常に大きいですので、Bank of America等を後々メインバンクする場合でも、それまでのつなぎとして利用すればいいと思います。

そうはいっても、Wells Fargo, Bank of Americaなどでは、ほとんど、いったその日に口座を作れますし、仮のCheck bookもその日にくれるので、時間がないなどの場合は、どうしてもUnion Bank of Californiaの口座を作らないといいけないというわけではないと思います。

b) 最近はシティバンクを含め、多くの大手銀行がインターネットバンキングやテレホンバンキングなどのサービスを提供しています。海外からも使えるのかどうか、為替手数料（ドルを売買するときにとられる手数料。1ドルあたり1円が一般的）、送金手数料、サービス内容はどうなのか、海外から残高照会はできるのか等、いくつかの銀行を比較して判断されるのが良いと思います。

多くの日本人学生は日本のシティバンクで口座（マルチマネー口座）開設し、インターネットバンキングを利用しています。学費、生活費の送金、為替運用、円及び外貨定期預金等に便利です。 マルチマネー口座を使ってドルに移しておけば、日本のシティバンクの外貨キャッシュカードで1日最大$3,000まで引き出しが可能ですので（但し、個々のATMに限度額の設定があるようで、バークレー周辺のATMでは1日に最大$1,000程度が限度です）、セットアップ時には助かりました(年間手数料・為替手数料がかかりますが)。毎月の取引・残高通知書も住所変更届を提出すれば米国にも郵送してくれます。

シティバンクからアメリカの銀行口座（Bank of America、Wells Fargo、なんとCitibankへも！）へ送金するためには、銀行口座を開設した後に日本のシティバンクへ登録申込書を郵送する必要があります。そのため、郵送してから（郵送手段にもよりますが）送金できるようになるまで1－2週間はみておいたほうが良いかと思います。渡米後ですとわざわざ日本に郵送したり返送を待たねばならないため、少しでも時間を節約するのであれば、登録用紙を記入、署名し日本にいる家族に預けておき、渡米後に口座開設し口座情報が確定した後に日本にいる家族にそれを連絡し郵送してもらうのが良いかと思います。

ちなみに、シティの米国支店から日本のシティにある預金を引き出すには、限度額（一回300ドル程度）があるうえ、レートも相当悪いです。一方日本のシティには米国での引き出し専用口座が開設でき、FX口座等をとおしてよいレートで日本のシティに米ドルで預けたお金を米国から引き出した場合には手数料はかかりません。

ソニー銀行は為替手数料が安い（1ドル売買につき0.25円）のですが、ドル送金の手段がないため、海外の提携ATMでの引出し（ATMごとに引出し限度額があり1度に千ドルくらいしかおろせない）に限られてしまうのが難点です。

c）海外からのファクス及びインターネットによって、日本国内の普通預金口座から、税金、保険料等の支払、定期預金への預け入れ、国内外への振込等を銀行に指示することができるサービスをいくつかの大手銀行が有料で提供しています。 代表的なものは三菱東京UFJ銀行の“お留守番口座”です。 生活ベースを日本に残す形となる企業駐在員の間で広く使われています。 必要な方は渡米前に申し込んでおく必要があります。

上記のサービスを受けるには、申し込み時に駐在先の詳細情報や海外派遣の証明を求められることがあります。

7. クレジットカード

アメリカは言わずと知れたカード社会。クレジットカードは文字通り「信用」の証にもなります。また、インターネットショッピングをはじめ、米ドル決済のインターナショナルカードでないと受け付けない場合も多々あります。なのでぜひ1枚は米ドル決済のクレジットカードを作成されることをお勧めします。

組み合わせとしては、

a）日本円決済のカード＋ドル決済のカード（新規）

b）日本円決済のカード＋ドルのATMカード

c）米ドル決済カード（Studentカード　限度額:1000ドル程度）

などが考えられます。

<u>渡米前にやっておくこと:</u>

1)日本円決済のクレジットカード申し込み（VISA,MASTER）

2)ドル決済クレジットカードの事前申し込み

<u>**特に会社を辞められる方は、会社に在籍中に（社会信用のある間に）日本でクレジットカードを作っておく事は必須です。また，その時にドル決済機能のついているカードを手に入れておくと便利でしょう。**</u>

1）日本円決済のクレジットカード申し込み

円決済のカードはこちらでメジャーなVISA、MASTERを最低1枚は持ってきておいた方が便利です。通常、日本で使われている各種クレジットカードは日本の銀行口座から円で引き落とされます。そのため、渡米後、日本の銀行口座残高の管理が面倒に感じられるかもしれません（インターネットバンキングのおかげで世界どこからでも確認、取引ができるようになり、そんなに不便ではなくなりましたが）。シティバンクのように取引・残高通知書を米国に毎月送ってくれるところなら問題はないでしょう。JCBは、バークレー周辺でマイナーです。尚、日本円決済のカードの場合、通常の通貨レートにプラス2円ほどされますので、ドル決済カードと比較すると割高になる傾向があります。

2)ドル決済カードの事前申し込み

- **JALファミリークラブ・プレミオカード**

一番のお勧めは、JALファミリークラブを通じてJALファミリークラブ・プレミオカードに加入することです。これは、いわゆるマイレッジカードで、JALのマイルが貯まります。クレジットはMasterCardで、発行はFirst National Bank of Omahaです。つまりほぼどこでも使えるので、これ一本に絞れば、お得です。決済口座は、カード取得後にオンラインで指定できます。

http://www.premio.com/jalpremio/index.html

※ちなみにJALプレミオカードを最初に利用すると、カードセンターから名前なり住所なりの照会があります。（買い物をした場所ですぐに照会があったり、後で電話がきたりすることもあります）

- **ANAカードUSA**

上述のJALプレミオカードのANA版です。ANAのマイルを貯めてる方にはこちらがおすすめ。クレジットはVISA。

http://www.anacardusa.com/

- **アメックスカード**

加えて、日本で（特に私費の方は退職前に）アメックスを作ってきて現地でドル払いに切替（電話一本で約1週間で受け取れる）ればまったく問題ないでしょう。アメックスでもメンバーシップリワードプログラムというマイレッジ的サービスがありますが、1）バークレー界隈（特に Safeway のように日常の買い物をするところ）や大学関係(授業料はカード決済できませんが、駐車場料金など)の支払いがVISA/MASTERであること、2)プログラムの年会費が＄50なこと、を考えるとお勧めの策ではありません。

- **ポケットカード**

日本で誰かが代わりに料金明細書などを受け取り、内容確認してもらうことができる状況にある方はポケットカード(旧マイカルカード)を申請することをお奨めします。ポケットドルカードは、シティバンクにあるドル口座から直接ドル決済することができるので、支払い時に別途の為替手数料がかかりません。しかも年会費無料ですので、シティバンクでドル決済カードを作成するより安くなります。ただし、ポケットドルカードを作成するには、ポケットシルバーカードを作る必要があります。こちらは、普通の円決済のクレジットカードで年会費1,200円かかります。初年度は無料ですので、2年間だけ使用した際、1,200円でドル決済クレジットカードを入手できることになります。ドルカードの限度額は30万円相当に設定することができるので、アメリカでクレジットカードを入手できなかった際もしくは限度額を越えてしまった時に大変便利です。

詳細は、http://www.pocketcard.co.jp/home.htmlをご覧ください。

- **その他**

その他のカードの場合、渡米後、新たにカードを作り直す必要があります。 ただし、米国でカードを普通に申し込むと、審査に恐ろしく時間がかかり、かつ米国での信用履歴がないと限度額も低い等、不便極まりないのが現実です。 特に会社を辞められた方は審査、限度額の面で不利になりますので現実的な方法ではありません。学生クレジットカードの限度額は月1,000ドルが目安でクレジットヒストリーもつきます。

現在、日本のいくつかの大手銀行では、米国内決済のカードのサービスがあります。 例えば、DC Master Card（国内取り扱い：三菱東京UFJ銀行）がそれにあたります。但しカードの受け取りは渡米後で、カードが届くまでの間も渡米後1週間以上かかります。 また、シティバンクのドル決済カードなどもありますが、短期滞在者を対象にしているので、やめておいたほうがよいでしょう。

3） ATMカードについて

これは、米国で開設した銀行口座についてくるATMカードのことで、ATMマシンで現金を引き出す際に使うほか、デビットカードとして、買い物をする際にも使います（アメリカではほとんどの場所でATMカードが使える）。

クレジットカードではないので、口座からすぐに金額が引き落とされるのですが、残高さえあればクレジットカード感覚で生活ができます。オンラインショッピングでもOKです。口座開設時に、一度に使える限度額を増額しておけばいいでしょう。Wells Fargoでは一回5000ドル程度まで増額できましたので、家族同伴でなければ、航空券の購入などにも十分対応できます。

ただ、ホテルの予約やレンタカーを借りる際などに、身分証明として、本当の「クレジット」カードを要求されることもあるので、VISA、MASTERなどのクレジットカード（日本円でOK）をあわせて持っておく必要があります。

8. マイレージカード

カードの使用金額の累計に応じて、大手航空会社のマイレージが積算されていくサービスを提供しているカードがあります（一定マイルがたまると、無料航空券等が得られる）。 渡米後半年程は特に大きな買い物も多く、大きくマイレージを稼ぐことができますので、これらのカードの使用も検討に値します。但し、ドル決済のこうしたカードは日本国内では取り扱われていないと思われますので、米国のカード会社に直接照会する必要があります。次のものは、その一例です。

MILEAGE PLUS FIRST CARD (Master Card: United Airlinesのマイレージ）

First Card, PO Box 15078, Wilmington, De 19885-9274, USA電話：1-800-537-7783（Customer Service）

1-800-862-9356（米国内からの緊急（カード紛失等）、24時間）

注意： こちらで申し込んだ方の経験では、申し込みからカードの

受け取りまで、最短で1ヵ月を要しています。また、審査の過程で、財政証明の提出を求められています（企業派遣者の場合、会社からのスカラーシップ証明のようなもので代用可）。

9. 役所関係

渡米前に済ませておくことを列挙しておきます。詳細については、各役所、税務署などに問い合わせて確認して下さい。

- 住民票を抜く（住民税、健康保険料、年金などの問題が絡んできます）
- 健康保険（退職する場合は、離職と同時に資格がなくなるので、放っておけばいいはず→帰国後に再加入要）
- 国民年金、厚生年金（支払いを止めることも、自動引落としの形で継続することもできます）
- 住民税（退職する場合、すでに給与天引きされていた分の払い戻しなどもありうる。人事へ確認）
- 所得税ほか（海外居住者には日本の所得税はかかりません。その手続きは、企業派遣の方は会社でやってくれますが、給与以外に所得のある方は、別途申告して納税する必要があります）
- 印鑑登録抹消の手続き（アメリカでは印鑑を使わず、すべてサインですが、たまに日本の銀行などに捺印して書類を送る事がある人もいるので、認め印は持ってこられる方が良いと思います）

10. 引越しの手配

1）航空便と船便の使い分け

航空便は発送日より一週間で、船便は2カ月程度で手元に届きます。標準的な考え方は、日常生活で必須となるものは航空便で渡米直後から利用できるように手配し、家具類や衣服・書籍等は船便で送るというものでしょう。船便の場合は、何回かに分けて発送することが可能なので段階的な発送計画も有効です。もちろん、渡米するタイミングや住居決定のための日程も考慮して、タイムスケジュールを作成する必要があります。

また、自分の依頼される業者と詳細な打ち合わせをする必要があります。（例：住居決定が遅れた場合、到着した荷物はどのように管理してもらえるのか。日通の場合は、オークランドの日通の倉庫に保管してくれます）。ほとんどの業者で日本とアメリカで別の担当者（たぶん日本人）をつけるでしょうから、渡米後早めにアメリカ側の担当者と連絡をとるべきです。

しかしながら、家具付きの家も多く，中古の家具も出回っている上に，新品の値段も日本と比べて安いので、航空手荷物と別送航空便で簡単に済ましてしまう人も多いです。

業者の例としては、

- 日通　海外ペリカン便 （サービスはいいですが、やや割高か。）
  http://www2.nittsu.co.jp/rem/nhp/csp/r0020a.csp
- アート引越しセンター
- UPSヤマトエクスプレス
- 郵便海外小包

などがあります。運賃その他は、ウェブで検索してみてください。最もポピュラーなのはやはり日通です。特に安いわけではありませんが、日本人スタッフの対応など信頼できます。逆に評判があまり良くないのは郵便。日本では良いのですが、アメリカに渡る過程・渡った後にトラブルに会う可能性がやや高めです。

2）荷造りのポイント

つい巨大な箱に詰め込みがちですが、じつは大きさよりも重量がネックになりやすいです（たいてい、一箱あたりの重量に制限がある）。日本からたくさん本を持ってこようとすると、かなりの重さになりますのでご注意。

3）もってきて良かったもの、いらなかったもの

これが生徒たちのナマの声です。賛否両論あると思いますが、ご参考まで。具体的なメーカー、書名などが必要でしたら遠慮なく質問してください（**巻末の連絡先参照**）。

<u>a. もってきて（もってくれば）よかったもの</u>

- 携帯しやすいノートパソコン（アメリカのはとかくでかい）
- サングラス（眼鏡使用の方は、度つきのものを作っておくといい。日差しが強いのでドライブには必須。色の薄いのではなく濃いもの）

- 高級日本茶（ティーバックものなら普通に買える）
- 高級和菓子
- PDA（学校が無線LAN化されており、ほとんどコンピュータで用をすましている？必要ならPDA携帯電話の方がリーズナブルかも。特に日本語対応という観点からは、日本からの持込が楽。もちろん、個人で端末を日本語化することは可能ですが。）
- 日本語の本（SFの紀伊国屋は1.5-2倍くらい高い）
- 日本語の旅行ガイドブック（こちらのガイドブックと比較すると、地球の歩き方の完成度はすばらしい！旅行予定の土地の歩き方は持ってきた方がよいかと）
- コアコースの日本語の参考書（時間のないときは有効）
- 電子辞書
- クリアファイル（日系スーパーで買えますが、日本では会社でただ同然で手に入っていたものを買うのは妙に悔しい）
- 連発クリップ（通称ガチャック？付けはずし可能なクリップ）
- その他文房具（こちらのは書き味や使い心地がいまいち）：シャーペン、ボールペン、ホッチキス（芯や針などは日本と規格が違うので一緒にもってきましょう） 消しゴム
- 小型の折りたたみ傘
- ミシン
- 和包丁（でも、手荷物に入れると空港で引っかかるかも？）
- 寿司桶（こっちで買うと高い）
- お盆
- スケール系（体温計、料理用計り、室温系、等。単位が違うため。）
- 化粧品、日焼け止め（日本メーカーのもの）
- クレンジングオイル（オイルは売ってない）
- 愛用の薬（かぜ薬、正露丸、葛根湯、頭痛薬、酔い止めなど）
- 愛用のシャンプー、ボディーソープ、整髪料（日本製も買えるが高いし種類少なし）
- 使い捨てコンタクト（ただし、大学の施設で日本より安価で買えます。）
- 耳掻き、爪切り
- 肩たたきマッサージ器
- 和装（ふんどし含む。）
- スリッパ（売っているが高め）
- くつ（足の小さい女性の場合）
- ロケーションフリー（日本でセッティングしておけば、日本のテレビが視聴可能）
- 犬
- かみさん

b. いらなかったもの

- 食べ物（こっちのスーパーでかなり事足りる）
- 日本のテレビ番組のDVD（こっちでレンタルできる。かつ、最近ではネットで大概入手できる・・・・）
- 背広、ネクタイ、革靴（就職活動をする人は必要）
- 大量の夏服（割と涼しいのでサンダルや半袖はあまりいらない。ノースリーブは着られない。）、ヒールの靴
- コンタクトの保存液（ハード用も売ってます）
- 変圧器（炊飯器、ドライヤーなどを除けば、たいていのものは　日本のものでも大丈夫）
- 電子レンジ（周波数が違う；アメリカは120V，60Hzです）
- 食品用ラップなどの日本製雑貨（壱番館で日本製がかえる）
- 小型のくるくるワイパー（こっちにもある）
- ホッチキス（針が違う）
- ローラーブレード

c. パソコンおよびソフト

大学の授業で必要な範囲で使う限りでは、英語環境のソフトが適しています。 英語環境用のPC及びソフトはアメリカに着いてから購入できます。ただし、日本との電子メールでのやり取りに困るかも知れません。（マイクロソフト社のソフト----Office, Outlook等----であれば設定により日本語使用可能） 日本から持ち込んだ場合、万が一の修理対策も考慮すべきです。ソフトはこちらでも

買えますが、日本語のソフトは日本で購入しておくほうが良いでしょう。（友人や先輩から“借用”する人も多いですが）**<u>詳しくはIV 生活スタート編のコンピューターの欄をごらんください。</u>**

但し、マイクロソフトのOSを使う場合、最新のVISTAでは日本語対応も特別なソフトなしに対応できるので、特に日本からの購入は必要ないかも。パソコン自体はOSさえ入っていれば、当地に到着後、学校のコンピュータ・ラボで一人一台のみ無償でOffice一式とウィルス対策ソフトをインストールしてくれます。Macに関しても、若干の制約はあるものの（特にExcelのデータ解析機能については、リモートから学校のラボにVPN接続して利用することが必要等）、パラレル環境でマイクロソフトのOfficeを使えるようセットアップしてくれるので、個人的にMacに思い入れのある方は、そちらを選択されても良いかもしれません。実際、クラスメートでもMacを使用している人間はかなりの数います。

<u>d. 食料品</u>

基本的に、食材に関しては、こちらでほぼすべて購入することができます。 バークレー周辺にも日本食料品店がいくつかあります。ただし、日本食の値段は日本の1.5－2.0倍くらいしますので、特にお好みの乾物なりがあるのであれば、持参しても良いかもしれませんが、郵送費との兼ね合いを考える必要があるでしょう。

また、アメリカでもいまや、「とーふ」、「しょうゆ」、「米」は常識で、Safeway, Lucky, Berkeley Bowl といった通常のスーパーマーケットでも日本食料品を手に入れることができます。

調理器具（特に、ル・クルーズやオール・クラッドの鍋、Cuisinartのフードプロセッサやコーヒーメーカーなどの比較的高級品）は、日本よりはるかに安く買えますので（Outletもあります）、こちらで一式揃えるのも手です。

<u>e. 雑貨、その他</u>

生活様式が違うためか、日本では当たり前の物がこちらではなかったり、手に入りにくかったりします。ただし、一般的に使われていない物でもエルセリートの一番館、Ranch99、サンフランシスコのジャパンセンターや、San Joseのミツワ等で割高ですがほぼなんでも手に入ります。

ちなみに、こちらでは洗濯の後は乾燥機での乾燥が一般的なので、物干し道具（洗濯もの用ハンガー、洗濯ばさみ、洗濯ばさみのたくさんついた物干し等）は探すのに苦労します。女性の生理用品、乳幼児のおむつについてはこちらでも日本と同じ物が手に入ります。

こちらはほとんどの単位が日本のものと異なりますので、スケール系（体温計、料理用計り、室温系、等）は、持ってくると重宝するかもしれません。

サングラスは、ついてすぐ（特に車の運転）必要です。

家具つきでない家に引っ越す可能性のある人は（バークレー近辺のアパートは、家具なしの物件も多い）、寝袋をもっていると便利です。夏とはいえ、夜は冷えるので、毛布一枚では厳しく、寒い思いをした人もいます。

<u>f. 化粧品</u>

肌の強い人や、外国製の化粧品でも問題のない人はこちらで調達できます。ただ、肌が敏感でどうしても日本製や特定ブランドのものでないとだめな人は基礎化粧品を中心に、少なくとも一年分くらい持参すると良いかもしれません。こちらは6月から12月までに雨が3日くらいしか降らず、極めて乾燥します。水分補給の基礎化粧品の減少が予想以上に早いです。ただし、クリニークの製品は日本より安く購入できます。

<u>g. コンタクトレンズ</u>

ハード、ソフトとも、洗浄液、保存液とも豊富にあります。目によくわからない物を使いたくないという方は、目薬をある程度持参すべきでしょうか。こちらでコンタクトレンズや眼鏡をつくるには眼鏡医の検査が必要ですが（大学付属のOptometryで処方箋を作ってくれます）、それを含めて日本よりはるかに安くつくることができます。大学の眼科は検査、アフターケアとも非常にきめ細かく適切な眼鏡、コンタクトレンズが、しかも安くできます。眼鏡に関しては時々Optometryで学生ディスカウントがあるので、それを利用するといいでしょう。

（Ⅳ生活スタート編参照）

11. ホテルの手配

渡米後に住居探しをする場合は、当座の間ホテルに滞在する事になります。 ホテルはなるべく長く取っておいた方がいいでしょう。大学から近郊のホテルのリストが送られてくると思いますが以下も参考にしてください。 値段等は必ず電話やサイトなどで確認してください。

1) 大学の施設

University Summer Visitor Housing（Stern Hall）

Hearst Ave. & Highland Place., 510-642-5925

http://conferenceservices.berkeley.edu/summer_visitor_location.html

ここは、普段は女子寮となっている施設を夏季の間ビジター用に開放している施設です。バストイレは共同ですが、家探しをするためだけの滞在であれば、安くて便利です。そもそも大学の施設なので、夏の間バークレーを訪問している各国の学者などが多いでようです。場所はキャンパスの東のはずれで、森の中に位置し、大変環境の良いところにあります。

なんといっても最大の魅力は、Haasに近い（徒歩3分）ことと、インターネットとプリンターが自由に使えること（住人用コンピュータセンターあり）。住居や車探しにはインターネットが不可欠ですので、お勧めです。バートのバークレー駅からだと、キャンパスを横切る形で徒歩15分近くかかるでしょう。
ツイン $55

I-house

2299 Piedmont Ave., 510-642-9470

http://ihouse.berkeley.edu/

超有名な独身寮です。もちろんここを住まいにすることも可能ですが、夏の間の住居探し中だけ借りることも可能です。

2) ホテル

University Ave沿いに多くのモーテルがありますが、University Aveは西に行くほど危険になります。西から東に番地が着いているので、1820のTravel Lodge以東のモーテルが無難だと思います。

Emeryvilleは地図上ではかなり離れている感じがしますが安全である上、車があるなら高速にすぐに乗れAlbany, El Cerrito方面で家を探す場合にも便利です。

バークレー近辺のホテルをいくつか挙げておきます。

Durant Hotel

2600 Durant Ave., Berkeley, 510-845-8981

ビジネススクールから徒歩5分。 バートの駅からは徒歩10分程度。学校に近いところに家を探す人には便利です。UCBハウジングオフィスからも近い（徒歩5分）。シングル　＄120－180　／　ダブル　＄150－200

Shattuck Hotel

2086 Allston Way, Berkeley, 510-845-7300

バートの駅のすぐそば。キャンパスの入り口には近いのですが、Cheit Hallや大学の中心部までは徒歩約20分かかります。バークレー市のほぼ中心に位置します。ただし、設備ぼろい、サービス悪い、見知らぬ人がホテルに出入りするなどの欠点もあります。

＄80

Downtown Berkeley Inn

2001 Bancroft Way, Berkeley 94704, 510-843-4043

バートの駅のそば。殺風景なところにあり、お世辞にも周囲はきれいとはいえませんが、建物は新しく、部屋はなかなかきれいです。

＄100-110

http://www.downtownberkeleyinn.com/

French Hotel

1538 Shattuck, Berkeley, 510-548-9930

シングル　＄95　／　ダブル　＄95

Bancroft Hotel

2680 Bancroft Way, Berkeley, 510-549-1000

そこそこ綺麗。でもエアコンなし。

スタンダード　＄130（平日）、＄160（週末）

デラックス　＄160（平日）、＄199（週末）

Campus Hotel

1619 University Ave., Berkeley, 510-841-3844

シングル　＄60　／　ダブル　＄65

Roadway Inn

1461 University Ave., Berkeley, CA 94702

Phone: 510-848-3840

シングル･ダブル共に$90-120/room(朝食(ヘボいが)･ネット使用料込み)

http://www.berkeleyri.com/

近くに高級スーパーのAndronico’sとセブンイレブン、BartのNorth Berkeley駅があり、ネットも無料で使い放題であることから、使い勝手は良い。直ぐそばのバス停から、Haasには52L、UC Berkeley中心部には51のバスでアクセス可能。

Ramada Inn

920 University Ave., Berkeley, 510-849-1121

シングル　＄99　／　ダブル　＄99

Rose Garden Inn

2740 Telegraph Ave., Berkeley, 510-549-2145

シングル～ツイン　＄109～＄175（朝食込み）

Marriott Berkeley Marina

200 Marina Blvd., Berkeley, 510-548-7920

学生向けのホテルの多いバークレーにあって、数少ない大人向けホテルの一つ。その名の通りサンフランシスコ湾に面したロケーションは夜景を見るには綺麗ですが、周りには何もありません。キャンパスや市内からは約2マイルの距離なので、車が必要です。

スタンダード　＄109　／　マリーナビュー　＄139

朝食付き、曜日によってレートは変わります。

The Claremont Resort

Ashby & Domingo, Oakland, 510-843-3000

予算にゆとりのある方はベイエリアを代表するリゾートホテル・クレアモントホテルもいいかも知れません。テニスやプールの施設は本格的です。UCBキャンパスから車で5分程です。公共交通手段はタクシーしかありません。ダブルのみ、ベイ・ビュー　＄325程度　／　スタンダード＄235程度

Best Inn

6009 Potrero Ave., El Cerrito, 510-232-0900

アルバニー、エルセリートな どバークレーの北側エリアに絞って家探しをしたい方、あるいは車があって料金の安いホテルがいいという方は、比較的値段の高いバークレーからは外れたところに宿をとることも考えられるでしょう。バートの El Cerrito Del Norte駅から徒歩7分。 バークレー市内まで車で15分。安全な場所です。

シングル・ダブルとも　＄75

3) Sublet（又貸し）の部屋を探して泊まる

これは若干高級テク（？）かもしれません。夏の時期はSubletといって又貸しをしている部屋も少なくないので、日本にいる間にネットで調べて大家に電話し、1週間～2週間借りてしまうことも可能です。Class of 2007の河根は、渡米後に見つけたのですが1泊$20の部屋で1週間暮らしました。独身者にはお勧めです。

サイト: http://www.craigslist.org/eby/

12. レンタカーの手配

アメリカでの生活にはやはり車があると大変便利です。購入までの間はレンタカーが必要になります。ひとつの手はサンフランシスコ空港のレンタカー営業所で到着後すぐ借りてしまう方法。この場合、SFOから直接ベイブリッジを越えてバークレーに来られるのがメリットです。 日本で予約すると良いでしょう。時差ボケのまま初めての道を走るのが不安であれば、バークレー到着後、A

VISなど大学近辺でいくらでも借りられますが、フルパッケージ保険との総合価格だと、こちらで手配するよりも大手レンタカー会社が日本人旅行者用に提供しているバリュープランの方が安いことがあります。いつから、どのくらいの期間借りるかを考慮の上、Web等で比較検討してみてはいかがでしょうか。特にAVISは、Webで予約するとWeeklyレートは格安になります。(www.avis.com) その際に、アメリカ到着後でも必ずカントリーコードを日本にすることが重要です。アメリカ人が払う値段よりはるかに安くなります。また、Hotwire（www.hotwire.com）などの旅行サイトでもいいレートが得られるでしょう。なお、こちらで車を購入する予定の方は、レンタカー入手後、速やかにAAAに加入することをお勧めします。AAAの最寄りオフィスは University Avenue沿いです。こちらでの詳細な地図、夏のセットアップ期間中の旅行ガイド等、すべて無料でもらえますので、年会費分の価値はあるでしょう。また、車を購入した後に必要になるレジストレーションもAAAで行う方がDMVでやるよりもはるかに早くできます。

Avis Rent A Car（業界第2位の大手）

2000 Kittredge St, Berkeley, CA 94704, (510) 548-7363

Enterprise Rent-A-Car

1990 OXFORD ST, Berkeley, 510-705-8989

Bay Area Rentals

1990 Oxford, Berkeley, 510-845-1306

いずれもバートのバークレー駅から徒歩3分から5分位のところにあり、キャンパスの西側に面しています。

Dollar Rent-a-car

920 University Ave, Berkeley(Ramada Inn内)

510-548-5001

料金は車種にもよりますが、1日当たり、保険料込みで50ドル程度、1週間であれば同250ドルから350ドル程度です。Avisは日本で予約ができますが、こちらで申し込んで借りる場合25才以上の年齢制限があります。借りる際に日本の免許証と国際免許証両方の提示が求められます。

13. お子様のいる方へ

アメリカでの予防接種に不安を抱かれている方もいると思いますが、子どもの予防接種などを出国前に慌ててする必要はありません。日本で予定通りの予防接種を受けておけばOKです。こちらの病院で、日本でどんな予防接種を受けたか説明すれば、ドクターが適切なスケジュールを組んでくれます。病院によって、予防接種のスケジュールが若干異なることもあるようですが、一般的なスケジュールは下表のようになっています。

Recommended Vaccine Schedule

Age Given	Vaccine Needed
Birth-2weeks	HB B型肝炎(#1)
2 months	DPT 3種混合(#1) Hib & HB 2種混合: Hib(#1)、B型肝炎(#2)
3 months	TVOP ポリオ(#1)
4 months	DPT + Hib 3種混合(#2) Hib(#2)
5 months	TVOP ポリオ(#2)
6 months	DPT + Hib & HB 3種混合(#2), Hib(#3), B型肝炎(#3)
9 months	TVOPポリオ(#3)
12 months	MMR
15 months	Hib Hib(#4)
18 months	DTaP booster and TVOP boosterPre
4 years	MMR revaccinationSchool
4-6 years	DTaP booster and TVOP booster

注）HB (hepatitisB):B型肝炎）DPT (diphtheria, pertussis, tetanus):ジフテリア、百日ぜき、破傷風Hib (haemophilus influenzae, type B):インフルエンザTVOP (trivalent oral polio):ポリオ (経口投与)MMR (measles, mumps, rubella):はしか、おたふく、風疹

MBA2006の秋山は下記のPublic Health Clinicで子供（6歳と9歳）の予防接種を受けさせました。

→火・木の午後1-4時に行けばやってくれます（予約不要）。

830 University Avenue (corner of 6th Street), Berkeley

Tel: (510)-981-5350

http://www.ci.berkeley.ca.us/publichealth/immunization/iz.html

B型肝炎やインフルエンザの予防接種は日本には無いので、アメリカで初めから受けなければなりません。またポリオは日本より1回多い3回の予防接種があります。BCGはアメリカではありません。MMRは日本では副作用の大きさが問題になりましたが、アメリカでは使われているワクチンの種類が異なるため問題無いといわれています。アメリカは、風疹、おたふく風邪の個別のワクチンはほとんど無く、それらの予防接種を受けるのは非常に困難です。個別に打ちたい場合は日本で受けてきたほうが良いと思われます。但し、日本ではしかのみ、あるいははしかと風疹のみ受けて来て、残りの分だけアメリカで打ちたい場合、アメリカでMMRを改めて打っても、医学的には問題ないとのことです。不安がある方は、医師と相談してください。お子さんがアメリカでPreschoolや小学校へ進学する場合、予防接種の記録を要求されます。デイケアでも記録を要求される場合があります。日本での予防接種の記録（母子手帳）などは忘れないようにしてください。病院でお願いすると英文のものを作成してもらえます。またお子さんの風邪グスリなどは持参すると便利です。アメリカでは、良く効く薬はたいてい医師の処方箋が必要なので、手にいれるのが面倒です。特に、医療用語は面倒なので、そうした英会話用語の本を持参すると良いと思います。

14. サマースクール願書手続き

1）夏の過ごし方総論

入学前のサマーの過ごし方は人それぞれです。サマースクールでの勉強、アメリカ旅行、知り合いのところに居候、ぎりぎりまで仕事等とさまざまで、個々人の資金計画や目的（遊び、英語力の強化、勉強、仕事の都合）に応じて計画を立てればよいと思います。サマーの過ごし方で最初の学期に大きな差が出ることはありません。

ただ、最初の学期は生活、授業、人間関係など何かと忙しくなるので、生活の基盤をこの時期早めに固めてしまうのは現地に馴染む点と精神的な余裕という意味からは望ましいといえるでしょう。

この章では、過去にあった夏の過ごし方の一例をご紹介します。皆さんの夏のプランニングの参考にしてください。

2）サマースクール紹介

a. バークレービジネススクールのサマーワークショップ

（内容についてはV章 キャンパスライフ 1. 授業スタート前 も参照）

（8月上旬）

連絡先：オリエンテーションパケット参照

他の選択肢と異なり、受講者が全て新MBAであり、アメリカ人や他の留学生と知り合うには最適の機会です。内容は、コミュニケーションと数学があり、いずれか一つだけでもとることができます。

昨年のコミュニケーションのクラスでは、少人数のグループごとにビジネスプランに関するプレゼンテーションを練習しました。勉強という意味では役に立たないという意見がありますが、実際の授業でディスカッションやプレゼンテーションをする機会は多く、良いプラクティスになったという人もいます。（ただし、結構プレッシャーを伴うので、参加される場合はそれなりに覚悟が必要でしょう。）コミュニケーションのクラスは、2009年には講師が変わるため、内容が変更される可能性があります。

数学に関しては、微積分や確率/統計の復習に役立ち、秋学期の統計学、ミクロ経済学、ファイナンス等に必要な基礎知識の整理にもなったという声が少なからずありました。特に、ファイナンスとアカウンティングは、このサマーの内容は完全に習得済みという前提で秋学期の授業が始まるので、それぞれ初学者には重宝すると思います。（ただ、内容的に非常に浅いので、とらなくてもその後困るということは全くありません。）どちらも、新MBA学生に知り合うという意味では有益です。ただし、この時期はちょうど生活設営時期と重なるため、両方の授業を取るとそちらに十分時間が割けなくなる、という意見が多少ありました。2008年は米国人も含めて半数以上の新入生が参加していました。

b. UC Berkeley, Summer Sessions

（5月下旬～8月上旬）

連絡先：Berkeley Summer Sessions

（http://www.summer.berkeley.edu/mainsite/index.lasso）

UC Berkeleyのほとんどの学部で行われている夏休み中の空いた校舎を利用したコースです。Undergraduate生の夏学期という側面と、学部生以外の人の学習の機会という側面があります。

Class of 2008では、ESLに参加したものが2人、アングラの財務会計のクラスに参加したものが1人いました。Class of 2009では、計3人が英語や会計、統計などのクラスに参加しました。

BAのコースのメリットとしては、例えば基礎会計学などを取ると、秋学期のアカウンティングの入門編として基礎知識の習得に役立つ、アメリカの授業の雰囲気になれる、ヒアリングの練習になるということが挙げられます。（単位にもなります。） また、undergraduateの学生も単位取得のために多く参加しており、クラス内のチームプロジェクトなどでは（彼らの成績に関わるため）相応のクオリティや貢献が求められます。

ESLについても、コースにもよりますが多少の宿題があります。日本を含め他国から来ている人達と知り合えるチャンスでもあります。ただし、英語力に関しては、数人単位のクラスであること、また、アジア人が生徒の大半であることから、全く伸びを期待してはいけません。（むしろ「遊びの期間」と割り切りましょう。）

注意：BAのコースを選択した場合、その成績はMBA卒業時のcumulative GPAに加算されます。そして、MBA卒業時にはcumulative GPAがB以上(3.0以上)であることが条件付けられています。つまり、生活セットアップのためにサマーセッションのクラスに参加できず、低い成績をもらったような場合、それが原因でMBAの卒業を危うくする可能性もありえるということです。このリスクを避けるためには、サマーセッションのgrading optionを”letter grading” (A, B, C, F) オプションから“satisfactory/unsatisfactory”オプションに変える必要があります。その場合、仮にunsatisfactoryになってもcumulative GPAには反映されません。この変更はコース登録後にインターネット、またはサマーセッションの登録窓口で行うことができます。

c. 他校サマースクール

他校のMBAの人と知り合いになりたい、アメリカの他地域の生活を知りたいという人にはおすすめでしょう。何年か前のあるスタンフォード大学の英語プログラム参加者は、「英語はそんなにうまくならないが、サマースクール終了後バークレーに来てからも、スタンフォードのビジネスドクター課程の人や、ビジネス以外のことを学びに来ているアメリカ人以外の人とのネットワークをひき続き保てる。」という感想を寄せています。

Class of 2009からも、スタンフォードの英語のプログラムに参加した者が1人います。

3）過去の日本人学生は最初の夏をどのように過ごしたか？

サマースクールに参加した過去数年の日本人学生のスケジュールを4パターンに分けてみました。ラフなパターンなので、同じパターンに属する人でも実際には期間の割り振りや細かな組み合わせ等にかなりばらつきがあります。また、同じプログラムをとっている人でも、実際どれぐらい出席したかについては、これまた人それぞれでした。尚、サマースクールへの参加が夏の必要条件でないことと、生活設営には時間がかかる、ということはつけ加えておきます。

a. 他大学サマースクール型

6、7月　他校サマースクール

8月　セットアップ　（＋Berkeley MBA サマーワークショップ）

東海岸の大学等でエンジョイした後、バークレーにくるケース。

b. MBAサマーワークショップ型

8月　セットアップ＋Berkeley MBA　サマーワークショップ

c. UC Berkeleyサマーセッション＋MBAワークショップ型

6、7月　セットアップ　＋　UC Berkeley　サマーセッション

8月　Berkeley MBA サマーワークショップ

UC Berkeleyのサマーセッションが終わる前にワークショップが始まるため、授業時間が重なる場合があります。

d. いきなり秋学期突入型

8月　セットアップ

8月に渡米して、そのまま下旬のMBAオリエンテーションに参加するケース。

最近3年間のサマーの過ごし方は、次のとおりでした。

	Class of 2008	2009	2010
aタイプ:	1名	1名	0名
bタイプ:	5名	3名	3名
cタイプ:	2名	3名	1名
dタイプ:	0名	0名	1名

はっきり言って、サマースクール、MBAサマーワークショップに参加しなかったからといって、何かその後不都合があるかといえば、全くありません。(友達作りであれば、夜の飲み会だけ参加すれば十分でしょう。)したがって、サマー参加に際して、社費がでない、職場と相当ネゴる必要がある、等の方の場合、むしろすぱっと参加しない、という選択肢も大いにあると思います。

IV. いよいよバークレーへ （生活スタート編）

1. 到着

入国審査の際には、審査官がI-20の1枚にサインをし、スタンプを押した上、白い型紙 (I-94)がホッチキスでパスポートに貼られます。また、2004年1月より、ビザによりアメリカに入国する際には、写真撮影と指紋押捺が義務付けられています。尚、I-20とI-94はきちんと保管しましょう。2009タナカは米国到着の2時間後にI-20を紛失し、面倒臭い思いをしました (笑)。尚、I-20を紛失した場合、I-houseに再発行の申請をすれば、3日程で再発行されます。

SFO（サンフランシスコ国際空港）より入国された場合は、以下の方法でSF市内にはいることができます。

1) タクシー

大体チップを含めSF市内で$45、バークレーまでは$65程度です。

2) シャトルバス

方面によって別々のワゴンバスが待機しており、人数が集まると出発するというものです。ホテルや自宅まで送迎してくれます。30分程度待つこともありますが、タクシーより安いのがメリットです。なるべく事前予約をしておきましょう。SF市内まで約20ドル、バークレーであれば、25ドル程度が標準で、人数やバス会社によって料金のばらつきがあるようです。出発ゲートのある階(4F)より道路に出て、大きなバン(車体の横に大きく会社名、Tel等が書いてある)がとまっているところに行き、係員に行き先をいえば後は配車を待つだけ。

http://www.flysfo.com/transport/services/

SF市内

SuperShuttle、**415-558-8500**

バークレー方面

Bay Porter Express, 415-467-1800

3) BART（地下鉄）

サンフランシスコ国際空港からBARTでリッチモンド直行か、コンコード行きのマッカーサー駅でリッチモンド行きに乗り換えて、UCバークレー最寄りのバークレー駅（Downtown Berkeley：North Berkeleyと間違えないように注意）まで行くことができます。所要は約1時間、料金は5.90ドルです（2008年1月現在）。荷物の多い方は持ち運びが大変かも知れません。

アメリカの他の都市を経由してこちらに来られる際は、オークランド空港もバークレーに近くて便利です。(現在日本からの直行便は無いが、米国内線の便数は多い)。この場合上記のどの方法もSFO同様に使えますが、BART利用の場合、Coliseum駅につながるエアバートという名のシャトルバスが便利です。料金は2ドル。

http://www.bart.gov

4) レンタカー

空港から直接レンタカーを借りてこられる方のために、一応バークレーへの道順を記しておきます。車を借りる営業所が無料でくれる簡単な地図がありますので、できればご自分で確認してみてください。到着後すぐにレンタカーを借りる場合、日本からレンタカー会社のWebサイトなどを通じて予約してくると手続きが迅速です。また、日本人観光客を対象としたバリュープラン（フルパッケージ保険料込みのプラン）を各社日本営業所が提供しており、こちらで直接手配するよりも安くなる場合もありますので、確認してみてください。時差ボケですぐ運転するのが不安な場合、タクシー等でいったんバークレーへ来てから車を借りることも良いでしょう。大学近辺にもAVISやEnterpriseなど多数のレンタカー会社の営業所があり、電話すればホテル等で無料ピックアップをしてくれます。（大学に一番近いのは、Enterprise（→学割あり）、次に近いのがAVIS。）

＜バークレー迄の道順＞

- SFO を出るとフリーウェイ US101 の標識があるので North に入る。
- サンフランシスコダウンタウンに入ったところでI－80（Iは Interstate Freeway）を West に入り、ベイブリッジを渡る。
- イーストベイに入ってI－80East／I－580　West のバークレー方面に進む。
- そこから 3 つめの出口、University Ave. でフリーウェイを降り、右折する。
- そのユニバーシティアベニューがバークレー市の東西の目抜

き通りにあたり、1.5 マイルほど直進すると市の中心部、そしてUCB キャンパスに突き当たります。ラッシュアワー(夕方 4 時～6 時)でなければ約 45 分位のドライブです。

2. 交通機関

生活を始めるにあたって、さらにはビジネススクールへの通学手段として、公共交通手段（地下鉄、バス）とその他（車、自転車等）についてご説明します。

1）公共交通機関

a. 地下鉄（BART: Bay Area Rapid Train）

BARTはベイエリアで最も利用されている交通手段の一つで、アメリカの地下鉄としては比較的清潔かつ安全なことで知られています（但し、日本の地下鉄とは比較になりません）。実際のところ、朝夕のラッシュ時には車内は相当混雑しており、治安面で心配することはないでしょう。地下鉄のバークレー駅(Downtown Berkeley：North Berkeleyと間違いないように！） から校舎まで徒歩20分程度かかります。(駅からMBAの校舎までは緩やかな上り坂です。）日が暮れてからはキャンパス内の歩行があまり安全とは言えませんので、通学の足としてBARTを利用する場合には、この点十分注意が必要です。

なお、料金は、距離により異なりますが、片道$1.10 ― $4.70程度です。定期券はありませんが、大学のParking and Transportationオフィスで48ドルのチケットが42ドルで売られています。

b. バス

バスについては、ベイエリア全体をカバーしているACトランジット(AC Transit)と、大学の周辺を巡回している大学専用のシャトルバスの二つがあります。1999年度よりUCバークレーの学生は両方のバスの利用が無料になりました（授業料のうち＄35がバス料金に充当されるため）。学生証を持って指定の場所でステッカーを貼ってもらうと(授業料支払後に学期ごとの更新が必要）、学生証を提示するだけでバスに好きなだけ乗れます。当然、これをもらうまでは一般の乗客として料金を支払う必要があります。

ACトランジットは観光バス程度の大きさのバスで、地元の足として比較的人気がありますが、朝のラッシュ時でも殆どの路線で15分に一本程度、昼間は30分に一本しか来ません。しかも、ここはアメリカですので、当然時刻表通りに来ないことはよくあります。ビジネススクールの近くを通るルートとしては7、51、52L、Fなどがあります。料金は1回$1.75 （乗り換えが不要な場合、$1.75ちょうど払わないとおつりは出ません）。乗り換えが必要なときは、予め、$2.00支払い、トランスファーチケットを買う事をお勧めします。(買ってから1時間以内であれば何回乗り換えてもOK） BARTからの乗り換えは、改札内にある、BART／ACトランスファー発券機でチケットを入手すれば、$1になります。バスの回数券は、Shattuck沿いのSafewayかAndronico’s Market（いずれもスーパーマーケット）で10回回数券や1ヶ月パス($70)などを購入できます。学生証およびステッカーについては、大学よりメール等でアナウンスがありますのでそれに従ってください。

シャトルバスは、大学の周辺を巡回している一見スクールバスのような形のバスです。(車体にU.C.Berkeleyの文字入り） こちらはビジネススクールの正面に停車（事前に運転手に申告する必要あり）しますが、学校の周り以外には行きませんし、時間もやや不規則のようです。料金は、1回1ドル。但し、U.C.B.の駐車チケットを買うとフリーパスがもらえます。

なお、BARTのバークレー駅のそばのBerkeley Trip Commute Store（2033 Center St. Phone：643－7665)では、BART、ACトランジット等のチケットを販売しており、時刻表やルートマップなどが手に入ります。また、カープール（乗り合い乗車）のマッチング等、その他交通手段に関する情報提供も行っています。

2)その他、自家用車、バイク、自転車等

a. 自家用車

自動車通学の場合は、学校近辺にある学生用の駐車場(S表示のある場所：大学構内には駐車できません）に駐車することになります。Haasに近い駐車場としては、Stadium Lot（至近距離）、Foothill Parking Lot、Underhill Parking Lot、等があります。

学生用の駐車場を常時利用するためには、所定のパーミッションを購入（1学期：350ドル強）する必要があります。その際、住所が大学から2マイル以上離れていることが条件となります。(具体的にどこまでのエリアまでが条件を満たすかについては、後述のParking and Transportationのホームページで確認できます。)ま

た、その都度、5ドルでチケットを購入し（各駐車場に自動券売機が設置されている、時間帯制限あり）、駐車することも可能です。

なお、パーミッションは、単なる「駐車許可証」であって、駐車スペースを保証するものではありません。都度First come first serveとなります。現在は、スタジアムの改修工事に伴い、スタジアム周辺のロットが閉鎖されているため、スタジアムの上（Hill side）もしくはUnderhillに停めることになるでしょう。キャンパス南側の駐車場に停めることも可能ですが、この場合かなり混むので、授業が始まる15分前頃には到着することをお勧めします。

パーミッションの購入の手続きは、Parking and Transportation (2535 Channing Way Phone: 642-4283)で行います。オンライン（http://pt.berkeley.edu/）でも購入可能です。オンライン購入の場合、購入後にTemporaryのパーミッションをプリントアウトし即日利用可、後日実物が郵送されてきます。各学期のパーミッションについては、授業開始日以前に購入することもできますが、購入日から学期末までの料金となり割高になるので、授業開始日に購入するとよいでしょう（ただし、学期初日の事務所は混みますので、オンライン購入をお勧めします）。手続きの際には、学生証が必要です。

（後述の「自動車購入と保険・免許」の項もご参照ください）

I-80等、近辺のFreewayを利用する場合、ラッシュアワーの渋滞も覚悟しましょう。

尚、Garmin, TomTom, Sonyなどのポータブルカーナビを購入される場合は、駐車の度に必ず外から見えないところにしまうことを習慣付けることをお勧めします。現実に今年、UC Village内においても、フロントガラスが割られてカーナビの盗難に遭う事件が発生しています。

b. オートバイ、スクーター

駐車場の問題がないことや保険料が安いことなど、自動車にはないメリットがある一方、雨の心配や安全面での問題があります。特に、アメリカは自動車中心社会のため、バイクの運転の際は一層安全に留意する必要があります。

c. 自転車

アメリカ人学生の間では比較的ポピュラーな通学方法ですが、何分ビジネススクールが丘の上に位置するため、かなりの体力を必要とするでしょう（また春学期の雨の日は辛いでしょう）。バークレーヒルズやアルバニーからの通学はかなり厳しいものがあります。（ただ、行きは自転車、帰りは自転車をバスにのせて帰るなども可能。）一方、キャンパスの南側や西側からはそれほど坂道もきつくなく、自転車があると非常に便利です。（ただし、坂道であることには変わりません。）

また、自転車の盗難も多発していますので、U字ロック（20ドル程度）を購入するべきです。なお、自転車の警察登録については、UCPD Bicycle Registration(1 Sproul Hall Phone: 642-6760)で手続きを行います。なお、盗難に関しては、日本と比較にならないほどに徹底した手口での盗難も発生しており（複数のロックを壊して、タイヤ以外をすべて盗難、等々）、クラスメートによっては、盗難されることを前提として、Craigslistなどで安価に中古品を入手したりもしています。特に新しく自転車を購入することを考えられている方は、盗難予防に関して細心の注意を払われることをお勧めします。

3. 住まい探し

外国に来て初めて家を探すのは、結構大変なことです。ましてや知り合いもなく、こちらのシステムにも不慣れで、限られた期間内に自分一人で家探しをするとなると、これはとてもタフな仕事になります。しかし、家探しで色々と回るうちに、イーストベイの素晴しい生活環境や、アメリカ人の豊かな暮らしぶりを垣間見ることも出来ます。英語での交渉は大変ですが（特に初めての人）、英語でビジネスを行うことに比べれば初歩の初歩。「冒険の始まり」と、楽しみながら、素晴しい2年間の住みかを探しましょう。ここでは、家探しに関する情報を盛り込み皆さんの心配を少しでも軽減できればと思います。

学校からバークレー周辺地図が送られてこなかった場合、Google Mapをプリントアウトしておいたほうがいいかもしれません。
http://maps.google.com/

1）バークレー周辺の住宅事情

ベイエリアは、物件は豊富ですが家賃が東京並み（場合によってはそれ以上？）に高く、本当に良い住宅を見つけるのは容易ではありません。一般的に、バークレー周辺の不動産は古く、築何十年というものがほとんどです。特に秋学期の始まる直前（8月）には学生が大量に移入しますので、学生に比較的人気のあるNorth BerkeleyやRockridgeに住居を探す場合は7月中に探すことをお勧めします。

住居探しには、余裕を持って2週間くらい考えておくのが無難でしょう。もちろん、どのくらいこだわるかによってかかる時間は変わりますが、待てばよい物件が出てくるとも限らないので、一概には言えません。

住宅の種類はアパート、ステューディオ、一軒家、In lawがありますが、地域により家賃は大きく異なります。大学近くの比較的治安の良いところや、ノースバークレーなどの価格の目安を示します。キャンパスから離れれば低価格物件を見つけることは可能ですが、大学近くではかなり競争率が高いと考えて下さい。また大半のアパートはペットとの同居を認めていないので、ペットと同居する場合は7月中の家探しは必須かと思われます。

a. シェアタイプのステューディオ

ベッドルームを個人で借りて、バスやキッチンを他人とシェアするタイプ。MBA学生でこういった形態に住んでいる人はかなり少ないが、Class of 2007の河根はその1人

1Room: $600 – $800

b. アパート/ステューディオ

1Bedroom： $900 – $1,600

2Bedroom： $1,500－$,2200

c. 一軒家

何人かのルームメイトとシェアすると＄600～800／人で借りられる

2Bedroom: $1,500–$2,500

3Bedroom: $2,000–$3,500

d. In-Law

In-Lawとは、一軒家の一角あるいはひとフロアを間借りする形式の物を言います。間借りといっても、入り口やバス、トイレ、キッチン等は大家さん自身が使っている物とは全く別なので、プライバシーを守ることはできます。メリットとしては、比較的低価格で一軒家に住める（庭付きの物も多い）、物件によっては家具付きのところがある、多くの物件がUtlilitiesやInternet込みで、手続きが不要、大家さん家族と親しい付き合いができる等が挙げられます。また、良い物件に巡り会える機会が少ないことや、割り当てられる部屋は大家さんの使っていないところなので、手入れが行き届かない、場所が悪いなどのデメリットがある場合もあります。大学近く（特にノースバークレー）やケンジントン、バークレーヒルズにかなりの物件が出ています。

1Bedroom： ＄800－＄1,200

2Bedroom： $1100 – $1,700

2）主要エリア

皆さんが実際に住む場所を決定する際に参考としていただけるよう、いくつか中心的な住宅エリアをご紹介します。土地感がないと分かりづらい面もあるでしょうから、到着後すぐになるべく詳しい、番地が載っている地図を入手して（文房具やなどに売っています）、あちこち見て回るといいでしょう。

以下北から南の順にご説明します。なお、各地区の概要はは以下のURLからも確認できます。

http://calrentals.housing.berkeley.edu/neighborhood.html

なお、各エリアに実際に住んだことのあるClass of 2003～2010のナマの声を載せてみました。

☆…自慢 ★…不満 です。ご参考まで。

・エルセリートデルノルテ（El Cerrito Del Norte）

バークレーキャンパスから北に約6－7マイル。エルセリート自体治安は良く、バートが通学の手段に使えるため、家族連れでも車が1台で済むという利点があります。日常の買い物は車で5分から10分ほどの所にあるスーパーマーケットや食料品店になります。

- ☆ 通学路で鹿に会える。郊外型大型店が多いので車があれば買い物も実は便利。Bartもある。治安もいい。

★ 学校から遠い。

・エルセリートプラザ（El Cerrito Plaza）

このエルセリートプラザにもバート駅があり、その名の通りショッピングプラザなので買い物にも便利です。治安もほぼ心配ありません。特に丘の方は閑静な住宅街で、素晴らしい景色が楽しめます。またアルバニーのメインストリート、ソラノアベニューにもほど近く、雰囲気の良い小さなお店やレストランが楽しめます。

・アルバニー（Albany）

ソラノアベニューを中心とするアルバニーは、治安が良く、小学校以上の教育水準が高いことで有名です。住民の質も良く、ソラノアベニュー沿いには2件のスーパーの他、レストラン、銀行、コンビニ（セブンイレブン）、ファーマシー、床屋ほか多種多様なお店もあって生活に便利な街です。学校までは車で15～20分位です。ソラノ付近は学生にかなり人気があり、物件もやや割高です。この地域には学校の家族向け施設であるUCビレッジがあります（詳細は後述）。

☆ 車で海岸（正確にはベイ）に 5 分、トレッキングができる山へ 15 分。ピラミッド（地ビールのビアホール）、東京フィッシュマーケット、モントレーマーケット（和系野菜スーパー）などが徒歩圏内。

★ 日本と家賃が変わらない。学校からちょい遠い。

・ピアスストリート（Pierce Street）には Bay Side Commons (535 Pierce)、Bridgewater(545 Pierce)、と GateView (555 Pierce) といった3つの大きなアパートが並んでいます。サンフランシスコ・ベイに近く、部屋によってはベイ・ヴューやサンフランシスコの夜景を臨めるようです（これらのアパートは基本的には家族向けの物件です。535のBayside Commonsは、2 Bed Room＋2 Bathで2008年時点で$2000程度）。歩ける距離にアジア系大型スーパーRanch99の入っているモールがあります。バス通学も可能です。駐車場は完備されています。

☆ すごく安全。高速に近い。広くてキレイで相対的に安い。学校に行くバスがとおっている。来客時の車の置き場に困らない。部屋に洗濯機と乾燥機あり（Bayside Commons）。

★ 気にならない程度だが、高速道路の音が若干うるさく感じる可能性あり。コンドの大家との個別契約なので当たり外れがある。

・バークレーヒルズ、ケンジントン（Berkeley Hills，Kensington）

キャンパスの北側からエルセリートデルノルテにかけての丘陵地帯に広がる、広大な中高級住宅地です。丘の上に位置するためベイの景色はすばらしく、また、鹿やリス、野鳥も豊富な、自然に恵まれたエリアです。庭の中にまで鹿やリスが遊びに来る家も多く、庭先に餌箱を置いて野鳥の餌づけをしている家も多く見られます。アパートは少なく、一軒家をそのまま借りるか、ワンフロアーを借りるかの選択になることが多くなります。キャンパスやバートの駅までバスを利用できますが、生活にはやはり車は必須でしょう。

☆ 自然が多い。景色（夜景）がとても良い。すごく完全。

★ 店が近くにない。坂道なので絶対に車が必要。

・ノースバークレー（North Berkeley）

中高級住宅地です。BARTのDowntown Berkeleyから更に北へ5分程、歩いた場所になります。Shattuck Avenue沿いに幾つかのアパートがあり、治安も良く、閑静な住宅街です。2009のタナカ、アボが住んでいます。バートもありますがキャンパスに近いので自転車や徒歩でも（20－30分位）通学できます。アパートよりも一軒屋が多いので、ルームメイトなどを募集してシェアして住んでいる人が多いようです。

☆ キャンパスまで近い。グルメゲットーにも近い。散歩するにも結構よい。ショッピングエリアにも近い。治安がいい。

★ 手ごろな物件が少ない。

・キャンパス周辺

Haasに最も近いエリアは、当然通学には便利なのですが、Undergradが夜中まで騒いでいたりしますので落ち着かないかもしれません。

・I-House

キャンパスのすぐ東側には、通称I－houseという学生寮がありま

す（詳細は別項にあります）。

☆　Haas まで歩いて 5 分だからギリギリまで眠れる。 休みの間に家に戻れる。

★　飯が単調。部屋が狭い。学生寮の割にそれほど安くない

・Bart駅周辺（Downtown Berkeley駅）

目抜き通りとなるShattuckアベニューを数本はさんだとおりにアパートメントがあります。価格は概して高めですが、学校にも Bart駅にも近く便利なところです。

☆　Haas まで歩いて 15 分程度。また 51 番のバスや、学校の無料のバスを使うことができる。BART 駅に近く、サンフランシスコなどへ出やすい。小さなレストランがたくさんあり食事に困らない。

★　手ごろなスーパーマーケットがない。
（コンビニはたくさんある）

・キャンパス南側、エルムウッド（Elmwood）

キャンパスから数ブロック離れると、喧騒から離れて落ち着いた雰囲気になります。HAASにも近く、道も比較的平坦なため、通学に非常に便利な上、カフェやレストラン、雑貨屋等も多く学生に人気の高いエリアです。

☆　学校やテレグラフなどの繁華街に近い。静かで風景がとてもきれい。その辺のなんでもない家がかわいい。お花にあふれた住宅街で治安もいい。学校に近い（徒歩 15 分）。映画館もある。いろいろな店があるので散歩が楽しい。Andronicos, Berkeley Bowl, Wholefoods などが近くにあり便利。

★　ホームレスが多い地域なので、女性は夜 1 人で歩くと怖いかもしれない。治安がいいはずだったが、路上駐車していた車の窓ガラスが割られてカーステレオが盗まれた！

・ロックリッジ(Rockridge)

オークランドのダウンタウンは治安に非常に問題のあるエリアですが、丘を上がったロックリッジエリアは比較的安全で、アメリカやヨーロッパからの学生に人気のある場所です。キャンパスへは、カレッジアベニューをまっすぐ行けば徒歩で30分程度。51号線というバスも頻繁に行き来しています。ソフィスティケートされた雰囲気のお店も多く、おもしろいエリアではないでしょうか。

☆　街が可愛い。カフェもスーパーもこじゃれたスーパーも徒歩圏内。おいしいレストランがたくさんある。BART駅もある。学校にバスでも（本数は比較的多い）、自転車でも通えないことはないが、それなりにつらい。治安がいい。（ただし 2005 年、夜間の連続路上暴行事件が問題になった時期もありました。要は治安に関しては注意しすぎてしすぎることはないと言えます）

★　海が見えない。バスが時間通りに来ない。

・サウスバークレー(South Berkeley)、アッシュビーアベニュー(Ashby Ave.)

サウスバークレーエリアは通学や買い物に便利なエリアで、自転車通学が可能です。バートのアッシュビー駅より西（ベイ側）はあまり治安の良くないエリアですが、東（丘側）はまず問題ありません。とはいえ夜の一人歩きは要注意です。

☆　安い店が多い

★　治安が悪い。自宅裏庭の自転車が二度盗まれた、自宅近くの路上で男が尻を拳銃で撃たれた、等・・・

・エメリービル(Emeryville)

フリーウェイ I―80の東西にいくつかのコンドミニアムがあります。特に西側は、治安の問題はありません。最近竣工した物件もいくつかあり、ほとんどが駐車場完備です。周辺に倉庫が多いため殺風景な感もありますが、一方企業誘致に熱心で新興企業が進出したり、ディスカウントストアも建ち並びます。利点としては、すぐ眼前が海で気持ちが良いこと、SFダウンタウンに近いことが挙げられます。奥様が仕事や学校でSF方面に毎日通う場合には絶対お薦めです。朝夕のI－80の渋滞は日本を思い起させます。難点としては、公共交通機関の便があまりよくないので、自家用車が必需品です。学校までは車で10～20分です。

☆　海に近く眺めがいい。Bay Street ショッピングセンターに近い。大きな映画館が二つある。IKEAが近い。

★　学校から遠い。車がないと無理。

・クレアモント(Claremont)

バークレー・オークランドから丘を上ったところで、バークレーヒルの南につながるイーストベイ随一の高級住宅街です。実際にMBA学生で住んでいる人はあまりいませんが、余裕があれば住んでみたいあこがれのエリアといったところです。言うまでもなく治安は全く問題ありません。

・サンフランシスコ市内

シティライフを楽しめるエリア。市内にあるサンフランシスコ近代美術館、シンフォニーホール、オペラハウス等の文化施設を手ごろに楽しめます。ただし学校までの通学時間はばかになりません。バート利用でもHaasまでは1時間、車でも最短で35分。ベイブリッジはサンフランシスコ市内に向かう際に4ドルかかります。

☆ ジャパンタウン、中華街、ノースビーチ（イタリア人街）、他、食事、観光スポット多数。スーパーもWhole Foods, Safeway, Trader Joe’s などがある。

★ 学校まで遠すぎる。

この他南リッチモンド地区など、それぞれ特徴の多いエリアはまだまだあります。出来れば実際に歩いてその場所の感じをつかまれると良いでしょう。

上記の地域のうち、大学にも近くて特に人気があるのは、ノースバークレー（丘側）、エルムウッド、ロックリッジ、アルバニーです。競争率も高いと考えましょう。

3)住まいの探し方

a.. 渡米前に住居を決定しておきたい場合

バークレー付近にいる知人等に不動産屋や家主にコンタクトしてもらい、日本から電話やFAX、メールで直接やりとりしながら渡米前に家を決めてしまうことも、技術的には可能であり、実際、Class of 2008は2人がこの方法で家を決めました。

また、今年度卒業予定の人に連絡をとって、その人が住んでいた家をそのまま引き継ぐ方法も考えられます。（第9章参照）。この場合、家と同時に、家財道具、車等も一緒に譲り受けてしまえば、立ち上がりが非常に楽になります。**但し、いずれの場合も自分の目で家と周辺の環境を確認できないというRiskは当然伴います。**

b. 渡米後、自分で探す場合

a) まずは渡米前に、不動産情報サービスや個人売買用のサイトで、予算に応じた物件情報を入手する、またはインターネットで調べて、あらかじめ場所と値段にめぼしをつけておくのが良いでしょう。（C. 住宅情報ソースを参照）。

b) 渡米後、キャンパス近郊のホテル、もしくは大学の宿泊施設（後述）に滞在する。現地につてなどのない場合には2週間程度は確保されることをおすすめします。じっくりと探すならば、2週間～1ヶ月のサブレットを確保した方がホテルに宿泊するよりも割安です（＄20～30／日）。

c) 近郊の地図を入手する。市販の地図は文房具店やスーパー等で購入できます。足（徒歩＆公共交通機関等）で家探しをする予定であれば、番地が明記されている地図を選びましょう。また、通学や日常生活に車の利用を考えている方は特にAAAが有用です（トリプル エー：1775 University Ave., Berkeley／窓口で入会費を払い、希望すれば、全米中のあらゆる地区の地図（縮尺も各種）を、無料で好きなだけもらえる。バークレー周辺で家を探している旨を伝え、近隣を鳥瞰できる物と、全てのストリートが記載された各地区の最も詳細な物とをもらいましょう）。

d) 住みたいエリアが絞れている場合は、歩くかレンタカーなどで直接見て回り、”For Rent”の看板を探してみる。

e) 場所と値段で良い物件にめぼしをつける。

f) 家主または不動産屋に電話をかけ、訪問日時のアポイントを取る。個人家主の場合、相手が直接出ず、留守電になるケースがほとんどです。またメッセージを録音してもなかなかコールバックをくれないことが多い等、とにかく家主を捕まえるのが非常に大変なので、気に入ったところを待つ余裕はないでしょう。よさそうな物件には何人もの人が同時にアプローチしていることも珍しくありませんので、家主からの連絡に即座に対応することが大切です。携帯電話（空港にてレンタルあり）を確保すればこのプロセスの負担はかなり軽減されます。また、レジュメと銀行の預金残高証明書（企業派遣の場合には財務証明書）は必要になる場合がありますのでコピーを用意しておきましょう。

g) 訪問し、気に入ればアプリケーションを出す。（その場で契約というのもあり得ます）。このアプリケーションは法的拘束力はな

いので、迷ったら出しておいた方がいいと思います。そして、自分がビジネススクールのMBAであり、信用できる人間であることを家主に強調しましょう。実際複数の申込者の中から、家主が選ぶというケースが多いからです。この辺は日本の事情と全く異なります。また、信用履歴として、クレジットカードの利用履歴を求められる場合がありますが、海外からの留学生である旨を説明すれば免除してくれます。同時に、レジュメ、預金残高証明書等を提出します。

h) 契約が成立すれば、家賃2～3ヶ月分程度のデポジットを支払って、決められた日に入居となります（すぐには入居できない場合もあるので、この点も要確認）。

c. 住宅情報ソース

・インターネット

西海岸にいて知らない人はいないと言われるCraigslist。要は個人間の情報交換・売ります買います情報の掲示板ですが、家・車・家具から恋人まで（！）、ここでなんでも探せます。

http://www.craigslist.org/eby/

・大学のハウジングオフィス

夏になると、空家物件がハウジングオフィスのサービスに登録されます。最初に訪れたときに本人登録を済ませると、その場で希望に応じた価格、間取りに近い物件のリストを手渡されます。またその後も毎日メールにて最新の登録物件が送られて来ます。基本的にハウジングオフィスのスタッフと直接話をするのは登録時と一番最初のリストを手渡される時のみです。希望の物件が見つかると、家主に自分で電話し、訪問日時等のアポイントを取ります。オフィスが混み合っているのと、リストが余り親切な構成になっていないのとで最初は結構時間をとられます。(8月にはいると良い物件がかなり減る気がします。また、カバー物件もCraigslistと被っていてかつ範囲が狭いです。なお、メールでのリスト配信は9月中旬で終わります。）

登録は1ヶ月で30ドル。

Cal Rentals Office

2535 Channing Way #2272, (510) 642-3642

http://calrentals.housing.berkeley.edu/

月 - 金 10am – 4pm

注意：入り口で、身分証明書（パスポート）と合格通知書の提示を求められる。

・不動産屋

こちらの不動産屋は会員制になっていて（月額約50ドル）、あらかじめ登録した希望内容（場所、部屋数等）に基づいて毎日情報を提供してくれるシステムです。情報は毎日オフィスに出向いてチェックするか、メール配信で受け取ることが可能です。そこでめぼしい物件があったら直接家主にコンタクトします。ハウジングオフィス同様、英語での交渉が必要となります。

MetroRent

2840 College Ave., 510-845-7821

http://www.metrorent.com/

Websiteから申し込み、物件情報をe-mailまたはwebから照会できるので、日本にいる時から情報収集することが可能。渡米前に、ある程度値段やコンタクト先などをプリントアウトしておくと良いでしょう。（渡米当初インターネット接続が確保できない場合に備えて）

K&S Co., inc.

1035 San Pablo Ave., Suite 12 Albany 510-528-1900

www.kands.com

マネージャーのAl Satakeさんは日系アメリカ人で、車で物件を見せてもらえます。（ちょっと学校から遠いのが難点）

・新聞/雑誌

バークレーの街角には、無料で手に入るコミュニティ新聞(Berkeley Voice, Guardian 等) や雑誌がたくさんあります。毎週日曜日には空部屋の広告がたくさん載ることがあります。大体は個人広告なので、直接家主に電話して交渉することになります。たまに驚くような破格の物件も載っているので、こまめに調べると良いでしょう。ロックリッジ近辺の物件を探す場合は、モンテクレアーという地域雑誌（毎週火、金曜日発行）が有用です。

4) 契約についての注意点・借用契約書の内容

a. 契約内容

借用契約には、lease, month-to-month の2種類があります。前者は6ヶ月から12ヶ月の期間が指定されており（1年間のリース契約＋1年経過後マンスリー（month-to-month）に変更、というケースが一般的です）、その間に契約を解除すると deposit を没収されたり、ペナルティの支払いを要求されたりします（Class of 2009の1人は、入居後4カ月で1年リース契約の中途解約を強行しましたが、当然大家とかなり揉め（かなりストレスフル）、結局2カ月分のペナルティを支払いました。クラスメートの奥さんで弁護士の方にも契約書を見てもらいましたが、2カ月分程度はやむを得ない、というコメントでした）。近い将来での転居を視野に入れる場合は、1カ月前通知でいつでも契約を解除できるmonth-to-monthの方が望ましいと思います。また、Lease の場合でも、個別の事情やニーズに応じて事前に大家と充分話し、（もちろんハードルは高いですが）途中で解約する場合の条件を契約書の中に具体的に明記しておいた方がよいでしょう（例えば、後任テナントを自分で見つけてくればペナルティは不要等）。契約に際して家主から financial statement を要求されることも多いので、会社派遣の方は英文の financial certificate を用意されることをおすすめします。契約時には、first month, last month 及び deposit（家賃の2～3ヶ月分)を請求されますので、当座の資金計画の中に入れておいてください。（当地の銀行で口座を開き、小切手を切れるようにしておくことをお薦めします。最初の支払いについては、通常の小切手ではなくCashier's checkを要求されることもありますので確認が必要です。）

b. 契約上の確認事項

ガス、電気、水道、ゴミ収集、ガレージの使用、庭の管理等について、どちらが費用を負担するか契約時に確認してください。

c. 交渉時の注意

交渉に際し（特にアパート、コンド）、最初からこちらが出せる限度額を言わない方がいいと思われます。こちらの限度額（通常、日本人、特に企業派遣者の限度額は、普通のアメリカ人よりはるかに高い）が非常に高い事を知って、同じ物件で通常よりはるかに高い値段を吹っかけてくる家主もいるそうです。また面倒でも契約書にはきちんと目を通しましょう。納得が行かない項目があればすかさずその場で確認を取りましょう。

d. アパート、コンドの直接交渉について

通常、アパート、コンドは仲介業者を介して契約が行われますが、直接目的のアパート、コンドに行って交渉する（大きなコンドには大抵leasing officeがあります。）手もあります。この方法で不動産情報に掲載される前にいち早く人気物件を押さえらることもありますのでトライしてみて下さい（仲介業者より有利な条件のこともあるそうです）。

5)大学関連の住まい

UCビレッジやI－Houseなど大学のハウジング施設については、5月頃大学から送付されてくる資料に詳しく記載されています。家賃が安い、通学に便利といったメリットがある反面、毎年応募者が多く割り当てまで時間がかかる（6ヶ月から30ヶ月！）、物件によっては施設が古い、共同生活（バス、トイレ共有など）が必要な場合がある、という問題もあります。ただ、最近はGraduate Student用の新築アパートも増えているのでチャンスは少なからずあります。物件の詳細および申し込み方法は以下のURLからも確認できます。

http://www.housing.berkeley.edu/housing/

またMBA Administration Office (Student Service Wing S440)では、ビジネススクールの学生に住んでもらいたいという家主からの情報も持っていますので、こちらに来られたら問い合わせてみるのも良いでしょう。MBAAのウェブサイトにある掲示板にメッセージを出して、同じ時期に家探しをしているクラスメートと情報交換するのは役立ちます。

a. UCビレッジ（University Village Albany）

かなり広い敷地にある大学の家族寮。治安もよく、通学時間帯（平日の朝・夕）はキャンパスまで10分おきに来るAC Transitバス(52Lラインで学校まで20～30分ほど)を活用できます。また、クラスメートも多く住んでいるのでCarpoolできることも多々あります。買い物は車が必要です。ジムやテニスコートもあります。家賃は1200～1800ドルで、水道、光熱費、ごみ処理、駐車スペース1台分、インターネットまで含まれますので、お得です。難点は室内に洗濯機を置いてはいけないこと(ただしこっそりと簡易洗濯機を置

いている人もいる)。生ゴミDisposer、食器洗い機もありません。

East Villageはタウンハウス型が殆どで、1～2階もしくは2～3階の部屋があります。West Villageに比べると部屋やバルコニー、収納等が広いですがその分家賃も少し高めです。一方、West Villageはアパートメント型で、2006年夏に完成した部分と、2008年夏に完成した部分があり、どこも新しくきれいで家賃もリーズナブルですが、Eastに比べると少し狭いです。

MBA生の家族連れ（特に子連れ）の多くが住んでおり（2学年で40－50家族はいると思われます）、交遊が広がり、助け合えるメリットもあります。

2008年夏は、増築エリアが一気にオープンしたことから皆スムーズに入居できましたが、例年は、特に人気のある部屋は3ヶ月から4ヶ月待ち。（5月の終わりにアプライして、9月の終わりにオファーがきた者もいます）。しかし、この順番待ちの管理は非常にフレキシブル（いい加減）。Interenationalのクラスメートの中には、毎日のようにオフィスに電話をしたり、子供の写真付きの手紙を送ったり、とかなりのPushをしていました。MBA生ではありませんが、Housing Office宛てのメールのCCにAdmission Officeを入れて、「Villageに決めてくれなきゃ勉強が出来なくて困る」と訴えてオファーをもらった人もいるようです。また、8月に入ってから、直接Housing Officeに談判すると、その場で部屋を割り当てられることも多々ある様です。そのからくりは、安全のために、とりあえずUCビレッジを押さえておく学生が多いらしく、8月の後半になって自分で部屋を見つけた学生からのキャンセルが続出するためということ。また、International、子連れは優先されます。

詳しくは以下のURLを見てください。

http://www.housing.berkeley.edu/livingatcal/universityvillage.html

b. International House (通称I-House)

・概要

I-Houseはバンクロフト通りの東のはずれ、スタジアムのそばに位置し、ビジネススクールへは徒歩5分と、通学には最適の場所にあります。今から70年近く前の1930年8月、当時排斥されがちであったアジア人留学生の受け容れを意図したキリスト教活動家Harry Edmondsが大富豪John D. Rockefeller Jr.の支援を受け設立したもので、アメリカにはほかにコロンビア大学やシカゴ大学のそばにもあります。バークレーでは600名弱の学生等(undergraduate, graduateとvisiting scholar)が生活しており、その4割弱が米国人学生、6割強が世界約70ヶ国からのInternational Studentで構成されています。（現在は日本、インド、韓国、台湾等のアジア諸国や、フランス、ドイツ、イギリス、カナダ、イタリア等の出身者が多くなっています。男性約60%、女性約40%。）ここで学生生活を送った著名人も多く、「不確実性の時代」で有名な経済学者J.K.ガルブレイス氏（ハーバード大学教授)や国連難民高等弁務官の緒方貞子氏も学生時代ここで暮らしていました。

I-Houseでは様々なイベント（Coffee Hours, Sunday Supper, 多種多様なParty、映画会、Language Table、ダンス・料理教室等々）を通じてHaas内外の世界中の友人を増やす機会が多く、独身の方にはお勧めとの意見もあります。サマー期間のみの契約も可能なので、バークレーでサマースクールに通う人はここに住みながら家探しをするのも一策でしょう。ただ、ビジネススクールの授業が始まると勉強が忙しくイベントへの参加も減りがちになり、またUndergraduateの学生も多いため落ち着かないと感じる人もいるかも知れません。

・部屋

部屋はシングル、ダブル(2人で1部屋)の選択ができます(申し込み時に選択)。 Graduate Studentのみシングルに入居できるため、大抵はシングルを選択するようです。いずれも広さは6畳強のため、ダブルはかなり狭く感じられます。ただ、Bay Viewと呼ばれる部屋がいくつかあり、ここから眺める朝夕のサンフランシスコ湾とゴールデンゲート・ブリッジの眺めは最高です（但し家賃は他の部屋より若干高め)。各部屋とも机、タンス、ベッド、押入、電話などは完備しており（テレビは各自購入またはレンタル)、着いたその日から生活できます。インターネット接続（UC Berkeleyネットワークへ直結）も各部屋に完備されています（接続料別途要）。スループットはADSL以上ですので、快適です。トイレ、シャワーは共同です。Rentの目安としてはシングル、秋学期＋春学期、食事込みで14,500-16,500ドル程度です。（ダブル、トリプルと共用にすると安くなる）つまり、一月1600ドルを超える計算（夏冬休みには別途お金を払わないと追い出されます）！ これを高いと見るか安いと見るかでしょう。

毎年、Rentを見直しているので、詳細はHPをご覧ください。

(http://ihouse.berkeley.edu/)

・設備

日常生活に必要な物は一通り揃っています（コインランドリー、スナックやジュース等の自動販売機、日用雑貨の売店、図書館（24時間オープン）、コピー機、コンピュータルーム、カフェ、ビリヤード台、卓球台等）。

・食事

I-Houseには広大なメインダイニングがあり、大勢の入居学生達と一緒に食事することができます（バイキング方式）。そのため自然と交友関係が広がっていくのもメリットの一つです。平日は朝、昼、晩の3回、週末はブランチとディナーが用意されます。毎食新鮮なサラダやフルーツが食べられますが、日本食が出ることは殆どなく、食事の質も総じて余り良いとは言えないので、日本食を食べないと生活できない人には快適とは言いかねます。 入居契約の中には食事も含まれており、部屋だけの契約はできません。なお、ダイニングではI-House入居者以外でも一回$6程度の料金を払い食事することができます。Haasから近いということで、入居者以外のMBA生も昼休みに食べにきたりします。

・アプリケーション

I-HouseのHP（http://ihouse.berkeley.edu/l/room_info.html）でアプリケーション・フォームをダウンロードし、必要事項記入の上郵送します。なお、個別に問い合わせれば一日＄30程度で早期入居も可能のようです。

（連絡先）

International House

2299 Piedmont Avenue

Berkeley, CA 94720-2320

510-642-9490

I-Houseに住んだことのある過去の卒業生のコメント

MBA Class of 2004でI-Houseに住んでいた人は、14人ほどいます。（Class of 2006は10人程度、うち日本人は0人。）部屋が狭い＆ご飯がまずいが最大の難点です。I-Houseではさまざまなイベントが企画されていますので、自分の空き時間を埋めるには都合がよいです。最大の利点はやはり便利であるということです。まず、Haasに近いということで朝はぎりぎりまで寝ることができますし、クラスの合間に自分の部屋に戻って宿題や雑用をこなすことができます。また、Berkeleyのその他プログラムに在籍すると優秀で個性的な人間と知り合い、友達になることができます。ロースクールやエンジニアリングスクールの人と出会えたことは大変貴重であったと思います。部屋によりうるさくて勉強できないという人もいますが、まわりに住んでいる人の巡り合わせにより大きく異なります。ですので、上のフロアに割り当てられるようにリクエストを出すことをお奨めします。寮感覚ということで、いろいろな人が自分の部屋に遊びにきたり、パーティなどに出掛けようと誘いにくることが頻繁にあるので楽しいことは楽しいのですが、MBAの一学期はかなり忙しいので、たまには「No」と言えるような人間に早くなることも必要だと思います。

I-Houseに在住していた卒業生（2008）のコメント

（メリット）

1. それなりに知り合いができる。

2. 学校が近い。

3. 飯もそれほどまずくない。

（デメリット）

1. うるさい。（壁の薄さは最悪です。はっきり言って、隣の電話の声はそのまま聞こえます。うるさいと寝れない人は絶対やめましょう。）

2. 授業が忙しくてイベントに結局参加できないので、結局、寝に戻るといった生活になる。

3. とにかく高い。

4. 部屋がせますぎる。（冷蔵庫は置けません。）

5. トイレを流さない住人が多い。

6. 英語を話す機会は、結局、飯どきに「ちょこっ」とという程度なので、「英語漬け」の生活を期待していると裏切られます。

c. Graduate student用の寮

上記2つが代表的な学校の施設ですが、特に独身者向けには他にもさまざまな施設があります。1人部屋が良い場合は、Graduate student専用の施設が良いかもしれません（詳細は先述のサイトを参照）

長所：わりときれい。他学部の人と知り合いになれる。学校に近い（特にIde JacksonはHaasまで徒歩5分）

短所：バス・キッチンが共同で、学校の施設のくせに高い（$800以上する）。どうせならI-houseに住む？

どの施設も、なるべく早めの応募が必要です（6月中に動き出したほうが良いかもしれません）。

6)過去の卒業生の家探しを振り返り

a. 情報ソース

最も有用だったとの意見が多かったのは、先輩等のつて。直接先輩に相談するのが近道のようです。一般的な情報源では、CraigslistやMetro Rentが挙げられました。

b. 要した日数・時期

最短で1日（つてを持っていた人orUC Villege等に日本で確定した人）、平均で10日前後、最長1ヶ月といったところです。

時期は、バークレーの住宅事情は年々悪化しているため、早いに越したことはありません。家庭をお持ちの方で、良い物件を早めに決めたい方は、7月上旬までには到着し、最低2週間の余裕をもって決めるのがよいという意見もありますが、独身の場合は8月のサマーワークショップの間に決めてしまうことも十分可能です。

c. 注意点

1）歩いて通学する人はせいぜい1.5マイル圏内まで。自転車/バイク通学を考えている人は雨のことを考えて（冬は結構降ります）。バスは余り頼りになりません。

※ 車で通学する場合にはパーキングパーミットが必要になりますが、**学校から2マイル圏外の地区に限られます。**それよりも近いと、原則、発行してもらえない(しかし、この2マイルというのはあまり厳格な決まりではないので、2マイル以内でも発行されることも。実際、2009タナカは2マイル以内でも発行されました。)ので、徒歩、自転車もしくは公共機関による通学になります。2マイル圏の地図は以下のURLで確認してください。

http://public-safety.berkeley.edu/p&t/2milemap.html

2）バークレー市内、オークランド近辺にはいわゆるコンドミニアムはなく、アパートは概して古いです。ですので水回り、上下左右からの騒音は入念にチェックしてください。また、これらの地域はアリが結構出ますのでその点もご注意を。最後に米国は礼金の負担がないので、アパートが気に入らなければ引っ越してしまうこともできます（但し、各種登録変更、日本への連絡など、それなりの金銭的負担と労力は要します）。

d. その他の意見

その他に、過去の卒業生からは、お子さんがいらっしゃる家庭は洗濯機が共同でないこと、焼魚等を頻繁に行うのであればニオイに留意（アメリカ人は極度に嫌う）、コンドミニアムの壁や天井は意外に薄く、音がよく聞こえるので、できれば最上階が望ましい、いい家を探すには極力早く（6月～7月）来た方がいい、また、Bay Viewを望める家がいい等の意見もありました。そして何よりも、自分の目で確認して選んでほしいとの意見が多くの人から聞かれたことも、付け加えておきます。

e. Class of 2007・2008・2009・2010の家探しパターン

以下に、class of 2007、2008、2009の家探しのパターンをご紹介します。独身か既婚かで大きく分かれるようです。

Class of 2007

(a) 既婚。子供なし： 7月上旬に一旦渡米し、じっくりとまわって決定。現地につてがあったので、車で主要な場所を案内してもらえた。

(b) 既婚。子供なし： 渡米せずに、電話とネットで日本人の多く住むコンプレックスに決定。7月上旬。

(c) 既婚。子供あり： 渡米せずに、電話とネットで上記と同じ場所に決定。7月下旬。

(d) 独身：Summer Work shop前後に歩いて家探し。仮住まいの後、8月中旬入居。学校南側の、バスキッチンをシェアするタイプのアパートに決定。

(e) 独身：Summer Work shopに通いながら家探し。仮住まいの後、8月下旬入居。

(f) 既婚。子供なし、猫一匹： モーテル暮らしを続けながらじっくり

検討。入居は10月。

Class of 2008

(g) 独身：合格者ML(Google Group)を使ってHaas同級生のルームメイトを渡米前に確保。ルームメイトとCraigslistで物件チェックし、渡米後、物件確認し、決定。

(h) 独身：7月末日に渡米し、Craigslistに出ている物件などを見学先にBerkeley入りしていた同級生が見ていた物件で独身向きのものを教えてもらい、見学後、決定。

(i) 独身：日本からi-houseにアプライ。

(j) 既婚。子供なし： 6月末に渡米し、サマースクールに通いながらレンタカーを借りてCraigslistに出ている物件等をいくつか見まわったあげく、オンラインで登録した大学のハウジングオフィスのウェブサイトで見つけた物件（Craigslistに出ていない物件もかなりあった）に決定。

(k) 既婚。子供あり： 渡米せずに、電話とネットで上記と同じ場所に決定。

(l)既婚。子供なし：6月中旬に渡米、サマースクールが始まるまでの2週間で家探し。20軒以上内覧した結果、Emeryvilleにあるコンドミニアムに決定。

(m) 既婚。子供あり： 渡米せずにメールと電話にてUC Villageへの入居を申し込み。当初キャンセル待ちだったが、渡米直前の7月下旬に決定。

Class of 2009

(o) 既婚。子供なし：7月下旬に渡米し、2007の先輩のアパート@North Berkeleyをそのまま引き継ぐ。

(p) 既婚。子供なし：7月下旬に渡米し、Craigslistで幾つかの家を内覧した結果、North Berkeleyに決定。

(q) 既婚、子供あり：6月下旬に渡米し、Albanyのコンドに4ヶ月住んだ後、UC Villageに空きが出たため、引越し。

(r) 既婚、子供なし：6月に渡米し、他校のサマースクールに参加し、8月にBerkeleyへ。Craigslistで物件を探し、Albanyに決定。

(s) 独身、子供なし：7月下旬に渡米し、Craigslistで物件を探し、North Berkeleyに決定。

(t) 既婚。子供なし：6月下旬に渡米し、CraigslistとCal Rentalで幾つかの家を内覧した結果、Berkeley Hillsに決定。

Class of 2010

(u) 既婚。子供1人：7月頭に渡米し、2009の先輩の家を1ヶ月サブレットした上で、8月よりUCVillegeに入居

(v) 既婚。子供2人：7月下旬に渡米。UC Villegeを予約するも、希望の3 bed roomが取れず、8月上旬にNorth Berkeleyに決定。合格と同時に入るGooglegroupで情報が流れてきた物件（たいていの場合、ハース卒業生がリリースする物件）をキャンパス近辺に住むクラスメート（面識なしだが、Googlegroupを通じて知り合い、お願い。この辺りは、クラスメートが非常に協力的！）に下見してもらい、決定。

(w) 既婚。子供1人：8月に渡米し、そのままUCVillegeに入居

(x) 既婚。子供なし：7月下旬に渡米し、2009の先輩の家を1週間サブレットした上で、8月よりUCVillegeに入居

(y) 既婚。子供なし：7月下旬に渡米し、ホテルに滞在後、8月よりUC Villegeに入居

(a)、(d)、(g)、(l)について、どんな様子だったかをレポートします。

(a) 既婚、安全で買い物が容易なところを希望のパターン (class of 2007)

「私は、7月の上旬に一旦渡米して、1週間ほどかけて最終的に住む所を決めました。Berkeleyの隣の市であるAlbanyに住む知り合いがいたので、そこに宿泊し、目ぼしい所には車で送ってもらってという結構贅沢な住宅探しでした。

物件の検索は、その知り合いが持つネットワークから入ってくる情報と、Craigslist上の情報、及び街中を歩いていて気になる物件があればCraigslist等で確認する形で、物件候補を探していきました。（Craigslistを使う為にFedEx(元Kinko's)にいって有料のInternetを使用していたのですが、今から考えれば、Caféには結構Wi-Fi対応しているところがあるので、ノートPCを持ってきて、ただでInternetを使えばよかった。。。家探しの際にはノートPCを持ってくることをお勧めします。）

渡米前に結婚したばっかりの新婚であったことと、妻があまり日本で車を運転したことがなかったということなどから、①雰囲気の

良いところ、②車を使わなくても買い物に困らないところ、③学校まで歩いて通うことが可能なことの3点を評価の軸として探していきました。この軸で探すと、自ずとエリアが決まってきて、North Berkeleyの地域とElmwoodの地域を中心に物件を回りました。(この三つに絞られるまでは、他の希望、例えばLaundry設備が共用でないとかもありましたが、いろいろと見て回るうちに＆妻と話をする中で、捜索3日目ぐらいに漸く軸を固めました。そんなこんなで最終的には12件ぐらいの物件を内覧しました。） North BerkeleyとElmwoodのどちらにするかでも迷いましたが、両地域にある物件を何件か見る中で特にどちらの地域を優先するでもなく、個別の物件通しの比較の中で、絞り込んで行きました。

例えば、現在住んでいるNorth Berkeleyのアパートには二回も見に行きました。というのも初回に行ったときにはその日が曇だった為か、どうも薄暗い印象を持ってしまったのですが、どうしても場所等が気に入っていたの、もう一度晴れの日に中を見せてもらう交渉をし、見に行きました。

最後に、結構住む場所を決める上で大事なのは、住居を管理するオーナー/マネージャーがどんな人かです。押しなべて古い住居が多いなどの理由で、いろいろな場面で、マネージャーにメンテナンスを依頼する場面が発生します。この際に、いい加減なマネージャーだと全然対応してくれずに困ったという話は良く聞く話です。私の場合は、マネージャーが日系人男性と結婚したハワイ生まれの女性でして、気軽に話せることと・日本人に対する理解があったことが、最終決定を後押ししました。1年リースが通常で、途中解約の場合には、次の住居人が決まるまで残りの期間のRentを払わなければいけない等、日本と比べてどちらかというと貸手が有利な市場となっているので、住居のオーナー/マネージャーがどんな人かは、契約前にしっかり見極められることをお勧めいたします。」

(d)　独身、安くて近いところ希望のパターン (class of 2007)

「僕は8月上旬の5日間使いました。まずはじめに、『学生生活！という感じのするところ、そしてなるべくコストは安く』という気持ちがありました。その気持ちを前提にすると、キャンパス徒歩圏内に候補が絞れました。これが結構重要で、その後どうやって探すかに大きく影響します。

宿泊していたのは学内のStern Hall。インターネットが使えるので、Craigslistで学校近辺の物件を探しまくり、プリントアウトしまくり、電話をかけまくりました。最初の3日は携帯がなくて苦労しました(宿の電話番号をオーナーに伝え、いちいち戻って伝言があったか確認する、など）。物件は8月でもそれなりにあります。また、携帯は必需品なので初日に買いに行くべきでしょう（携帯の章参照）。

調査2日目で、『キャンパス南側の学生の雰囲気があるところ』『英語上達、友人を増やす、安く済ませる、せっかくだから学生らしく。。。ということでシェア』という方向性が定まりました。（こうなるとネットでの検索も楽ですし、住みたい場所をブラブラ歩いて“For Rent”看板をみつけてはドンドン電話できました。）とにかく躊躇せずに連絡することが重要だと思います。

オーナーと待ち合わせし、中を見せてもらい、契約内容（Month-by-Monthという月々の契約か、半年または1年の契約か、ユーティリティはどうなっているのか、など）を確認する作業を繰り返すうち、相場や自分の重視した地ポイントなどが明確になりました。また、デジカメで中や周囲の写真を撮っておいたので、部屋に帰ってから比較検討でき便利でした。

情報ソースとしては、自分の足およびCraigslistだけで、有料のサービスなどはほとんど使いませんでした。僕のような低価格物件・歩ける範囲の物件ならばそれで十分でしょう。しかしそれ以外の方はもっと様々なソースを活用した方が良いかもしれません。

ちなみに、何軒も見るうちに自分なりのこだわりの基準や相場観がわかってきます。基準は、例えば『小さくともちゃんと共有スペースが欲しい』『バルコニーのようなものがあるほうが楽しそう』などなど。相場はカレッジアベニュー界隈で$450- $700。

わりとすぐ決めたのは、8月ということで物件はあっても競争が激しくすぐなくなりそうだったからです。これは運と勘ですね。契約書にサインして、2か月分の家賃を払っておしまい。もちろんサインする前にもう一度契約内容を確認しました（特にユーティリティーに含まれるもの）。

現在の家はとても気に入っています。知り合いもできますし、プライバシーを保ちつつもそんなに寂しくもならない環境です。また、家具つき・全ユーティリティーは契約済み（シェアなので）・食器などもすべてもともと揃っているなど、非常にセットアップが楽でした。

独身男性にはお勧めの形態です。」

(g) 独身、同級生とルームシェア(class of 2008)

『私費なのでなるべく家賃を安くすませたい』、『英語を上達させたい』と思っていたため、当初から同級生とルームシェアしたいと考えていました。丁度、合格者用のメーリングリスト（Google Group）の中で「ルームシェアを希望する人」のトピックがあったので、それを活用しました（なお、以下の流れはclass of 2008のMLのものなので、年度によって詳細は異なると思います）。

Class of 2008のMLでは、約30人ほどがルームシェアを希望していました。希望者はそれぞれの希望条件（予算、同性のみのシェアか異性とのシェアもOKか、場所、喫煙の不可、など）を挙げて、取りまとめ役がそれをベースに、参加者をいくつかのグループに分類。6月ごろからその中で個別にメールをやり取りしました。

私の場合は、7月上～中旬ごろ、South Bayに住む中国系アメリカ人の女性が「同性で、3人～4人程度で、キャンパス近くでルームシェアする人」を募集していたため、それに手をあげました。その後シアトル出身のアメリカ人が加わって、最終的に3人でシェアすることに決定。徒歩またはバスで通学できる範囲、ということで、Downtown Berkeley, North Berkeleyなどを中心にCraigslistで物件チェックし、Berkeleyから2時間弱の距離に住んでいる中国系アメリカ人が、実際に現地で物件をチェックしてくれました。

ただし、Craigslistの物件は非常に回転が速く、物件がPostされた翌日に見に行ってももう既にSold outということもしばしばあり、実際に決定したのは8月上旬。私が渡米直後、中国系アメリカ人と一緒に見に行った物件（キャンパスまでバスまたは自転車で15分程度の3LDKアパート）に決定しました。

この方法のメリットとしては、全員がHaasの学生のため生活サイクルが似ている、アメリカ人とのシェアだと契約などの手続きが楽（CATVや電話の開設、クレジットヒストリー、など）などがあると思います。一方でデメリットとしては、グループによってはあまり積極的にイニシアティブを取る人がいなかったため、結局渡米してから自分で部屋を見つけた、というケースもあったそうです。

(I) やたらと細かい希望が多いパターン(class of 2008)

私は諸々の事情で細かい希望が沢山あったので、長期戦になることを覚悟して6月中旬に渡米、サマースクールが始まるまでの2週間で家探しをしました（既婚、子供なし）。

具体的には、①室内で犬が飼える、②眺めがいい、③SUV可の駐車場、④自室内に洗濯機、⑤予算1,500～1,800ドルの5つが希望だったため非常に時間がかかりましたが、20軒以上を内見した結果、Emeryvilleにあるコンドミニアム（日本で言う分譲マンション）を、オーナーとの直接契約で借りました。

それぞれの条件については、①はほとんど皆無（20軒中1軒だけ・・・）、②はエリア的にBerkeley Hills～Kensingtonが狙い目なるも、大半が高級一戸建てなので予算オーバー、③はほとんどの物件がOKですが、駅前の物件は要注意、④も思っていた以上に少なかったです。一方、⑤については、大半の物件がこの範囲に入っていました。なお、②については、Albany Hills（ベイサイドコモンズの裏山）が穴場なので、″崖View″にコダワリのある方は、Jackson Streetを中心に探すのも手です。

情報ソースとしては、①Downtown Berkeley駅前の不動産屋、②UC Berkeleyの不動産斡旋所、③Craigslistの3つを使いましたが、今住んでいる物件はCraigslistで見つけました。①と②は重複する内容も多い上、いい物件には沢山の学生が集中しがちで、内見直後に″即断″せざるを得ない上、申込書の審査にも時間がかかるので、正直いって時間の無駄でした。やはり、③のCraigslistをマメにチェックし、いい物件を見つけたらオーナーに直接連絡を取ってネゴるのが、物件的にも家賃的にも最善だと思います。そのためにも、到着直後にまず携帯電話を購入することを強くオススメしますし、無線LAN付のラップトップは不可欠です。駅前のShattuck沿いにあるCingular Wirelessでは、GoPhoneという毎月一定額を支払うタイプの携帯電話を、デポジットなしに購入することが出来ます（39ドル以上のプランを選ぶと、土日は1000分までかけ放題）。また、駅前には無料で無線LANを使えるカフェが沢山あります。

また、実際に物件を押さえる際には、デポジットを求められるケースがほとんどなので、チェック（小切手）が必要になります。駅前のBank of Americaでは、パスポートと現地の住所（友人宅などで代用可能）があれば口座が作れるので、携帯電話同様早めに開設するといいと思います。

なお、家探しをしている間は、Berkeley Hillsの友人宅に転がり込んでお金を浮かしました。なまじ最初に高級住宅街を経験したがために、その後の家探しにおける条件が厳しくなり過ぎた感は否めませんが、アメリカでは家で過ごす時間が日本にいるときよりも断然長くなるので、こだわりたいポイントには妥協せず、時間をか

けて探すことをお勧めします。

4. 電話・電気・テレビ・新聞など

1)電気、ガス、水道

実際の入居前に、**電気、ガスはPG＆E(1-800-743-5000)、水道はEBUID (510-451-3440)**に電話して申し込みます。保証金を取られる場合もあります（PG＆Eは100ドルくらい）が、支払いの時に減算処理されます。申込みは家主やレンタルオフィスがやってくれる場合もあるので、支払い負担も含めきちんと確認した上で、申し込み連絡先一覧をもらうと良いでしょう。また、申し込み時にはSocial Security Numberがないと営業所に出向くように求められる場合もあります。

2)電話、郵便、電報

a. 電話

自分でAT&T(**1－800－310－2355)（日本語サービス 1-800-573-7573)**に連絡してナンバーをもらえば、大体翌日につながります。（直接オフィスに出向いても、結局オフィス内の電話から担当部署に電話させられます。）最初の申込みに限り保証金約50ドルと身分証明書を持参するよう言われることもあります。申し込みの際、キャッチフォン（Call Waitingといいます）の有無、電話帳への掲載の有無、長距離電話会社、国際電話会社等のサービスの選択について聞かれますので準備しておいてください。インターネット接続（DSLなど）の契約も同時にできます（後述）。なお、まだサービスの内容が良くわからない、あるいはどれを選べばよいか良くわからない場合には、あとからサービスを追加することもできます。ちなみに、アメリカでは NTTの様に作業員が来訪して開通試験までやってはくれません。特に一戸建ての場合、宅内へ複数回線が引き込まれているのが普通なので、どの回線が開通したのかチェックして自ら宅内配線を行う必要がある場合もあります。

長距離電話及び国際電話は、日本のようにその都度電話会社を選ぶのでなく、事前登録しておくのが一般的です。AT&Tに申し込む時に、長距離電話や国際電話も一緒に申し込むこともできます。その他の電話会社としてはAT＆T、MCI、SPRINTなどがあります。また、Cyberlinkという、1-800ナンバーを利用する国際通話サービス（申し込みは代理店のAAWorldlink(1-800-3470222)まで）や、Qwest Communications（申し込みは代理店AirNex Communications（1-800-801-5780）などの中小の会社でかなりリーズナブルな価格を出しているところもあります。最近では1010345等のいわゆるテンテン事業者が最も格安なレートを提供しています（この場合、逆に事前登録はなく、その都度1010からの全番号をダイヤルする手間が必要。）また、長距離電話を申し込まなくてもNo Connection FeeのPhone Cardを購入することにより、市内電話を経由して国際電話を破格の値段で(日本の固定電話へは$60のPhone Card一枚で10時間以上分の通話可能)かけることができます。

留守番電話はあった方がよいでしょう。また、日本から持参した電話、FAXはこちらでも使えます。市内通話は、特に家でE-Mailを使用する場合はflat rate(月額約12ドルで市内無制限。学生割引でさらに安くなる) にすることをおすすめします。公衆電話は、ローカルコール（同じ市外局番）であれば35ｾﾝﾄを入れてダイヤルするとつながります。市外通話の場合には35ｾﾝﾄを入れてダイヤルするといれるべき料金を言われるので、その料金を入れるとつながります。なお、市外通話の場合には、市外局番の前に「1」をダイヤルしてください。国際通話の場合には、国番号の前に「011」をダイヤルしてください。

アメリカでは日本のようなテレフォン・カードは使われておらず、長距離電話を公衆電話やホテルからかける場合には、クレジット・カードかCalling Cardを用いることが一般的です。Calling Cardは各電話会社から発行されており、たとえば電話を申し込む際にAT&T発行のCardが必要かどうか聞いてきますので、その際に申し込むことができます。支払いは後日自分の電話料金に含まれて請求されます。また、日本でAT＆Tのカードを申し込むこともできます。これは料金は事前に登録した日本の銀行口座から引き落とされ、特に自分の電話ができるまでの最初のしばらくの間、大変便利です。AT&T Japan (0120-4-10288)に申し込んで数週間で届きます。

電話帳はアルファベット順のWhite Pageと職業別のYellow Pageがあります。White Pageには、電話局のサービス等が掲載されていますので、不明な場合には、そちらを参照されることをおすすめします。また、Yellow Pageには、その地域の様々な情報が載っており、こちらでは、店やレストラン探しにはこれを利用することが一般的です。 電話番号案内は、同じ市外局番内では、411、市外局

番が異なる場合は、1－（xxx）－555－1212です。日本と同様有料です。

b. 自宅でのインターネット接続

インターネット環境は一日でも早く整えたいところです。生活セットアップの際には色々と情報収集が必要であり、ネットやメールが使えないとけっこう不便だったりします。

AT&Tを利用する場合、電話はすぐに開通しますが、ADSLは1週間程度かかります。住所さえ決まっていれば日本からでも申し込めると思いますので、プロバイダーにこだわりがないようなら、渡米前に手続きを済ませておくと良いでしょう。

インターネットプロバイダーとして一般的なのは、

①AT&T Yahoo! DSL($20くらい。キャンペーン中はもっと安い)

②CATV（Comcast）のインターネットサービス（$30くらい。なおテレビはプランによって$15 - $100）

といった方法です。

AT&Tへの加入は、電話加入の際に一度に済ませることもできます（後で追加することももちろん可能）。

学校のダイアルアップ使い放題契約というのは、UC Berkeleyが提供しているSHIPという有料プロバイダーサービスです。時間無制限利用ができて、月額10ドルです。通信状況もほぼ問題はありません。その他、AT&T、Sprint、MCI等の長距離電話会社、AT&T、AOL等も、プロバイダー事業をやっています。より高速の伝送スピードがほしい場合は、AT&Tの提供するDSLサービス、ケーブルサービスも選択肢の一つでしょう。

ただし、インターネット開通までには1週間ぐらいの時間がかかることが多いので、もし渡米前に住所等が決まっている場合などには、日本から申し込むことをお勧めします。また開通するまでは、Kinkos等で有料のサービスもありますが市内にある各種喫茶店にてFreeのInternetを利用することをお勧めします。学校でのインターネット使用については、この章の9. コンピューターの欄を参照ください。

c. 携帯電話

Verizon、AT&T、T-Mobile、SPRINTなどが携帯電話サービスを行っています。（電波の送受信の安定度もおおよそこの順序通り。）キャンパス内で使用するにはVerizonかAT&Tがおすすめです。各社とも様々な料金プランを揃えています。一例を挙げると、$39／月で、週末および平日午後7時～午前7時までの1000分間と、平日昼間2時間の利用が可能なプランがあります。

携帯電話の加入申し込みについては、AT&TやVerizonなどの代理店、あるいはCircuitcity や Goodguys 、Best Buyなどの電気製品ショップで本体とサービス契約を同時に行う方法と、本体のみを CostCo などのスーパーマーケットで購入しサービス契約を別途自分で キャリアに行う方法の2つがあります。

後者の場合は保証金なしでサービス契約ができますが、前者の場合は保証金が必要になることがあります。保証金が＄800だったケースもあります。要注意。契約の際には、ソーシャルセキュリティー番号が原則必要です。但しTelegraphとChanningの交差点近くにあるVerizon（Vgeneration）ではソーシャルセキュリティー番号なしで契約できます。但し、保証金として一回線につき$400支払う必要があります。保証金の返還は契約の1年後になります。

また、Telegraph avenueとDurant Avenueの角の近くにあるVerizonも同じくSSNなしの400ドルデポジットで契約可能です。（保証金の金額は店によって異なり、＄800だったケースもあります。要注意）

また、最近はiPhoneあるいはBlackberryを持っているクラスメートも増えてきています。iPhoneやBlackberryは、月々の使用料は割高になりますが、大学が発行・指定するメールやスケジュールとリアルタイムで完全に同期するので、特にチームワークをする際に便利なことがあります(スタディグループや、チームによっては、リアルタイムでメールを確認していることを前提に、話が進んでいくこともあるため。また、iPhone, Blackberry以外にも、同等機能を持った携帯電話は多数あります。例えばWindows Mobile (WM)搭載のPDA携帯やNokia製の高機能端末などがそれにあたります。メリットとしては、通常のデータ使い放題のプランに加入できることです。(iPhoneやBlackberryはデータ料金が若干高めに設定されている。)

WMはそのままActive Sync機能がありますが、Nokia製端末にもMail for Exchangeという無料アプリをインストールし設定すれば、学校のExchangeサーバとActiveSync機能でメール、カレンダー等をリアルタイムで同期できます。

なお、iPhoneは日本語フォント対応しているものの、Blackberryでは文字化けするケースもありますし、WM端末も無料・有料の日本語化対応が可能です。Nokia製の端末の場合、これまたシンビアンの無料ソフトとフォントをダウンロードすれば、メール、並びにインタネットのブラウジングは日本語で問題なくできます。（但し、日本語での入力は不可。）また、在校生では誰も試してはいないものの、T-MobileからGoogleのAndroid搭載のG-phone（台湾のHTC製）もあるので、そちらを試されるのも良いかと思います。一方で、せっかく学生になったのだから、携帯でメールに追われまくりたくない、という方は、もちろんチームにその旨を伝えて、自分の好きなスタイルを貫くことは可能です。）

iPhoneを使う場合は、2009年2月時点ではキャリアがAT&Tに限られてしまう上、2年契約が基本になります。また、下記のAT&TストアにUC Berkeleyの学生であることを証明するものを持参して契約した場合、学生割引(実質10-15%程度)を受けられます。ただし、このストアのオペレーションは非常に悪く、ものすごく時間がかかったりミスが多発したりするので、契約までには忍耐が必要です。

2180 Shattuck Ave

Berkeley, CA 94704, United States

(510) 486-0668

独身の方などセットアップ終了後はあまり電話を使わないのであればプリペイドの携帯電話（AT&TのGo Phone）もお勧めです。デポジットが不要ですぐに購入することができます。また通話料100$をチャージすれば電話番号は1年間有効になります。

家探しにも携帯電話は必要なので、渡米したらすぐに携帯電話を取得することをお勧めします。また、キャリアが同じだと電話料が無料になるので、日本人同士でそろえたほうが良いと思います。

d. 郵便

郵便システムは日本とほぼ同じです。もしアパート等にお住まいで各自のメイルボックスがない場合は、郵便局で P.O.BOX（日本で言う私書箱）を借りた方がよいでしょう。郵便物は全てその中に入れられますので適宜郵便局に行ってチェックする必要はありますが、紛失をさけることはできます。ちなみに料金は 17.5ドル/半年、35ドル/一年となっています。また、留守の時などに誰か代わりに郵便物を受け取ってくれる人（たとえばアパートの管理人等）がいない場合、小包などメイルボックスの下などに放置していく配達人が時たまいて、紛失してしまうこともないともいえません（通常は、黄色の配達通知がメイルボックスに入れられ、それを郵便局に持っていくと引き替えに荷物をくれます）。大切な荷物の場合、あらかじめ局留めで送ると良いでしょう。夏や冬の休みで長く家を留守にする場合、あらかじめ郵便局に届け（黄色の用紙：Authorization to Hold Mail）を出しておけば、郵便物を最長1ヶ月間全て局留めにしておいてくれます。メイルボックスがあふれ、郵便物が紛失したり、留守であることが外から容易にわかる事態をさけることができます。

郵便料金は、米国国内は葉書26セント、封筒41セント、日本宛の場合は葉書、封筒ともに90セントです。公共料金の小切手支払い等をはじめ、封筒で郵便を出すことが多いです。

切手は郵便局以外にもSafeway等のスーパーのレジでも売ってくれます。

FEDEXやUPSなどを利用して荷物を発送する場合には、町中にある取次店へ荷物を持ち込むことが必要です。

e. 電報

日本語の電報は、KDDIアメリカ(1-800-788-3367)、または、でんぽうアメリカ(1-800-693-3676)で受け付けてくれます。また、インターネット経由で http://www.kddia.com/jpn/index.htmlもしくはwww.ntt-east.co.jp/dmail/（NTT東日本）から申し込むことも出来ます。なお、到着までに72時間は見ておいた方がよいということです。

このNTT、KDDI以外にも、ネット上で電報を送信できるウェブサイトが多数ありますので、御確認ください。

3)テレビ・ラジオ・新聞

a. テレビ

アメリカでは、日本以上にケーブルテレビが発達しており、有名なCNN、MTVやスポーツ（ESPN）、映画専用局（HBO）等見ることができます。おしなべて画質もよく、利用者の満足度は高いようです。また一部の地域では電波が届きにくく、ケーブルが必須になっているようです。

大体、工事費に20ドルから30ドルかかります。料金体系は、ベーシック・サービス（KPIX（CBS系）などのネットワーク・テレビなど40局くらい）、セレクト・サービス（CNNなど15局くらい）、プレミアム・サービス（HBO、SHOWTIME、DISNEYなどの映画専門チャンネル）の3段階になっています。ベーシック＋セレクト・サービスで30から50ドル、プレミアム・サービスは1局ごとに料金がかかるようになっています。また、ペーパー・ビューと呼ばれる映画の放送があり、見たい時間と映画を選んで、毎回5ドルくらいでみることができます。ただし、これにはケーブル会社が貸してくれるケーブル・コンバータが必要です。アパートによっては家賃にケーブルの費用が組み込まれているところもあるようです。

また、テレキャプションという字幕放送システムもあり、システムがあらかじめテレビに組み込まれている場合もあります。そうでない場合はシステムを別に購入する必要があります。なお、サンフランシスコ KTSF(CH26）では、11時半以降に日本語放送を毎日やっていて,ニュース番組が視聴できますし、土、日にはNHK大河ドラマ、連続テレビ小説等の番組をやっています。

ATT Cable Services 510-262-1800

COMCAST http://www.comcast.com/

b. ラジオ

AM, FMとも多数の放送局があります。きっと自分の嗜好にあった局がみつけられるでしょう。日本語ラジオはSFラジオ毎日（AM 1450）が、バラエティーに富んだ番組を月曜から金曜までの午後6時から一時間放送しています。

c. 新聞 / 書籍 / 雑誌

Wall Street Journal や Financial Times は、教授ルートの購読がもっとも安い（MBAワークショップ、あるいは秋学期の授業の最初に購読の申し込みを一括して行うこともあります)。その他、地方紙で San Francisco Chronicle（朝刊)(1-800-CHRONICLE、28ﾄﾞﾙ/8週), San Francisco Examiner（夕刊), Oakland Tribune(1-800-261-3325), Berkeley Voice（週刊), 地元紙ではありませんが、New York Times(1-800-6312500)は宅配可能です。San Francisco Chronicle, San Francisco Examiner 両紙共同発行の日曜版（Databook）は、数センチの厚さの中に、テレビ、映画等の案内がぎっしりと詰まっていて大変便利です。日曜版だけの購読も可能です（16ドル/8週)。なお、セールスマンと交渉して値引いてもらえることもあるそうです。

日本の新聞は、読売、朝日、日経（97ドル／月）の各国際衛星版があります。それぞれ、同日宅配サービス、セカンド・メール・サービス等があり、値段も異なります。連絡先は下記をご参照ください。また、ローカル紙の北米毎日新聞((415)567-7323)、日米タイムズ((415)921-6820)、週刊の Nikkei Weeklyというのもあります。

朝日新聞衛星版

1-800-6927244, 415-588-9002OCSアメリカ

日本経済新聞衛星版 415-588-9002 OCSアメリカ

読売新聞衛星版 415-570-2208

雑誌についても購読制度が整っていて、The Economist、Time、Business Week などが5割引で購読できます。バークレー生協で本を買うと添付されてくるパンフレットや新聞紙上に掲載されている連絡先にコンタクトをとり、小切手を送付すればOKです。また、これらも教授ルートでの購読を受け付けることがあります。インターネットで購読サービスを提供している業者も多く、3ヶ月程度の無料試用期間を設定しているところもあります。

日経ビジネスは年間300ドルで、直送サービスで購読可能になりました（1-800-964-5534）。サンフランシスコのジャパンタウンおよびサンノゼのヤオハン内の紀伊国屋では、日本語の雑誌、書籍を購入できます。尚、大学内の California Hall にあるアジア研究図書館で、やや古いが、日経、朝日、読売の各新聞と週刊朝日、サンデー毎日、中央公論、諸君等の雑誌、各種書籍を閲覧することができます。

また、インターネットを通じて、日本の書籍・雑誌を購入することも

できます。www.fujisan.comをチェックしてみて下さい。これは、バークレーの卒業生が中心になって始めたサービスで、日本の価格の1.2倍程度と比較的低価格です。（その他に、一回＄5程度の送料がかかります。）日本の家族に頼んで送ってもらうよりは割安だと思います。雑誌の場合、注文から配達まで約1週間かかるようです。

d. その他の情報源

新聞以外にも、日常の様々な情報（買い物、映画、イベント等）は、スーパーの前や街角にある Free の情報誌から得ることができます。主なものをあげると、Express、Daily Californian（買い物、イベント情報のほか、UCB関係のニュースも豊富）、Parents（子どものいる家庭用)があります。先にも書きましたが、イエローページは良く利用されています。日系電話帳も複数発行されていて、日系企業、医者等の情報から自動車免許試験の問題集、領事館関係の手続きにいたるまで収録されています。これは紀伊国屋で売られています。Moving Sale 情報は、JINA (www.jinaonline.org)、学校のイベントは E-Mail。そして何より日本人社会のネットワークが強力との声がありました。

4)ゴミ

ゴミ処理代は月19ドルです（32ガロン。4ヶ月分を前払い）。アパートなどは家賃に含まれることが多いようです。

5. 銀行口座・クレジットカード・Social Security等

1）銀行

こちらでは基本的に多額の現金を持ち歩く習慣がなく、また家賃や電気代等公共料金を小切手で支払うことが多いので、到着後できるだけ早く銀行口座を開き、小切手を作成しましょう。大学及び家の近くに支店の多い Bank of America か Wells Fargo Bank に口座をつくる人が多いようです。日本同様に、他行ATM利用時には＄1．5ほどの手数料がかかります。Wells Fargo は地元スーパー内に多数の支店／ATMをもっていますし、ハースの中には Bank of AmericaのATMが設置されています。

a. 口座開設

手続きの際、身分証明書（パスポート）と最初の預入金最低100ドルを持参してください。預金種類は Savings Account（普通預金)、Checking Account（当座預金)、Time Deposit（定期預金）があります。小切手を使用する都合上、基本はChecking Accountになります。Savings Account、Time Deposit等には様々な種類がありますので、よく比較検討して作成しましょう。また、夫婦の名義で口座を作ることのできるDual Accountというのもあり、ご夫婦どちらのサインでも小切手を切ることができます。ご夫婦でいらっしゃる方にはこちらが便利かと思います。その場合、口座をつくる際には、夫婦そろって銀行に行く必要あり。口座を作る際に銀行にお尋ねください。口座開設から1、2週間で名前と住所の印刷された小切手帳が郵送されてきます。口座開設時に名前と住所の入ってない小切手帳をくれるところもあります。（Bank of America, Wells Fargoではもらえました。）両銀行ともSSNがなくても、住所が仮住所でも口座開設できますので、到着後すぐに口座を開けます。ちなみにこちらの銀行は土曜日の午前中もやってます。便利。

b. 小切手（チェック），ATMカード

銀行自動引き落としが一般的でなく、多くの場合家賃や公共料金、クレジットカード利用額などを小切手郵送によって決済することになりますので、小切手は必須です。ただインターネット経由でクレジットカード決済が可能となっている会社（Comcast, AT&T）もかなり増えてきました。また、お店などでの支払いにも利用できますが、チェックを切る際、IDが要求されます。基本的にはカリフォルニアの免許証になりますので早めに免許証をとることをぜひおすすめします。車を運転なさらない方は、DMVでIDを作ってくれますので、これを取得するとよいでしょう。また、カリフォルニア州外ではチェックが通用しないケースが多いので、旅行などにはトラベラーズチェック、あるいはクレジットカードを用意してください。銀行口座を開設するとATMカードがもらえます。スーパーマーケット等ではATMカードでも決済が可能です。（日本のデビットカードのような機能。checking accountから引き落とされます。）身分証明は必要ありませんので小切手を切るより簡易です。ATMカードで決済するときにはcash backを頼むこともできます。（$25の買い物をして$50cash backをレジで頼むと$50の現金を渡してくれます。checking accountからは$75が引き落とされます。）手数料は無料です。ATM代わりにもなるわけです。

2)クレジットカード

クレジットカードはレンタカーを借りる場合やホテルの予約の際必要になることが多く、現金を持ち歩かないアメリカでは必需品といえます。VISA、MASTERは大抵の店で使えますが、AMEXは若干大衆的な店では弱いようです。日本で使用しているカードを日本の銀行での引き落としのまま使用することもできますが、残高管理がしにくいことと為替手数料（1.5%程度)・為替リスクの観点からアメリカの銀行発行のクレジットカードを作ることが賢明という意見もあります。(これは預金を日米どちらの銀行・通貨で管理するかによっても考え方が異なるかもしれません。)AMEXは電話一本で切り替えができます。また、JALファミリークラブが提供するプレミオマスターカードがおすすめだとの声もあります。こちらでクレジットカードを作ろうとすると審査で手間取ったり、限度額がかなり低かったり問題もあるようです。詳しくはIII-5.クレジットカードの章をご参照ください。

3)Social Security Number (社会保障番号)

2008年現在、F1ビザ保持者は、パートタイムを含め仕事につかない限り、SSNは取得できません。それでも自動車免許取得などほとんどのことには支障がないのでご安心を。

＜重要＞

但し、SSNに関する政策が変更される可能性があるので、不明な点等は必ず大学のBerkeley International Office(I-house内 http://internationaloffice.berkeley.edu/) に問い合わせるのがよいでしょう。

＜配偶者のSSN＞

奥様がF2ビザで同行されている場合、SSNは取得できません。ただし、DMVでは問題なく免許証を取得できます。

＜J1ビザ＞

J1ビザ保持者はソーシャルセキュリティ番号を取得できますが、IAP-66にStudentの資格であると記載されている場合、窓口の担当者の判断で申請が拒絶される場合があります。こういう場合は、International Officeに事情を説明して、キャンパス内でのパートタイムの労働を許可する旨のレターを書いてもらい、再度申請することになります。たまにあるトラブルなのでInternational Officeはすぐにレターを書いてくれます。

J-1ビザ保持者の配偶者はJ-2ビザになります。J-2ビザ保持者は、移民局に申請して労働許可を得ればソーシャルセキュリティ番号を取得することができます。International Officeによれば、J-2ビザ保持者に労働許可が出なかったことはない、とのことですが、申請から発行まで4ヶ月以上は覚悟する必要があります。通常1年間の労働許可が出ます。収入額や勤務形態等への制限はありませんし、ビザが有効な期間であれば更新可能です。また、サンフランシスコの移民局は常に混雑しており、申請者への対応はかなりいいかげんです。申請書類はかならずコピーをとり手元に持っていたほうがよいでしょう。

Social Security Administration Office 2045 Allston Ave., Berkeley (9-4:30, Mon-Fri)

1-800-772-1213

Consulate General of Japan in San Francisco

50 Fremont Street, Suite 2300, San Francisco, CA 94105

TEL (415) 777-3533　FAX (415) 974-3660

Immigration & Naturalization

630 Sansome Street, San Francisco

TEL (415) 705-44115.

6. 家財道具の調達

1)家具

家財道具一般の中古品の購入·売却に便利なインターネットサイトに,

・世界のご近所さんを探せ！(http://world.gokinjo.net/)

・JINA (http://www.jinaonline.org/home.php?city=SF&)

があります。これらのサイトは, 海外在住日本人のネットワークです。オンライン上で, ガレージセールの情報が掲載されており, うまく活用すれば良質の品を格安価格で購入することも可能です。また、不要品の売却にも活用可能です。South Bay方面に住む駐在員による出品が多く、調達に手間がかかるのですが、一方で、駐在員の所有している物品なため、安価で質のよいものが手に入る可能性が高いです。また、日本人での間でのやり取りなので, 言葉や文化の差による誤解やトラブルを心配しなくてもいいのも利点です。

Craigs List（http://www.craigslist.org/）にも、中古品の購入･売却情報があります。（この他にもCraigs Listにはベイエリアの住人に役立つ情報がたくさん掲載されています。）

また、車で10分ほどのエメリービルにはIKEAがあり、新2年生の多くがそこで新しい家具をそろえました。

家財道具一般の購入に際して言えることですが，こちらでは日本と違い，購入後一定期間内であれば、たとえ開封･使用後であっても，領収書を持参すれば満額にて返品可能です。返品の理由も，色が部屋と合わなかったとか、使ってみたら予想していた性能と違ったとか、何でもいいようです。こちらでは，殆どの量販店では，返品専門コーナーが設けられています。気に入らなければ，どしどし返品し，納得のいく商品を購入しましょう。

a. レンタル店

BROOK

1531 Locust St., Walnut Creek 510-947-1005

そろえてある家具の程度は良い方ですし、申し込む際に結構値切れます。（セットが揃ってないとか、欲しい種類じゃないとかいって値切りまくりましょう。）ただし、ここに限ったことではないのかもしれませんが、手付金の支払方法と搬入の際には注意をする必要があります。

（支払方法）

手付金の支払方法には現金で支払う方法、パーソナル･チェックを渡す方法、クレジットカードによる支払いの3通りがありますが、クレジットカードの方は以前に「Brookのある社員が、勝手に大量のお金を人の口座から引き落としたうえで会社を辞めて姿をくらます。」といったトラブルも起きているので、お奨めしません。

（搬入時の注意　～過去の卒業生のコメントから～）

搬入が行われる前に出来れば、部屋の写真（特に壁、角等）を撮っておきましょう。搬入時に壁、角に家具をぶつけて傷をつけることが多々あるため、その傷がもとからあったものか、搬入時についたものかを証明するためにあると便利です。（また帰国するときにマネージャーとの交渉にも使えますし。日本でも使いますよね。）その上で、搬入時には必ず立ち会い、約束した家具が良い状態で搬入されたかを入念にチェックする必要があります。壁に傷がつくということは当然、家具自身にも傷がつくわけですし、電気スタンド等が約束の数無いことは珍しくありません。下手をすると返却時にその傷を弁償させられるかもしれませんし、数が足りないと初めから無くても紛失したとして弁償させられるかもしれません。事実、私は初めに届けられたスタンドの数が足りなかったので、後からもう一つ持ってきたのですが、その後の請求書には何とスタンドが一つ多く請求されていたのです。（これは幸い私が搬入した人間からスタンドが足りなかった旨を書いたサイン入りの手紙をとっていたので、直ぐに解決しましたが…）

b. 販売店

IKEA

10AM - 9PM Daily

4400 Shellmound Street, Emeryville, CA 94608

(510) 420-4532

自分で家具を組み立てることが苦にならない人は、低価格で比較的デザインのよい家具をEmeryvilleのIKEAで購入することができます。最近の留学生のほとんどが、多くの家具･食器類をここで揃えています。（もちろん、IKEAの家具が好みで無ければ、使わなくても生活立ち上げに全く支障はありません。）

お皿などの台所用品からベッドまでほとんどなんでも揃いますが、最大の問題は夏場の週末は絶望的に混雑することです。平日の午前中に行ってすばやく買い物を済ませる必要があります。また、ホームデリバリーを頼む場合は1回につき50ドル請求されますので、できるだけまとめて購入したほういいでしょう。なお木造家具類は集成材でできているため大きなものは非常に重たいです。また、購入品に不具合（自分で組み立て失敗し傷をつけてしまった場合も大体何事もなく）があった場合は、購入後一ヶ月以内は無料で返品できますので、レシートはしっかり取っておきましょう（これはIKEAに限りませんが）。

但し、サービスレベルはやはり米国のIKEAだけあって、決して良くはありません。特に、購入品に不具合があった場合でも、どちらがお客か分からない対応をコールセンターの人間がすることが多々あり、返品手続きにも異様に時間がかかり、且つ基本的には

クレジット戻し（しかも、寝具なら寝具というかたちでカテゴリ縛りとなる為、別の商品購入には使えない）となるので、同じ商品を改めて買おうとした場合でも、当該製品がない場合、追加での出費が必要になる、或いは未使用クレジットが残ってしまう（上述の通り、同じカテゴリ内であれば、別のものを購入することは可能ですが）などという理不尽なことも起こりえますので、ご注意を。

Scandinavian Design

2101 Shattuck Ave., Berkeley, 510-848-8250 北欧ものを中心に高品質でセンスの良い家具が比較的低価格でそろいます。IKEAと比べると、組立の労力・品質の差は明らかでした。倉庫はUC Villageのすぐ近くにあります。

Home Furniture Outlet

1099 Ashby, Berkeley, 510-486-8600　組立式のみ

Kiefers

10866 San Pablo Ave., El Cerrito, 510-529-2360

品揃え豊富、比較的値段は張るが変わった品が手に入る。

Tradeway

10086 San Pablo Ave., El Cerrito, 510-527-1511

品揃え豊富、格安

Wooden Duck

2919 7th St., Berkeley, 510-848-3575

I-80 Ashby Exit からすぐ。リサイクル家具（中古ではなく、廃材をつなぎあわせて作った家具）を専門に売っているお店です。手作りならではのオリジナリティとあたたかみにあふれ、質の高さの割に、値段はまあまあです（決して安いわけではないですが）。

Sofa Warehouse(現在閉鎖中?)

1901 San Pablo Ave. Berkeley, 510-845-2128

品数はそれほど多くはありませんが、ダイニングやベッドがとにかく安い。というか交渉で結構値引きしてくれます。値段を聞いたら、しばらく渋い顔をしていましょう、すると向こうから「予算は？」と聞いてくるはず、そこからは頑張って下さい。

Mattress Discounters

2389 Shattuck Ave, Berkeley, CA 94704, (510) 665-4265他

http://www.mattressdiscounters.com/indexB.asp

SimonsとSealyのベッドを、他店の半額程度で提供かつ即日-3日以内程度で配送。チェーン店のためBerkeley近辺に複数あるが、大学近くの上記の店でBerkeleyの学生であることを伝えると、配送料相当の金額を値引きしてくれる。

この他、Best, Target （組立家具、電気スタンドとかは図抜けて安い）といったディスカウントストア、University Ave.にあるFuton Shopでも売っていますが、配達してくれないところが多いので購入する前に確認する必要があります。また、組立式家具に備え、簡単な大工セットを購入すると便利です。勉強机、椅子等は、配達に制限がありますが、以下の事務用品のディスカウントストアがお薦めです。

Office Depot

Gilman と San Pablo の角を海側に入って右側

たいていの文房具などはこちらで手に入りますし、UC Village在住者にとっては、すぐ出掛けられるとこです。

Office Max

3839 Emery St., Emeryville, 652-1140

これらの店は日本と比較すると素晴らしい机が恐ろしく安く買えます。しかもある一定金額を超えるとただで部屋まで運んでくれます（通販のみ無料配達の場合もあるが、店頭で品を選んだあと、店頭カウンターから通販扱いでの購入を行うことができる）。しかし、安いから、運んでくれるからといって調子に乗って大きい机を買うと後が大変です。何と言ってもこれはほとんど全て組立です。もちろんお金を50～100ドル払えば組み立ててくれることもあるのですが、通常自分でやる必要があります。大型デスクの組立は、労力と時間がかかります（男性でも一人で行うのは無理なくらい）ので、要注意です。

2）電化製品

アメリカの電圧は110－120Vと日本（100V）とあまり変わらないため、たいていの電化製品はそのまま使えます。ただし、やはり電圧が違うことから痛みも早いことは確かかのようですし、CDプレーヤー等の回転ものは変圧器を使用したほうがよいでしょう。ようするに、日本から持ち込む家電製品が多ければやはり変圧器が必要になります。変圧器は、こちらに到着してから帰国する日本人に譲ってもらうのがもっとも安価（YYPlanetのムービングセールなどに多数広告あり）です。購入場所としては、ジャパンタウン近辺の日系電気屋さんがあります。さまざまな容量のものを日本では秋葉原等で購入できますが（購入時には、使用する電化製品の定格電圧・電流を確認のこと）、かなり高価(1万～3万円)です。こちらでは日用の家電製品は新品でもターゲットなどの量販店でかなり安く買えます(ドライヤー、アイロンともに＄10台)ので、見た目や機能に目をつぶれば日本から家電製品と変圧器を持ち込むより安く上がるケースもあります。

その他、日本から持ち込むものとしては、ホットプレート、ラジカセ、ミキサー、炊飯器、掃除機(アメリカのは、音ばかりで全然だめ！)、ワープロ、クラビノーバ等があるようです。これらもたいていのもの（炊飯器も）は安く手に入ります。（逆に言えばこれらの電気製品は余程程度の悪いもの以外は売るのには比較的苦労しないですむという事です。）また、魚好きなひとは魚焼きグリルを持ってくると良いかもしれません。こちらでは殆ど売っていないのと、一般的にアパートに備え付けの換気扇は殆ど役に立たないので、魚を焼くとしばらく部屋に臭いが染み付いてしまう場合があります。、

もちろん、これらも前述の日本人ネットワーク情報などを通じて帰国する日本人から買う方法がもっとも割安だと思いますが、これらの商品の人気は非常に高く情報を入手したら直ぐにTELして仮押さえなりなんなりの手を打つ必要があります。

BEST BUY （www.bestbuy.com）

3700 Mandela Pkwy

Oakland, CA 94608

Phone: 510-420-0323

Hours: Mon-Sat 10:00am-9:00pm 、Sun 11:00am-6:00pm

店員の対応が他店量販店と違い懇切丁寧。

Good Guys

5800 Christie Ave., Emeryville

Circuit City 5795 Christie Ave., Emeryville, （倒産後、会社清算が決定し、倒産セール実施中）

510-655-2200

この他、Best Buy, Target, Costco 等ディスカウントストアも検討の価値あり。

3)その他

Sur La Table （www.surlatable.com）

Address: 1806 Fourth Street

Berkeley, CA 94710

Phone: 510-849-2252

Fax: 510-849-1980

Store Hours: Mon-Sat 9am-7pm、Sun 9:30am-6pm

調理道具専門店。配偶者同伴で留学され，自宅にて調理するための調理器具を此方で購入したい方には重宝できるお店。値段的には，決して安くはないが，品揃えは豊富。存分に調理の腕を振るいたい方にはお薦め。定期的に料理界の著名人を呼んでお料理教室も開催されている。

Crate & Barrel Outlet (*www.crateandbarrel.com)*

こちらもFourth Streetにある雑貨屋。SFのユニオンスクエアにもあるC&Bのアウトレットです。要はフランフラン？

CB2 (*www.cb2.com)*

Crate & Barrel 系列の別コンセプト店。家具、食器など。

Bed Bath & Beyond （www.bedbathandbeyond.com）

6000 El Cerrito Plaza

El Cerrito, CA 94530

Tel: (510) 559-3763

Store Hours: Monday-Friday: 9:00am - 9:00pm, Saturday: 9:00am - 9:00pm, Sunday: 9:00am -9:00pm

名前の通り，寝室，浴室、台所用品の販売店。良質のものが揃う。

Watch World

Two Embarcadero Center

San Francisco, CA 94111

Tel: 415 395 9221

時計屋。

Schedule for equipment loan centerというボランティアの団体で食器やキッチン周りの製品、アイロンなどを＄10で好きなだけ（一度に運べるだけ）、好きな間、貸してくれるというサービスがあります。豊富に物がそろっているセメスターの初めに行かれるのがお奨めです。場所や時間については、I-Houseで問い合わせてみて下さい。

7. 自動車購入と保険・免許

1）免許の取得

a. 基本的な流れ

①国際免許証と日本免許証は持ってこよう

②筆記試験のオンライン予約、DMVにて受験、合格しよう

③実技試験の予約、受験の為の車の手配、DMVにて受験、 合格、その場で仮免許証発行

④本免許証の交付を待とう（郵送されてくる）

＊2008年現在、F1ビザ保有者は仕事につかない限りSSNを取得できません。SSN無しでも免許は取得できるのですが、DMVのスタッフの中にはそれを知らない人もあり、窓口で「まずSSNを取ってからきてね」と追い返されそうになることもあります。Class of 2008のシラトリの場合も窓口で追い返されそうになりましたが、一緒に行った同級生を指差し「彼も同じくSSNが無いけど受験できてるじゃないか、あっちのDMVのスタッフに聞いてくれ！」と叫んで、なんとか受験することができました。

カリフォルニア州法では、移住後10日以内にカリフォルニア免許を取得することを求めています。実際には日本で発行される国際免許でも支障はありませんが、カリフォルニア州の免許証は運転の他に身分証明書として非常に有用です。これは、本人の顔写真と生年月日、現住所が掲載されているためです。お店で小切手を利用する際、カリフォルニア州発行のIDの提示を条件としているところもあります。また、アルコールを購入する際や飲み屋に入る際に、年齢確認の目的でID提示を求められることがあります。飛行機（国内線）搭乗の際にもIDが必要です。したがって、パスポートを常に持ち歩かなくてもいいという意味でも、早めに取得されることを強くおすすめします。運転をされない方にも、DMVでカリフォルニアンIDを取得するのが便利です。

免許は各地のDMV(Department of Motor Vehicle)に行って取得します。バークレーの近くでは、エルセリートとオークランドが便利です。以前にカリフォルニア州の免許を取得された方は、たとえ期限が切れていても持参してください。少なくとも切れてから4ヶ月程度の場合は無試験で更新できました。

さて、筆記試験は前述したDMVで受験します。必ず事前に予約をしましょう。場所によっては日本語でも受験できます。日本語の方が出題パターンが少なく非常に簡単という意見もありますし、英語の方が問題が素直だという意見もあります。事前の準備としては以下が参考になります。

・DMVでもらえるCalifornia Driver Handbook （DMVのサイトからダウンロードできます）

・日系食料品店などの店頭に無料で置いてある「SFテレフォンガイド」に載っている練習問題

・「日系職業別電話帳」（サンフランシスコの紀伊国屋などで販売しており何かと便利）の交通法規の要約

・MBAAウェブサイトのインターナショナル欄にある過去問

なお、1回落ちても、“try again”と言えばその場でもう一度（2度？）受験できるときもあります。

実技試験は筆記試験に合格することが前提となっています。筆記試験に合格すると(試験終了後直ちに採点してくれます)、実技試験の予約をします。夏休みなど、受験者の多い時期などは2週間-1ヶ月以上待たされることもあります。予約がとりにくい場合は、その場あるいは電話・インターネットで「他のDMVでもっと早く予約が入れられるところはないか」と聞けば、いくつかの別の試験場を当たってくれます。また、インターネット予約は何故かできない、電話だと10分くらい待たされて面倒(かつ、電子音声入力システムが自分の発音を正しく受け付けない)、ということがありわずらわしいので、なるべくDMVで対面で予約を取った方が楽です。

試験当日は自分で車を手配します（その際、国際免許証が必要

です）。レンタカーでも良いのですが、レンタカー会社によっては、免許の実地試験に使われるのを嫌がるところもあります。確認して借りた方がいいでしょう。筆記試験合格後のパーミットは、運転時にカリフォルニア免許保持者の同乗を必要としますが、国際免許があれば、試験時にも一人で車を運転してDMVへ行くことが可能です。受験時には、その車が保険に加入していること、正式な登録がされていること（ピンクスリップ）を示す書類の提示を求められます（レンタカーの場合、保険内容が記載された貸し出し時にサインする契約書類を提示すればよいわけですが、会社によってはDMVに試験に使わない旨求めていることがあり、黙って借りると試験を受けられないケースがある）。試験のポイントは、まず車両のライト、ナンバープレートの検査（ライトが切れていたり、ナンバープレートがないと門前払いにあいます）、速度遵守、坂道駐車、バックでの直進走行、手信号、ハザードやワイパーなどの基本的な操作といったところです。アドバイスとしては、停止は確実に、車線変更の場合は多少大げさでも首を振って左右を確認する、素直な態度が高得点を呼ぶ、というところでしょうか。逆に、慎重を期して走行速度が遅すぎても不合格になることがあるようです。2009のタナカは1回目は予約時刻に15分遅刻して×、2回目はバックの際に縁石にあたって×、3回目は速度オーバーで×と3回も落ちました、、、

実技試験に合格するとその場で暫定的な免許証が交付されます。意外に落ちる人がいるので、まじめにやった方がよいとの意見もありました。不法移民対策との関連で、外国人の免許発行には必ず出入国データの照会が必要になっており、以前は正式な免許証の入手まで半年から1年ほどかかっていたようです。が、2008年夏のライセンス試験合格者には2週間から1ヶ月ほどで免許証が届いていました。ただし現在でも、過去にF1以外のビザで米国に滞在し、今回F1に変更になったようなケースなどでは、取得に半年以上かかるようです。

b. DMVの住所、電話

DMVでの受験は必ず予約をしましょう。（電話で予約できます。筆記試験はインターネットでも予約できます。） 予約をしないで行くと、長蛇の列に並ばなければならない場合があります。

ちなみに、DMVの予約は非常に混んでいて、10日から2週間くらい先の日程でないと予約ができない場合が多いので注意しましょう。前述の通り、必ずしも筆記試験と同じ場所にする必要は無いので、好きな場所を選ぶと良いと思います。

Office hour は下記で確認してください。

http://www.dmv.ca.gov/

General information: (800) 777-0133

（バークレー付近のDMV事務所）

El Cerrito 6400 Manila Av El Cerrito 235-9171

車で行くのが便利（！）ですが、バートのエルセリト・デルノルテ駅から歩くこともできます＜徒歩約10分＞

Oakland 5300 Claremont Av, Oakland, (800)777-0133

Oakland Coliseum- 501 85th Ave, Oakland,(800) 777-0133

Concord 2075 Meridian Park Blvd. 671-2876

※Class of 2008のメンバーの中では、El Cerritoが「受かりやすい」と好評、逆にOaklandは受かりにくいと不評でした。試験官の当たり外れもあるので、一概には言えなないとは思いますが・・・。

※Oaklandの試験官には、「Driving Test後にお守りをくれ」と要求してくる「お守りコレクター」のおじさんがいて、Class of 2009の1人もお守りと引換えに(?)合格をもらいました。試験の時は、大事なお守りは見えるところにかけないようにしましょう。Class of 2010でもこのおじさんに当たった者がいますが、お守りがないことを指摘され、「なんでお守りがないんだ？お守りはきちんと付けておくように」と指導（？）されました。ちなみにこのおじさん、めちゃくちゃしゃべり好きで、運転試験中も自分がいかに日本が好きかということを延々としゃべり続け、こちらに対して相当にinteractiveな会話を期待するので、試験中は集中力が途切れ、結構しくじりかけます。但し、判定は比較的甘めで、一発で合格を貰うことができました。

※El CerritoのDMVで実地試験を受けました(2007年2月)が、妻も私も坂道駐車、バックでの直進走行といったチェック項目がなく、ひたすら周辺をぐるぐる走って終わりでした（試験官が黒人の大きな（太ったとも言う）おばさんの時だけのようです）。

※OaklandにはClaremontと Coliseumの2箇所があり、注意が必要です(普通にOaklandとのみ書いている場合は、Claremontを指すようです)。Coliseumは土地柄か、白人が皆無で雰囲気に圧倒さ

れること、及びコースが長く片道4車線道路や陸橋から狭い住宅街に至るまで変化が多いこと、から、精神的に大変かもしれません。ただ、日本人が珍しかったらしく、試験官が英語が通じないだろうと思ったのか、ゆっくりした英語で、判らないといえば何度でも別の単語で言い直してくれたのは、他の試験場より親切でした。

c. 日系ドライビングスクールについて

日本で全くのペーパードライバーだった方は（奥様方も含めて）、こちらのドライビングスクールを利用するのも一案です。なお、こちらのスクールは、日本のように教習所に教習用のコースがあるのではなく、教官が助手席にアクセル・ブレーキ付きの車で自宅に迎えに来てくれて、近所の道路やフリーウェイで運転の実地指導をするというものです。

教官が日本人のスクールとしては、「ジョイ・ドライビング・スクール」(650-967-6380)があります。希望すれば、実地試験の際の車の手配もしてくれるので、自動車購入前に免許を取ってしまおうという人にも便利です。なお教習料金は、1単位（100分）＄70程度です。夏期は特に混んでいるようなので、早めに予約することが必要です。

2) 自動車購入

アメリカは車で移動することを前提に社会が構成されています。買い物にしても徒歩や自転車ですると予想以上に大変なものです（この点は日本とは比較にならないと思います）。従って、住む場所にもよりますが、車は最低一台あった方が便利です。

a. 予算

費用はもちろん車によって異なりますが、必要なものは、車両本体価格、消費税（8.25%、州内でも場所によって異なる）、自動車税（車両価格による）、登録料、スモッグチェック（排ガス検査）、保険料、修理費、ガソリン代などです。保険料は車種によって多少変わり、スポーツカーや盗難の多い車種は高くなっているようです。登録費用プラス税金分として、保険料とは別に車両価格の1割程度は余分にみておくべきでしょう。

b. 車選びの基本

車は慎重に、理想的には、自分が納得するまで充分時間をかけて選びたいものです。車選びをするに当たって、まずに考えておかなくてはならないことは、アメリカは車の購入ルートも様々なら流通している車の品質も様々だということです。従って、まず自分自身の車選択の優先順位を決めなければなりません。

一方、渡米前に日本人卒業生から日本車を買い取るという約束をする、というオプションもあります。これは、金銭的・事務手続き的な面に加え、セットアップ期の便利さという点でお勧めです。仮に実車を見ることができないにしても、ネイティブからアメ車を買うよりもリスクは小さいかもしれません。お気に入りの車種が、Haas、スタンフォード、UCLA、UC Davisあたりの卒業生から売りに出ていれば、検討する価値はあるでしょう。 問題点としては、今の2年生の帰国時期と来年の1年生の入国時期のズレ。Class of 2007の山本の場合、Andersonの在校生の好意で保管してもらうことができましたし、Class of 2010 のカナイロの場合もUC Davisの方の寮で他の日本人研究者の方が保管してくれましたが、そんな幸運は多くは無いでしょう。

奥様も運転し、貴方自身もメカに弱い場合、なるべく年式の新しい日本車を選ぶべきだと思いますし、貴方が独身でメカに強く修理なども楽しんでやれるならば掘出し物の中古車を捜すのもよいと思います。また、わずか2年間という期間しか乗らない（卒業後もアメリカに残る人は別として）ということも考慮してください。即ち、使用価格＝購入価格−売却価格である事をよく認識すべきです。新車や価格の高い日本車の中古車を買った場合でも高く売却できれば、実際のコストは安く済みます。

c. 新車購入

新車を購入する場合は、日本との違いはそう多くないと思います。ディーラーは電話帳で調べて出向いてください。現金で一回払いする場合、かなり値切れると思います。

リースを組む場合、原則として、アメリカでのクレジットカードの履歴が必要です。ただし、企業派遣の方であれば、企業からの財政証明書でリースを組んでくれるところもあります。リースの場合も店にとっては現金一括購入と同じですので、値引き交渉してみましょう。

新車の場合、半年毎の点検やオイル交換をディーラーが無料でやってくれることなど車に弱い人や故障のトラブルに煩わされたくない人にはメリットが当然あります。

d. 中古車購入

・購入ルート

以下のルートがあります。

1）JINA（http://www.jinaonline.org/home.php?city=SF&）を利用して、帰国前の日本人などから購入することができます。車のオーナーが日本人であるのでオーナーとメールや電話で十分な情報交換ができ、比較的安心して購入できるのではないでしょうか。しかし情報量は限られます。

2）地元中古車ディーラー

3）日通ペリカンクラブの会報（日本に帰国する予定の人の売ります情報）でかなりの件数が載っています。引っ越しを日通に頼む場合、渡米前に日通サンフランシスコ事務所へ依頼してから日本間で会報を送ってもらうこともできました)ただし、紙媒体であるため、情報の鮮度はネット情報に比較するとやや古く、会報が配布された時点では既に売れているというケースもあります。

4) 日本人のセールスマンがいるディーラー

（Weatherford, Walnut Creek Nissanなど）

5）ジャパンセンター、東京フィッシュマーケット等での貼りだし

6）新聞の日曜版に付いている売出情報

7）無料の情報紙（スーパーや大学の周辺のスタンドに積んであります）

8）For Saleの貼紙をしている車を捕まえる

9） eBay Motors, Autobytelなどのインターネットサービス

http://www.motors.ebay.com/

http://www.autotrader.com/

http://www.autobytel.com/

http://autos.yahoo.com/

10）ネットで調べて個人売買（ここでもCraigslist.org が大活躍）

11）バギーバンクを利用　http://buggybank.com/

3）4）は車の質に関しては信頼できると思います。また、値段に関しても良心的です。2)の中古車ディーラーに置いてある車は過去数カ月間動かしたことがない車も多く、一回の試乗で動いたとしても次もエンジンがかかってくれるとは限りません。一方、今使っている車は今後2年間動いてくれる可能性は大です。6）7）は相場を知る上でも重要な情報源ですし中古車ディーラーの広告も載っているので便利です。ただし、個人売買の場合は、DMVへの登録（売買価格を報告し、その金額によって税金が決まります。ギフトとして税金を0にする手もありますが、相場価格とくらべて売買価格が露骨に安いと、かなり厳しく突っ込まれますのでエンジンの調子が悪い等説得力のある理由が必要です。）や、スモッグチェック（排ガス検査）などを自分たちで行わなければなりませんので、売り主とよく相談して適度に設定すべきでしょう。

10）は労力こそかかりますしややリスクも伴いますが、値段を抑えるには一番効果的です。Class of 2007 河根はCraigslistで希望車種を探してはオーナーと会い、試乗し、状態をチェックするということを8回近く行ったうえで購入しました。当然授業が始まる前に済ませた方が良いでしょう。

11)はなかなかユニークなサービスで、車を売りたい個人がここ（Shattuck沿い、Berkeley Bowlのすぐそば）に一定期間車を預けているので、自由に見に行って試乗ができます。

・情報収集

上記のルートから売買情報を集める事の他に、本屋に行って中古車の価格リストの本も手に入れましょう。（一番有名なのはKelley Blue Bookと呼ばれている本で大きな本屋であればたいてい置いてありますが、web サイト　http://www.kbb.com　でも参照できます。Haasの卒業生が立ち上げたサイト http://www.driverside.com/ も情報量が豊富です ）。中古車ディーラーでの販売価格はこの本の値段よりも高め、個人売買の方は安め（価格にもよりますが、KBB価格から＄3,000程度までは値切れるとの話があります）になっているようです。この手の本や雑誌は売り主（特にディーラー）に騙されないためにも或るいは舐められないためにも重要な道具となります。また、日本人のセールスマンがいるディーラーを訪ねていろいろな情報を入手するのも一法でしょう。また、新車、中古車を問わず、インターネット上のサービスでディーラーを紹介してもらうことができます。たとえば、www.carpoint.com, www.autobytel.com　などがあります。これらのサービスで紹介されたディーラーと成約にいたった場合は、ディーラーからインターネット割引が適用されることもあります。

個人売買ではhttp://www.craigslist.org/sfo/car/も相場を知る上で参考になるでしょう。

http://www.carfax.comではVehicle ID Number (VIN)を入力すれば車の履歴を見ることができます。有料です($20程度)。

・中古車ディーラー

アメリカ人の個人と交渉するのは不安と思う方は、現実的には中古車ディーラーから購入せざるを得ません。以下そのプロセスで重要と思う点を述べたいと思います。

・ディーラーの選択

中古車にも二種類あり、5年程度までの中古車で品質の良いものは、大きなディーラーではディーラーのwarrantyを付けて売っています。このようなものは新車に準じるものと考えてよいようです。一方、ほとんどの中古車はno warrantyであり、no warrantyである限りどこで買っても同じです。どんなに店が立派でも車の質とはそれほど相関はありません。大きな店ではマージンを高くとっているためか一般に割高です。

・車の選択

とにかく自分の目だけが頼りです。ディーラーの言葉を信じずに全て自分で試しましょう。絶対にしつこく試乗することです。ラジオやカセット、ウインカーやライト、窓やドア、トランク、ワイパーなど全ての箇所が正常に動作するかチェックしましょう。(バッテリーはかなりの確率でいかれています)

・交渉

中古車ディーラーの在庫回転率はかなり低いようです。従って、現金で一括払いするインパクトはかなり大きいと考えられます。強気に買い叩きましょう。

また、こちらでは保険に入っていれば買ってすぐに乗って帰ることが可能です。代金を払った次の日にAIGに電話して(電話だけで契約成立です)そのままBARTでディーラーに向い、買った車に乗って帰った人もいるようです。

・個人売買

個人売買の場合、可能ならば購入前に自動車修理工場で車の点検をして車の状態を把握することをお勧めします(3時間のチェックで$100くらい。ShattuckとUniversityの交差点を高速道路に向かって進んで次の交差点にあるFirestoneであれば、$20で済むのでお薦めです)。私の場合は99%磨耗していた前輪ブレーキを交渉条件にして$1,000値引きしてもらいました。(修理に実際かかった費用は$400くらい)

e. 購入後の修理

事前に故障箇所を発見して修理すれば安く済みます。(ここは市場経済の国、どうにもならなくなった状態では高く吹っ掛けられます。)AAAでは点検サービスを安く提供しているようなので利用されるのもよいと思います。また、全ての車種毎に修理マニュアルが出版されていますので購入するのもよいでしょう。Do it yourselfの国です、バッテリーぐらいは自分で取り替えられるようになりましょう。また、早めにジャンプコードは手に入れておいた方がよいと思います。このての修理部品や工具はUniversity沿いとSan Pablo 沿いにあるGRANDや Pepboysというチェーン店が安く、品揃えも充実しています。

[参考] 国別自動車の特徴

アメリカ車: 頑丈、割安。ただし古くなると日本車に比べて故障が多い

日本車: 信頼度高し。割高だがリセールバリューが高い。

欧州車: パーツ、修理代は日本車よりやや高い。日本で買うよりは安い。

タイプ別自動車の特徴

セダン： 無難で最大のマーケット。保険料も安い

ワゴン 、ミニバン、SUV： 子供さんのいるご家庭や旅行好きには最適ですし、引っ越し、買い物とかなにかと便利だと思われます。

スポーツカー、コンバーチブル： カリフォルニアの青い空の下でコンバーチブルカーを走らせると、日本では決して味わえない爽快な気分になります。

f. 主なディーラー一覧

ディーラーについては下に示しましたので参考にしてください。

a）自動車販売店（中古車も扱っています）

Val Strough Albany Ford
990 San Pablo Ave., Albany,
510-528-1244

Carlsen Porche Audi Volkswagen
1730 Embarcadero Rd., Palo Alto,
1-800-762-7883

Boardwalk Volkswagen Mitsubishi
1 Bair Island Rd., Redwood City,
415-364-0100

Shen Infiniti
800 San Mateo Dr., Burlingame,
415-342-8100

Smith Toyota
12300 San Pablo Ave., Richmond,
510-215-4700

McKevitt Nissan
2700 Shattuck Ave., Berkeley,
510-848-2206

Wheatherford Mitsubishi、BMW
750 Potter St., Berkeley,
510-654-8280
（日商岩井系の販売店。新車、中古ともに在庫多数。
所長の古橋さんは日本人。値引きもしてくれます。但し取り扱いはBMWのみです。）

McNevin Cadillac & Volkswagen
510-528-5900
1500 San Pablo Ave., Berkeley
中古車部門もあり。

b）中古車ディーラー

・San Pablo Ave. 沿いに点在していますので、電話帳、現地新聞の日曜版を参考にされると良いと思います。

・Hill Top Mall：I 80を20分ほど北上したところにあります。mallの北側にディーラーが固まっていますので、すべてのメーカーの車を見ることができます。

・Hayward： Mission Bl沿いにたくさんの中古車ディーラーが存在します。

・ San Jose：Capitol Expwy沿いに全てのメーカーのディーラーがあります。新車中心ですが中古車も売っています。いかにもアメリカらしい風景で少し感動します。 El Camino 通り、Stevens Creek通りなどにもあるそうです（未確認）、フリーウェイで1時間ほどかかります。

注意： 日系のトランスパシフィックオートからの購入だけはやめた方がよいでしょう。卒業生の中でいろいろと被害にあった人がたくさんいるそうです。

・日本人経営のSan Francisco Fleet & Leasing（http://www.sffl.com/）から中古車を買った人がいます。諸手続きを代行してくれるので便利ですし、整備済みで渡してくれることになっています。ただし価格は高めになります。

g.. 主な自動車修理場一覧

Nippon European Motors
730 San Pablo Ave., Albany,
510-528-2575(Japanese Speaking)

日本人が一人いて親切にアドバイスしてくれますが評価はまちまちです。値段は安くないですが原因がよく解らない故障の時などは頼りになります。日本車とVWには特に詳しいようです。（愛想はよくないですが、職人肌で腕は確かです。）

Steve’s Auto Care

744 San Pablo Ave. Albany

510-526-3906

タイヤのパンク修理を頼みましたが、手際よくまた感じも良くやってくれました。Honda車の扱いが中心のようですが、他メーカーでも問題なく取り扱ってくれます。

Professional Automotive Technicians (PAT)

2132 Dwight Way, Berkeley.

510-843-2700

Fukuda Auto Service

1055 Post St., S.F.,

415-776-7317

なお、ユニバーシティとおりのフランクリンという修理工場は避けましょう。一回ぼられそうになりました。

3)購入後の手続き

車を買ったら、次のことを済ませる必要があります。

- **a)　自動車保険の加入**
- **b)　AAA の加入（オプショナル）**
- **c)　車の名義変更、登録**
- **d)　パーキングパーミッションの取得**

a. 自動車保険

自動車を買ったらまず入らなくてはならないのが保険です。保険なしで運転するのはお勧めできません（そもそも違法）。訴訟社会で有名なアメリカだけに、十分な保険に入ることが必要ですが、訴訟社会故に保険に入りにくいことも事実です。つまりが異国人でアメリカでの運転実績がない場合、断られたり、大幅に高い保険料で保険額の低い保険にしか入れないことがあります。日本と違い、保険料は会社によってまちまちですので、適切な保険会社を選ぶことが大切です。安い保険の照会、契約を保険ディーラーに依頼する方法もありますが、手数料として100ドル位をとられてしまします。

車の購入時には、州法で定められた最低限度の保険に入る必要があり、ディーラー等でテンポラリーな保険を買うこともできますが、保険料が割高な上、この期間に大きな事故を起こすと以後どこの保険会社からも保障額の高い保険を引き受けてもらえなくなります。保険料は、年齢、家族の有無、現住所、車のタイプ、安全装備の有無等により、1セント単位で細かく分かれます。一般的に既婚者の4ドアセダンは安いようです。保険の準備は車選びと平行して進めていく必要があります。また、自動車保険加入時に、住居の火災、傷害保険等にも加入できます。詳しくは各保険会社の担当者に問い合わせてください。

中古車の個人売買であれば、購入が決まった段階で売り主から保険加入に必要な情報（型式、ライセンス番号、等）を入手し、事前に保険加入しましょう。その後、保険会社から郵送（急ぎの場合FAXも可）されてくる Policy Number の記載されたカードを持参すれば、購入後すぐに乗って帰ることができます。

JALファミリークラブ総合保障制度

JALがAIUと提携して運営している海外駐在員総合保障制度の一環で、当地で対人一人10万ドル、一事故30万ドル、対物一事故2万5千ドルの保険に加入することを前提に2億円までをカバーするというもの。年額￥45000のアンブレラ保険に加入した上で、さらに自動車保険に加入することになります。

（Ⅲ. 出発準備編　参照）

保険会社であるAIGのコールセンターとカリフォルニアとは2時間の時差があり、また土、日の受け付けはしてくれません。

現地の保険ディーラーが提示した金額に比べてこのAIGの保険料は1/3だったとの情報があります。勤務先の関係で安く保険が買える人を除いてはこのJALカードを利用した方がよいと思います。この保険の場合、レンタカー利用時にも適用されるため、旅行などの際にもレンタカー代金が安くあがるメリットもあります。私費留

学の方は、会社を退職される前にこの手続きをすることをおすすめします。

日系損保

サンフランシスコに代理店を持つ日系損保を比較的安心ということで利用している人もいました。MIFInc.（東京海上の代理店）：415-391-2600　状況により、他の外資系も世話してくれるそうです。

また事故の時にも間に入ってくれ、日本語での対応が可能でしたので、精神的に助かりました。

また、日動の代理店（カヨコさん：415－2471－610）も即日で安い保険を提供してくれます。

外資系損保の日系代理店も検討の価値があります（例：Mariさん：408-307-9174）。Bayスポに日系代理店の広告がいろいろ載っています。

外資系損保

車を購入したディーラーに頼むと、提携している保険会社を紹介してくれることがあります。ただし、受け付けられるかどうか、また保険料の高さはケースバイケースです。AAA（トリプルA）でも保険を扱いますが、これはアメリカでの運転歴3年以上が条件ですので、米国での運転歴がない方には方には加入が不可能です。

また最近では手軽にインターネットだけの手続きで、自動車保険に入ることも可能です。例えばGEICOなどで比較的安く良質な保険にはいることもできます。

http://www.geico.com/

09ツチヤは、JALファミリークラブで思いのほか高い保険料を提示されたため、以下のサイトを使いましたが、非常にリーズナブルな金額になりました。

http://www.kojinhoken.com/

さらに、とにかく何でも良いのでGeicoより安いネット保険を探したい場合は、NetQuote.comでGeicoを含めた相見積もりを簡単に取ることが可能です。必要事項を入力すると、3人程度のブローカーが地元系の保険会社を紹介してきますが、米国での運転暦の有無など細かく問われない分、日本人留学生のステータスでも保険料を安くできる可能性があります。もちろん相手は小規模の保険会社が主体なので、既に自分の車に故障が無いこと、及び自分自身の車の利用パターンを確認済みで、大手との提供サービスの違いを自己責任で比較検討できる方のみに、お勧めできます。

http://www.netquote.com/

車両保険

車両保険はオプションです。これにはいると当然保険料は上がりますが、大きな修理の備えになるでしょう。

AIG（JALファミリークラブ）経由で自動車保険に加入した場合は、対人・対物保険とセットで加入できるため、とくに個別の手続きは必要ありません。一方、アメリカの保険に自分で加入する場合、カリフォルニアでは車両保険の加入に際し、専門のエージェントへ行き写真の撮影と点検（無料）をしてもらわなければなりません。保険購入後、リストが送付されてくるので速やかに近くのエージェントへ行ってください。尚、点検結果はエージェントから保険会社に送られることになっていますが、処理がルーズなところもありますので、自分の控えも保険会社に送った方がよいようです。これが届かないと、保険会社より車両保険の中止通告が届くこともあります。たいていは入れ違いのことが多いようです。

b. AAA（California State Automobile Association）

通称AAA（トリプルA）と呼ばれる団体で、日本のJAFに相当します。車の故障、事故に対するサポートのほか、無料での全米各地の詳細な地図の提供や旅行代理店業務もあるので入会をおすすめします。現に何度か助けられた人もいました。住所は下記の通り。

Berkeley：　1775 University Ave.

Oakland：　380 West MacArthur Blvd.

プレミオカードでも日本語でのロードサービスを行っています。高速走行中にタイヤがパンクした際に使いましたが、対応も素早く、修理業者が予定時刻に到着したか確認する電話もあり、安心感のあるサービスでした。ご家族が運転されるなどで、もしもの時は日本語がいいなと思う方は検討してもよいと思います（入会金$20、年会費$29.95（ベーシック・プラン）～）

c. DMVへの名義変更登録

個人間売買で中古自動車を購入した場合には、DMVに登録をする必要があります。DMVの住所等については「免許の取得」の欄

を参照ください。

名義変更の際には、自動車税（車両価格による）、登録料が必要ですが、DMVではカードを受け付けないところもあるので、ぜひ小切手を持参しましょう。 手続きだけ済ませて、お金の支払いを後日に回すことも可能ですが、延滞金は相当高いです。気をつけましょう。

なお、AAA（University Ave.）にはDMVの出張所があり、DMVと違っていつもすいているため、この登録手続きもDMVよりはるかに早くできます（ライセンス関係の手続きはできません）

d. パーキングパーミッションの所得

・学校の駐車場への駐車

学校付近で日常的に駐車するには、学生専用のパーミットを学期単位350ドル強で購入します。一時的な駐車にはパーキングメーターを利用する、あるいは民間の駐車場を利用するなどの手段があります。学校周辺のパーキングメーターは1時間程度の時間制限がある場合が多く不便です。路上駐車は、駐車違反取り締まりが多いので、やめたほうが良いと思います（一般的に駐車禁止の取り締まりは日本よりはるかに厳しくほぼ間違いなく、帰ってくると白い封筒がワイパーにはさまれていることになります。罰金は$35～40です。）。パーキングパーミットの購入、あるいは大学の専用駐車場に関する問い合わせは、下記のParking and Transit Operations へどうぞ。

Parking and Transit Operations

2535 Channing Way, 510-642-4283

Business school及び他の大学施設に近いという点からstadium又はunder hillの駐車場が一番便利です。（場所は大学から送られてくる地図を参照してください）学生用（S）パーミットでは、基本的に、教授、スタッフ用（C）、（F）駐車場は使えませんから注意してください（夏期、週末等、使えるところもあります。）

・路上駐車

駐車場のない家に住んだ場合、購入した車は大抵家のそばの路上に駐車することになります（アメリカでは道は駐車場と化している！）。そのためにはバークレー市への申請が必要になります（Berkeley駅のそばの建物）。なお、たいてい、月に1度道路掃除の日があり、その日に停車していると確実に駐車違反切符をきられるのでご注意を。

申請には、ピンクスリップ（車両証明。購入時にディーラーもしくは個人売主から引き継ぐ）や申請料（$45/年 程度）などが必要になります。正式に自分の車になっていない間は、2週間路上駐車可能なチケットをやはりバークレー市から購入する必要があります。

詳しくは市ホームページを参照ください。

http://www.ci.berkeley.ca.us/transportation/

（おまけ）運転時の注意

交通法規については受験の際に勉強していただくとして、実際に運転するときに気をつけた方がよいと思われる点を挙げておきます。まず、歩行者優先の徹底（車は止まるものだとして歩行者は行動している）。そして、車同士の優先権を守ること。ただし、ウインカーの出し方などはとてもいい加減で、急に自分の前に割り込んでくることもしばしばありますので注意してください。また、右側走行も最初は慣れないものです。車が少なく視界の悪い夜間は特に逆走に気をつけましょう（一方通行の道路には注意!）。その他、チャイルドシート（子供用座席）と駐車違反の取り締まりは非常に厳しいです。また、夜間のライト不点灯や一時停止違反で捕まったと言う話も聞きます。こちらは、事故が起こることを前提として規則や保険が成立していますので、日本の感覚でいたら大変なことになりかねません。概して自動車のスピードは日本に比べて低めですが、そのことと安全とは全く別物ですのでくれぐれもご注意ください。因みに、罰金の金額の例を載せておきますと、

・ 駐車違反35ドル

・スピード違反（スピードによりますが、）185ドル＋Violation School（8時間）への参加

・ チャイルドシート不使用271ドル

・ 信号無視：300ドル程度（Berkeley市内には4箇所自動で違反を撮影できる交差点があります。）

・不運にも運転中、パトカーに止まれのサインを出されたらおとなしく徐行し路肩に車を止めてドライバーシートに身動きせず（重要なポイント！）にじっとしていましょう。警官から窓を開け運転免許証、自動車保険および登録証を見せるよう指示が出ますので素直に従うことも大事でしょう。

8. 病気になったとき（医療機関、健康保険）

海外で病気になるのは、いろいろと不安なものです。完璧な予防法はありませんが、できるだけ準備をしておきたいものです。一般的に保険のきかない目（視力）、歯の治療を含め、日本で一通りの診断及び治療をすませてくること、また、持病のある人は英文の診断書や病状説明書などを持参した方がよいでしょう。薬に関してもアメリカにも良い薬はありますが、一通り日本から持参してもよいでしょう。また、十分な保険に加入してくることも大切です。学生には強制保険がありますが、大学病院以外の診療、治療には適用されません。なお、学生の強制保険は学期の休み期間中も適用されます。

次に、病気関係の英語を一通り勉強してくることも、いざというときのためには大切かもしれません。参考書としては、「アメリカで困らないための本、健康医療編」、ジャパンタイムスがあります。日系電話帳にも、主なからだの器官、病気の英語がのっています。

そして、バークレー到着後すぐに、日本語のできる医者、大学関係の病院などの場所やシステムについて実地研究を行ってください。日本語のできる医者はベイエリアにもいくつかありますが、一般的、いつも混んでいる、治療費が割高である、技術が一流とはいえないなどの批判もあるようです。歯の治療などは、英語で現地の医者にかかることを勧める人もいます。一方、こちらの医者は親切によく説明してくれる反面、混んでいてアポイントメントをとらないとすぐには診てくれないようです。副作用が訴訟問題になるので、検査結果の分析に時間をかけ、その間薬（痛み止めなど）を容易に渡さないという傾向があるとのことです。

1）医師の選択と医療機関

アメリカでは病院に医者がいるのではなく、病院に加盟している医者が手術や検査等病院を必要としているときに利用するのが普通です。医療が専門に分かれていてホームドクターが必要な専門医を紹介することになっているうえ、緊急の場合でも病院でホームドクターの名前が尋ねられます。ホームドクターは紹介を受けるか、自分で面会して決めるのが良いでしょう。 緊急の時は電話911番で救急車を手配してもらいます。そのとき、保険証とチェックブックを忘れないように。こちらの救急車は高いので、常に予備のお金を持っておくと安心です。また、日頃から電話帳のサバイバルガイドを呼んでおくと良いでしょう。

日本語のできる医師、評判の良い医師及び大学の機関を挙げておきます。詳しくは、日系電話帳で調べてください。

（産婦人科、小児科については Ⅶ. 出産・子育て編を参照ください。）

a.. 大学の医療施設

University Health Center/Student Health Clinic

2200 Bancroft & Dana St., Berkeley

General Information: 510-642-2000

Acute Care 24 Hrs: 642-3188

月曜から金曜まで8:00から4:30。内科外科などなんでも対応してくれ、学校からも近いため、学生の中では一番メジャーな医療機関です。学期中に限り診察は無料です。医薬品は特別割引料金で購入できます。学生証とUHS Medical Records Card（通称ゴールドカード、初診の場合その場で作ってくれます）を忘れずに持参してください。

アポイントなしだと、Urgentというところに行きTriage Nurseが初めに診察します。642―2000に電話してアポイントをとれば直接医者に会えますが、混み具合等によっては2、3日後しか空いていないこともあるので、アポが取れなければ、まずはUrgentに行ってみることをお薦めします。

Vision Care Service, School Optometry

200 Minor Hall, 510-642-5761

ハースのすぐ隣（Fisher Gate方面）にあり、検眼及び眼鏡・コンタクトレンズの購入が可能です。医学部生が一人ずつ付き、大変丁寧に検査をしてくれます。料金も手頃で大学の保険加入者は割引が受けられます。 事前の予約が必要。予約は二週間くらい先しかとれないので早めに。コンタクトレンズはこちらで購入した方が日本よりも安いと思います。 経験者によると時間はかかるけど、日本で作るよりも安心、納得かもとの事。ただ2006の一人は、目がはれたので検査に行った際、タダの細菌感染なのに医学生部生何人かにたらい回し検査され、余計に腫れがひどくなった人もいます。

b. ホームドクター

Dr. Carl Watanabe (内科)

El Cerrito Plaza Professional Building, Suite 107 El Cerrito

510-524-4040

日本語完璧。日本人学生の御家族の方は多く利用されているようです。運悪く日本人医師が休みの場合でも、他の医師もアジア系でゆっくりした英語で判りやすく対応してもらえます。El Cerrito Plazaのすぐ裏です。

Dr. Terashima (内科)

424 28th St., Oakland,

510-452-4824,

日本語OK。

Dr. Herbert Ure

2850 Telegraph Ave., Berkeley,

510-883-9883

Dr. Lampiris (El Cerrito Medical Group)

6500 Fairmont Ave., El Cerrito,

510-525-7887

親切だが、7月一ヶ月休暇をとられたときはびっくり。別の先生がフォローしたが込み合ってなかなか予約が取れなかったとのこと。

(夜中や休日の急な発熱などの救急病院については、VI. 生活情報ー7トラブル対応をご覧ください。)

c. 外科

Dr. Robert Eppley

3010 Colby St. #118, Berkeley,

510-845-3856

d. 検眼

＊日本と違い、処方箋がないと眼鏡はつくれません。

前述の大学のSchool Optometryは学生割引もあり、対応も非常にプロフェッショナルで良いと思います。メガネ、コンタクトの購入も併設ショップで行えます。

Dr. Tommy Hayashi

1535 Ashby Ave., Berkeley,

510-843-7545

日本語OK。

Dr. Eiichi Tsuchida

1535 Ashby Ave., Berkeley,

510-843-8169

日本語OK。

e. カイザー病院

Oakland, Richmond, San Francisco 等にあります。一般の病院と異なり、カイザーでは最初からホームドクターを選択することはできず、予約を取った時間に担当となっている医師がその患者を担当するシステムになっています。メリットとして、カイザー病院だけで適用されるカイザー医療保険があり、医療費や薬代が非常に安く、また妊娠出産もカバーされることが挙げられます。

f. 神経科系医療

医療の中でも神経科系の治療が必要な場合、言葉の問題があり、医者を選ぶのがますます難しくなります。下記の東洋系団体のサービスには、日本語を話す人がいるそうです。

Asian Community Mental Health Service

310 8th St. #201, Oakland

510-451-6729,6811

g. 歯科と歯科保険

アメリカの歯科治療は大変費用がかかると言われていますが、1)保険に加入しておらず全額支払った、2)検査の結果、予想以上にひどく、またほかにも悪い歯が見つかり、英語がよく分からないままに全てを徹底的に治療した、といったケースが多く含まれているように思います。一般的に、こちらの技術レベルは日本より

高く、費用も決して安くはありませんが、なんらかの保険のカバー対象となっていれば日本と比べてべらぼうに高いと言うこともありません。08年からは学校指定のSHIPで歯科保険もカバーされるようになったので、詳細はそちらを参照して下さい。 個人の保険でお勧めはWELLPOINT とBLUECROSS
（http://www.bluecrossca.com/index.asp）です。

日本語のできる医師及び大学の機関を挙げておきます。下記以外は日系電話帳で調べてください。

JOHN D FORD, D.D.S. AND VINCENT J. FORD, D.D.S. INC

GENERAL DENTISTRY

7001 STOCKTON EL CERRITO, CA

510-524-5566

日本語は不可ですが,腕は確か。

D.KENNETH MIZONO, D.D.S.

STEVEN T. KOBAYASHI, D. D. S.

730 Kains Avenue, Albany, CA 94706

510-525-2899

受け付けは日本語でも、ドクターは英語のみ。

Dr. Robert Hata

5277 College Ave., Oakland,

510-653-7012

Dr. Barry Kami & Dr. Frank Kami

1811 University Ave., Berkeley,

510-845-1396

Dr. Thomas Ogawa

166 Geary st. #1200, S.F.,

415-398-4110

4）薬局/アメリカの薬

アメリカでは完全な医薬分業制なので、医者にもらった処方箋（Prescription）を薬局に渡さなければ薬は入手できません。薬局には第一回目は自分で出向いても、同じ薬を再調合してもらう二回目からは、電話で処方箋の番号を言えば、薬局が医者に連絡し、許可をもらい薬を用意しておいてくれます。無料配達してくれる薬局も多いので、日頃から利用する薬局を決めておくと良いでしょう。緊急の場合のため、各市の法律で夜間営業している薬局が決められています。

Alta Bates Emergency Room

週末・祭日も含めて薬剤師が24時間いる。

Longs Drugs

1451 Shattuck Ave., Berkeley,

510-849-0832,0484

月 － 金、9am-7pm, 土、10am-6pm、（日祭日には電話して訪ねる）

もちろん、軽い風邪などは処方箋なしでスーパーやドラッグストア、また薬局（Pharmacy）等の店頭で求めることができます。薬は自分にあったものを日本から持ってきた方が良いという意見が多くきかれますが、こちらにも良い薬があるので2年分まるまる持ってくる必要はないとの意見もありました。一般的に言えば、風邪薬、鎮痛剤は大人から子供用まで豊富ですが、小児用（特に3歳ぐらいまで）の胃腸薬、湿布薬は見あたりません。ちなみに大人用の湿布薬はRanch 99で買えます。各種ビタミン類はこちらでとても安く買うことができます。尚、バークレーの日本食品店や、サンフランシスコのジャパンタウンにいけば、日本の薬や健康ドリンクも買えますが種類は限られています。

以下はアメリカの薬の内、比較的ポピュラーなものです。

Bufferin, Tylennol： 頭痛薬

Imodium： 下痢止め

Contac： 風邪薬

Dimetapp,： アレルギー

Claritin, Loratadine ; 花粉症用アレルギー薬

Dramamin : 車の酔い止め

Advil : 鎮痛剤

Robittussin, Vicks Formula: 咳止め

Neosporin Ointment: 化膿止め軟膏

尚、日本から持参した薬の内、抗生物質は医師の指示なしにやたら服用しないこと。正しい使用分量、期間を知らないと菌を強くして、後で取り返しのつかないことになりかねません。

5）健康保険

日本やほとんどの国々では、国民皆保険制度がありますが、アメリカでは健康保険の自由化が進んだため多岐にわたる保険プランが存在しています。その中でも大きく二つにわけると、保険が治療費用のほぼ全額を全額カバーするかわりに指定された医師または病院しか使えないものと（通称HMO)、日本の保険と同様どの病院でも使えるが費用の一部自己負担のあるもの(PPO) があります。また、保険が有効かどうかのチェックがかなりしつこいといったというのも特徴だと思います。HMOの場合はホームドクターをお願いするのですが、PPOであれば特にその必要はないです。

ちなみに、保険料は一人80ドル／月くらいからあり、300ドル／月近いものまであります。もっとも、保険料の安いものは、医者にかかった場合の支払いは多くなり、保険料の高いものは、その逆で受診料は支払いは少なくなります。確かにこちらの病院システムは日本のものと違うので慣れないうちは多少まごつくこともありますが、皆どうにか大問題もなくやっているようなので特に心配される事はありません。（余談ですが、この様な高い保険料のため、約4000万人の国民が健康保険に加入していないという事態を招いています。そもそも高い診療費はこの保険制度が原因ともいわれています。）

a. 学生本人の保険

実は皆さんがUCBに支払われる授業料には、大学の学生ヘルスセンターが無料で診療してくれる大学保険がついています(現在セメスターで342ドル、他の保険を利用する場合、免除可)。これは会社をやめて保険を失うアメリカ人学生の需要を反映したもので、わざわざウェイブの手続きを取った人以外全員自動的にこの保険に加入していることになります。基本的な診療は大学のメディカルセンター（Tang Center）で行い、大がかりな治療の時にはサンフランシスコのUCSF病院など、他の施設に紹介されます（この場合も保険の適用がされる）。前述のHMOタイプの保険です。また、保険の適用開始はハースのサマースクール初日からですので、早くから渡米される場合は、別途海外旅行保険への加入が必要です。

学校の保険をWaiveするためにはいろいろ条件があり、意外とハードルが高いのですが、チャレンジしたところあっさりwaiverできました（企業派遣で駐在員保険に加入）。Onlineで申請し、料金は先払の後日返金です。（但し、授業料を学校から直接会社へ請求してもらう場合は、当該費用を省くように通知しておけば、最初から保険費用が除外された金額が会社へ請求されます。）一旦waiverされるとその後の更新は不要です。

学校の診療所等が気軽に使えるのは何かと便利だと思いますので、派遣元が保険料を負担してくれない場合には、学校のSHIPへ加入することを検討するとよいと思います。

http://www.uhs.berkeley.edu/students/insurance/

b. 家族の保険

大学からは、学生の家族向けの保険が提供されないため、家族は別途自ら保険に加入する必要があります。万が一の事故・病気のときには、多額の医療費を支払うことになる可能性があり、そもそも保険に加入していないと診察を拒否されることもあるので、保険には必ず加入しましょう。

・一時本人の立替による会社からの払い戻し（もしくは日本の通常の健康保険の持ち込み）

社費の留学生が選択する可能性が高い方法です。日本の保険であれば当然本人一部負担分がありますし、また医療費の高いアメリカでは、病院に診察の予約を取る前にクレジットカードで信用保証をするか、場合によっては多額のデポジットを積まされ、それは治療が全て完了するまで戻ってこない等、やや面倒だったりする事もあります。たとえばこちらで出産した人の話では約5、000ドル近く最初の段階で払わなければならなかったということでした。この方法の最大のメリットは医者の選択が完全に自由なため、日本語の話せる医師や、自宅にすぐ近い病院を選択できるという事でしょう。この種の制度を利用する場合は、会社や所属の健康組合などに十分に説明を聞かれてくる必要があるでしょう。

・医療傷害保険（旅行保険、駐在員保険、留学生保険など）

この方法の場合は、保険会社の指定病院であれば保険会社からの直接支払いのキャッシュレス方式となり、それ以外であればBと同じく本人立替となります。ただこの保険の場合、カバーする金額合計に上限がありますので十分な保険金額のものを掛けられる必要はあるでしょう。キャッシュレス方式のきく指定病院の数は、保険会社によってもまちまちですので、加入したところできちんとしたキャッシュレス病院リストを入手してくる必要はいうまでもないところと思います。AIUや東京海上がメジャーの様です。

JFC（JAL Family Club）に入会している方であれば、AIUの保険に一人年間約10万円で加入することができます。高いと思われるかもしれませんが、米国では最低でも保険料が月に80ドル程度かかることを考えると、この10万円で診療費もまかなえるのであればリーズナブルです。注意するべきは、この保険では、歯科、妊娠出産、予防診療関係はいっさいカバーされないところです。子連れの方などは難しいかもしれません。歯科は別途歯科専門保険（DeltaCareなど）に加入することでカバーすることは可能です。キャッシュレスで対応してもらえる病院が実はバークレー周辺にほとんどないため、サンフランシスコなどに通院する必要がありますが、日本語の話せる医師に確実にかかることができます。領収書を送ったり結構面倒な面はあります。

・一般のアメリカ流健康保険

こちらでアメリカ一般の健康保険を購入する方法もあります。まずは、Tang Centerのカウンセラーに相談するのが良いかと思います。また、私費学生で子供がいる場合には、代表的なものをいくつか紹介していきます。アメリカの保険に加入する場合は、薬を含めてどの程度まで保険でカバーされるのか、また、頻繁にかかる可能性のあるドクターがその保険を受け付けているかどうか、要確認です。

Blue Cross & Blue Shield

全米最大の保険ネットワーク機構。PPOタイプ、HMOタイプを含め非常に多岐にわたるPlanがあります。（Class of 2007石綿 赤ちゃん連れは、Blue CrossのBC Life&Health Right Plan PPO 40 with Generic Prescription Drug Coverageに加入しています。月々の保険料は妻と娘あわせて約150ドル。予防接種や薬などもカバーされています。Deductibleもなし。SFのDr. Fukudaにおいて1回で4本の予防接種を娘に受けさせて、1回トータル約500ドル、ドクターから請求されました。このうち保険でカバーされたのは350ドルくらい、150ドル程度を負担しました。加入方法は、Blue Crossのサイトで必要事項を記入してapply。その後、電話を受けて2，3質問されました。）

Kaiser Health Plan

イーストベイでは2番目に大きいオークランドのカイザー病院が発行するHMOタイプの保険。学生本人はなぜか入れないのだが、家族は加入でき、妊娠が分かった後でも入れてくれるので該当する人には大変便利。受診はすべてKaiser病院で受ける。特に日本語の必要のない場合、万一に備えるためだけの場合にはよいでしょう。

Alameda Alliance Family Care

HMO。低収入者向けのPlan。Monthly Premiumが10ドルから50ドルと非常に安い。さらに、10ドルのCopayのみの支払いで受診料もほぼ無料。ただし、ドクターはAlameda Countyに限られる可能性があるので要確認。

Alameda Alliance Healthy Kids Program

HMO。低収入者の子供向けのPlan。Monthly Premiumは8ドル～。私費、子供持ちの方にお奨め。

Kaiser Permanente Child Health Plan

HMO。低収入者の子供向けのPlan。Monthly Premiumは8ドル～。私費、子供持ちの方にお奨め。

Healthy Families for Children

HMO。州から援助のでているPlan。子供のみ。低収入者が対象。Monthly Premiumが非常に安い。Copayはたったの5ドル。受診料はほぼ無料。

Medi-Cal

HMO。低収入者向けの保険。上記のHealthy Familyの対象者より

もさらに低所得の人が対象。留学生の家族のように、US Citizen もしくはPermanent Residentでない場合は、Emergencyおよび Pregnancyのみがカバーされる（したがって通常の病気等の保険は別途加入が必要）。

詳細は以下に問い合わせしてください。

North County Multi-Service Center

2000 San Pablo Ave, Oakland

510-891-0700

Prudential Health Plan

PPOタイプで最近よく宣伝している。

c. その他

WIC

妊娠している女性や幼児がいる母、および幼児に対する栄養補助プログラム。低所得者向け。幼児がいる私費学生にお勧め。WIC Checkという配給チケットがもらえ、牛乳、卵、チーズ、シリアル、豆、ジュース、等を無料でスーパーにて入手できる。また、子供の予防接種や医療保険の相談等にも乗ってくれます。詳しくは、以下に問い合わせしてください。

City Of Berkeley Health Department Clinic WIC Office

830 University Avenue, Berkeley

510-981-5360

http://www.wicworks.ca.gov/default.asp

<保険用語>

- Copay(Co-payment): 受診時にまずドクターに支払う費用のこと。最終的な受診費用総額からは差し引かれます。
- Coverage: 保険会社が負担する割合。
- Coinsurance: 保険会社の負担分
- Deductible: 保険料の免責。Deductible 1000ドルであれば、医療費が1000ドルに達するまでは保険の適用はなく、すべて自費払い。
- Lifetime Maximum: 保険会社から支払われる生涯での最大の保険負担額。
- Monthly Premium: 月々の保険料

9. コンピューター

Haasでは電子メールのやりとり、宿題のレポート作成その他でパソコンは必需品です。当然学校にもかなり充実したコンピューター・ラボがあり、MBAの学生の利用もできるのですが（しかも、09年になり、印刷代も無料となった）、台数や利用時間などに制限があり、宿題など夜の作業も多いため、個人でのパソコン持参を学校側も必須としています。また、コースによっては、授業中にパソコンを用いてシュミレーションを行ったりするケースもあるので、学校指定のスペックを見た上で、個人の好みに応じたパソコンを購入しておきましょう。

ここでは新2年生の状況を交えながら、どんな事を踏まえてコンピューターを用意したら良いのかについて説明します。むろん私たちが購入した時期と現在の状況にすでにタイムラグが生じている事もありますので、この情報自体が多少古くなっているかも知れません。コンピューターに詳しい人等にもアドバイスを受けながら検討してください。

1)ノートパソコンが事実上必須です

学校生活では、グループミーティングなどはほとんどパソコンを使いながら行われており、必然的にノート型が**必須**です。（授業中にパソコン持参でシミュレーションゲームなども行ったり、テストに持ち込める場合もあり）。またHaasの教室、図書館、UCBメインライブラリーでは、パソコン用電源も各座席ごとに用意されていますし、無線LANはキャンパス内に張り巡らされていますのでいつでもメールやウェブの使用が可能です。

次のポイントはスペックそのものですが、毎日持ち歩きますので、全体のサイズが小さいことは大きなメリットです。また自宅での作業用にデスクトップ型のを用意しておくと、大画面での作業ができて便利かもしれません（ノートパソコンにディスプレイをつなぐというテクニックもあります）。

最新のパソコンでは問題ないですが、無線LAN機能は必須といえます。古いパソコンでもカードなどでも対応できますが、無線LAN内蔵のものをお勧めします。

またチームによりますが、ミーティングなどをカフェなどでやる場合があります。場合によっては電源がなかったりもするので、バッテリー駆動時間が長いものがあると便利です。

2）日本で買うか、アメリカで買うか

皆さんの中にはアメリカで買った方が安いとお考えの方もいらっしゃるかもしれませんが、一概にはそうともいえません。

アメリカでのコンピュータの価格は、コンピュータメーカ直販のサイトなどで、大体の相場がわかりますので、事前に見ておくといいでしょう。（ただし、学校の前のユニバーシティホール地下のPCセンターでは、学割でeBayよりも200ドル程度安く変えます。）

もう一つのオプションとして、eBayなどのオークションサイトでビッドするという手もあります。

日本で買われる人は米国にそのコンピューターを輸送するコスト、リスクを計算に入れておいた方が良いでしょう。一般的にいって、輸送会社は外傷がない場合は弁償しませんし、輸送価格は大変高いといえます。ノートパソコンであれば、手荷物として渡米の飛行機に持ち込めるので、その点は楽です。

価格以外で気になるのがサポートの問題です。アメリカでサポートが受けられるコンピューターは、ほとんどのメーカーの場合、アメリカ国内で販売されたものに限られているのが通常です。（つまり、日本で買ったThinkPadがアメリカで故障しても、アメリカのIBMでは保証の範囲で修理・交換してもらえない。ちなみに、アメリカで買ったものでも無償で修理してもらえる範囲は非常に限られていて、初期故障以外は有償となるのが普通です。日本のメーカー保証にあたる無償サービスは、販売店が別途のサービスとして販売しています。）従って、日本から買って来る場合、十分に日本で不具合がないことを確認してから、アメリカへ持ち込むべきでしょう。Panasonicや東芝の一部機種には日本で購入したものにも北米での1年間の保障をつけられるものもあります。また、Dellでは、世界中どこでも補修サービスを受けられるオプションを販売していますが（期間は1年～3年と選択できる）、決して安価なサービスではない為、良く検討されると良いでしょう。

最後にPCユーザーで特に問題となっていたのは、英語環境と日本語環境のどちらを使うかということですが、WindowsXP以降ほとんど問題がないといっても問題がありません。日本語Windows上に英語版ソフトも駆動しますし、英語版ソフトでも日本語入力が可能です。また、Vista以降は、そもそも日本語、英語で特別なソフトインストールが不要のため（言語パッケージのみ追加すればよいが、追加でのソフト購入は不要）、基本言語を英語に設定し、日本語を追加しておけばよいでしょう。（パワーポイントやエクセル、ワードなどで、言語によって若干のアラインメントの差が発生する可能性があり、また、授業等では原則メニュータブもすべて英語という前提で進められる為、基本言語は英語にしておくと楽でしょう。）

3）機種の選択

a. OSの選択

Windows9x(Windows Me含む)はやはり何かとトラブルが多いです。これから購入するならば、Windows XPもしくはVistaがインストールされているものを選択してください。ちなみに、現在Haasのコンピュータラボで使われているOSはすべてWindows Vistaです。

※ Windows vs. Macintosh: はるか昔から続いているこの争いも、こと学校でのサポートという意味ではWindowsに軍配が上がります。まず80%以上の学生はWindowsを使っている上に、コンピュータラボにあるPCはすべてWindowsです。HCS（Haas Computing Service）のサポート体制や校舎内の無線LANの設定などもWindowsマシンを前提にして考えられています。コンピュータの扱いに不慣れな人、面倒な設定作業をしたくない人は迷わずWindowsを選ぶべきです。

ただ、現役生の中にもMacを愛して止まない人がかなり多くいます。ベイエリアと言う土地柄、さらに最近のiPod、iPhone人気もあって、Macのシェアは割りと高いですし、Macユーザーのためのクラブなども存在することから、クラスメートやクラブからのサポートも受けられるでしょう。

b. コンピューター本体

現在発売されているものであればまず問題がありません。

ただし、新OSであるVistaの場合、メモリが少ないと極端に動きが遅くなるので、メモリやハードディスクは十分に積んでおくことをお勧めします。

総額でPCならば1,000～3,000ドル程度、卒業生等からの中古にすればプリンターを含めた値段で500～1,500ドル前後が平均的な予算です。

※コンピュータのスペックに関して: とりあえず最低限のスペックでもメールとワープロソフトさえ走ればいいという人もいますが、学校側も最低スペックを指定しており、そちらを参照すれば良いでしょう。MBA学生は総じて時間に追われる生活が続きますので、性能が低いパソコンのために作業が遅延すると泣きたくなります。2年以上前に入手したものであれば購入を検討することをお勧めします。

また、OSさえ入れておけば（08年の場合、XPならXP Professional以上、VistaならHome Premium以上）、Officeパッケージとウィルス対策ソフト（Symantec社製）は無償で学校側がインストールしてくれます。但し、原則1 人1台までとなっており、また、学校から配布された資料では、米国で購入したパソコンに限ること、となっています。（これは恐らく、学校側がマイクロソフトと交わしているライセンス契約上によるものと思われます。）ただ、実際には海外から持ち込んだパソコンにそのままインストールしてもらったケースも周りにあり、学校側も特に厳しくは管理していないようです。

なお、パソコン購入後、特にOfficeパッケージがない場合、基本的にはメールとインターネットでの使用がメインとなってしまう為、ワード、エクセル、パワーポイント等の資料作成ができず不便に思われるかもしれません。そういう場合は、無償で使えるOpenOfficeのダウンロードをお勧めします。（http://www.openoffice.org/）既にマイクロソフトのOfficeとの互換性は保証されており（若干、アラインメントに差がでる可能性はありますが）、ユーザーインターフェースも相当に改善されていることから、MS Officeと遜色なく使用できます。実際、例えばSun Microsystemsなどでは社内外でOpenOfficeのみが使われているようで、ユーザー層も相当に拡大しています。（Javaをダウンロードすると、たいていOpenOfficeのダウンロードを尋ねられると思いますが。）

c. プリンター

通常の使用にはインクジェット式のもので十分ですが、見栄えはレーザーの方が優れています。特に就職のレジュメなどある程度見た目の良いものを作る場合には、アメリカ人学生は必ずレーザーを使用しているようです。印刷のスピードなど機能によって差はありますが、大まかな値段は、インクジェットが50ドル前後から、レーザーは300ドル前後からあります。たとえば以下のようなショップで探してみてください。

Office Depot

Gilman と San Pablo の角を海側に入って右側

Office Max

3839 Emery St., Emeryville, 652-1140

レーザープリンターにもいくつかのランクがあり、通常の文書のプリントアウトのみであれば600DPI（ドット・パー・インチ：プリントの解像度の細かさの指標）程度のものを、グラフィックを駆使したプリントをされたい方は1200DPI 程度のものをお勧めしておきます。こちらで販売されているHPのレーザープリンタは価格も安く($200～$400)、日本語も問題なく印刷できるのでお買い得です。また、インクジェット式のカラープリンターで100ドル前後のものもあります。HP（Hewlet Packard）や、Epson、Canonなどのプリンタが人気があるようです。またスキャナー、FAXが一体となったオール・イン・ワンタイプのものも価格が手ごろになってきており、こちらもお勧めです。

なお、日本から持ち込む場合、トナーなどの消耗品がこちらで購入できるかどうかメーカーなどに事前確認が必要です。HP製のものでも昨年度より日本用インクカートリッジは米国用と異なる為、日本製HPプリンターには日本用インクカートリッジを使用する必要があります。日本の多くのオンラインショップ・HPオンラインも同様に国外への販売は基本的に取り扱っていないので、あらかじめ多めに持ってきておくことをお勧めいたします。万が一なくなった場合には、SanJoseのミツワの横にあるPCショップに注文することも可能です。キヤノンやエプソンの一部機種では消耗品のスペックが同じなようです。逆に、こちらでプリンタを購入される方は、購入時に日本語が印刷できるかを確認されることをおすすめします。

日本語が印刷できるかどうかは、プリンタについてくるプリンタドライバが日本語対応しているかどうかに依存します。（i.e. ドライバのプログラムによって制御されているので、ユーザーがあとからフォントをインストールすることは不可能）たとえば同じHPのDeskJetシリーズなどでも、日本語に対応していないものがあるので、よく調べてから買いましょう。

e. ネットワーク

HAASでは、学校から学生への連絡事項はE-mailを通じて行われます。このため、学生はほぼ毎日自分のE-mailチェックをする事が必須で、これには学校内のComputer Center内のコンピュータを使うか、自宅からアクセスするか、あるいはキャンパス内で自分のPCに接続された無線LANを使うといういずれかの方法が必要になります。現MBA生（日本人に限らず）の実態を見ると、ほとんど全員が自宅からのブロードバンド通信環境を整えています。

ここ数年はより通信速度の速いDSLもしくはケーブルがアナログ電話回線に代わって主流になりつつあります。バークレー近辺では、AT&TのYahoo!DSLとComcast(ケーブルTV)などがサービスを行っています。DSLサービスあるいはケーブルインターネットを利用する場合は、コンピュータが通常のLANポートもしくはLANカード（Ethernet 10M/100M）を備えていることが必要です。

なお、前述のとおり UC Berkeleyキャンパス内では無線LANのネットワークが整備されているので、無線LAN対応（LANカード、その他）にしておくと非常に便利です。（IEEE802.11b, g対応していれば十分）

f. ソフトウェア（英語版ソフト）

必須ソフトはWordとExcel、そしてE-mail用のソフトはOutlook2007です。また、グループでプレゼンテーションをする場合などは、PowerPointが活躍します。2008年8月より、Haasの学生はOffice2007（英語版）が無料でインストールできるようになりました（詳しくはオリエンテーションで説明があると思います）。日本語版をお持ちの方は日本語版でも問題ありませんが、英語版のほうがファイルの互換性を考えると無難です。またクラスメートに使い方を教えたり（教えてもらったり）するときにも便利です。

また、最近はGoogle Docs内で作業やプレゼンテーションの作成を完結するケースも増えてきています。この場合に備えて、優先順位は低いですが、不安な方はGoogle Docsに慣れておくこと、また、Google Accountの設定をいつでも”英語”に変更できるように確認しておくこと、をお勧めします。（日本語のままでも自分は読めますが、チームメンバーの設定を強制的に日本語にしてしまい、多大な迷惑をかけることがある）。

4）購入する場所

コンピューターを購入すると大体の場合、後からのグレードアップや万一の故障などの際の修理もそのお店に依頼する事になりますから、購入の店は慎重に決めたいところです。こちらの場合購入したい機種がその場で手にはいるという事はあまりなく、たいてい1、2週間待たされます。従って、あまり遅くなって学期が始まってから買いに走ると、学校に追われて大変になってしまう場合もありますから、十分にゆとりを持って選ぶようにしてください。昨年はHaasのサマーセッション参加者の間で、コンピューターを買う予定の人を集めてから、団体でCompUSA(2008年2月現在、倒産し消滅)に行って店頭販売価格よりも安くさせたようです。

参考にできる資料として、パソコンショップ内や、BancroftやShattuck Ave.沿いの新聞入れに入っている無料の隔週誌「Computer Current」の広告覧にかなり良い情報が載っていますので、手にいれてみてください。また、DellやHPなどの直販サイトやAmazon.comなどのサイト確認しておくといいでしょう。ご参考までにコンピューター関係の店をご紹介しておきます。

The Scholar's Workstation

2200 University Ave., Berkeley（University Hall地下）

http://www.tsw.berkeley.edu/

大学関係者はAcademic Discount で購入できるので、一般の店より安い。大学の運営する店なので信頼はおける。ただ、夏休みは閉まっていたり、学期はじめは混んでいて在庫の足りない事がある。この場合オーダーをスプリットして、あるものから順に買うのが得策。ただし、PCは年間に1台までしか買えない。また買えるメーカーはIBM、Apple、Dellなどに限られる。

ちなみに一般的なソフトであれば、学校のStudent Union内にあるBear Bytes にて、Academic Discount で購入することが可能です。ただし学生証が必要。

The Good Guys

5800 Christie Ave., Emeryville

510-547-6300

Audio関係を中心とした電器チェーン店。毎週日曜の新聞に大きなチラシが入る。品揃えは限られているが、値段は安い。

Circuit City（倒産後、会社清算が決定し、倒産セール実施中）

5795 Christie Ave., Emeryville

510-655-2200

Audio関係を中心とした電器チェーン店。ここも毎週日曜の新聞にチラシが入る。Low Price Guaranteedを唄い文句にしていて、他店よりもほんの少し安い。

※ なお、Circuit City、The Good Guys等で気をつけなくてはならないことが、「最低価格保証」です。これは顧客が買った物と全く同じ商品が、買ってから一ヶ月以内に同店、若しくは他店で買った値段よりも安く売られていた場合にその差額プラス一定の金額を顧客に返却することを保証するといったものなのですが、絶対に信じてはいけません。勿論、本当に安いものを見つける事が出来れば返却するのでしょうが、現実的にはほとんどの場合見付ける事は出来ないのです。なぜならばメーカーが各流通毎に同様の商品にも拘わらず「P101－1」と「P101－c」といったように若干違う名前をつけているからです。

K Electronics (K-Denshi)

1581 Webster St., San Francisco

415-346-5964

http://www.kdenshi.com/

日本語ソフトの専門店。SFのジャパンセンター内にあります。既述のスイッチャー付きのPCは、ここで買えます。ただし、日本で購入するのに比べて、割高になるのは否めません。できれば、必要なソフトは日本で購入された方がいいでしょう。 このほか、少々遠いですがシリコンバレー近辺にはFry's Electronicsという大規模なコンピュータ専門スーパーやCentral Computerというやや玄人向けの店もあります。Fry'sは海外からシリコンバレーに出張しに来たビジネスマンが、空港からホテルに行く前に立ち寄る店、といわれるくらいの名物店です。こちらに滞在中に一度は足を運んでみてください。

Fry's Electronics

掘り出しものがかなりでます。またメモリーカードなども安く、まめにチェックしておくと、いいものが見つかるとおもいます。

340 Portage Ave., Palo Alto 又は1077 East Arques Avenue, Sunnyvale 又は550 E. Brokaw Road, San Jose

http://www.frys.com/

Central Computer

3777 Stevens Creek Boulevard, Santa Clara

408-248-5888

http://www.centralcomputer.com/

Apple Store

5664 Bay Street, Emeryville

510-658-8700

最近オープンしたアップルの直営店。Mac関連商品はすべて展示していて、直接触ってみたい、店員に詳しい話を聞きたいという人にお勧めです。

Computer Ware

1995 University Ave., Berkeley

510-649-2100

Mac専門店。スタンフォード近辺などベイエリアに数店展開しており、アフターサービス等には定評がある。店員の知識も豊富で相談にのってくれる。

5) 日本からの参考図書

もしWordやExcelなどが初めてなら、日本語で書かれたマニュアルがあると便利です。また、ある程度ならサンフランシスコ市内にある紀伊国屋でも揃っています（ただし、こちらで日本語の本を買うと、通常の1.5倍～2倍の価格になってしまうため、必要かな？と思う本については、送料を考えても日本から持参した方がお得かと思われます）。さらに、Excel についてはサマースクールから秋

季セメスターにかけて初心者に対する勉強会が開催されます。また、最近ではインターネットでマニュアル的なものを検索し学習することもできるので、必ずしも参考書は必要ないかもしれません。

6)ファイナンシャル計算機

コンピューターとは直接関係ありませんが、MBAの授業や試験では計算機の持ち込みが許されています。特にファイナンスの授業では、PV（Present Value）計算などを行えるファイナンシャル計算機が必要です。できれば授業が始まる前までに、基本操作を習得されると良いでしょう。クラスではHP-12C（約＄100）が標準として指定され、クラスの中でもこの機種を使った計算機能の解説が行われます。2008年夏のサマーワークショップ内で、ファイナンシャル計算機は必須で、ファイナンスの部分でHP-12Cの使い方を教えていました。これから購入するのであればHP-12C、あるいはその6倍のスピードで動作し普通の電卓にも使えるHP12c Platinumにすればまず間違いはないでしょう。AmazonかeBayを使えば、$80前後、或いはもっと安価で手に入れられる可能性があります。Costcoに置いてあれば一番安く買える、という情報を見ましたが、残念ながら最近はCostcoにはおかれていないようです。

また同じ機種でも日本で購入した場合、当然日本語のマニュアルが付いてきますので、日本での購入も一つの選択肢と言えます。

7)PDA(Personal Digital Assistant) 携帯

自分のスタイルに応じて必要かそうでないかを判断する必要がありますが、スケジュール管理、プッシュメール受信、携帯電話等のマルチ機能を移動中にも利用できることから、あると便利です。ただ、絶対に必要、というものではないので持っていない人は全く心配することはありません。また最近ではiPhoneやBlackberry、その他高機能携帯電話でも同様のことができるので、個人の好みに応じて決めれば良いと思います。

8)キャンパスでのコンピューター（インターネット）使用

コンピューターセンターなどHaas内のコンピューターは無料で利用することができます。プリンターに関しても、09年より使用が無料となったので、今まで以上に学生が利用しています。

自分のlap-topコンピューターを持ってくればHaasのLANやWireless Networkに接続することが可能です。HaasのNetworkには学校外からでもVPN経由accessすることが出来ます。詳しくはコンピューターセンターのスタッフに問い合わせてください。

V. キャンパスライフ

1. 授業スタート前

ここでは、8月より本プログラム開始前までの大学関連のアクティビティについて説明します。この時期慣れないせいもあり、どたばたすると思いますが、いろいろな意味で本プログラムの為の準備作業ということを忘れずこなしていければ、まず問題はないでしょう。

1) サマーワークショップ

8月初旬より、サマーワークショップと題して、約2週間にわたり、「コミュニケーション」及び「クウォント（Quantitative Method）」の授業が希望者に対して行われます。昨年度の場合、「クウォント」が月—金の毎日午前中（3時間）（のべ10日間）、「コミュニケーション」が月・水・金の午後（3時間）（のべ6日間）行われました。前者については、米国人学生も含めた新入生の約半分程度が参加していました。後者については、留学生が7割程度といったところで、特にアメリカ人の学生は、後半になるとスキップするケースが目立ちました

ワークショップについては、日本人学生を含め知り合いを早めに作るという意味で、参加することには意味があると思われますが、内容面について言えば、参加しなくてもその後不利になるということはないと思います。特にぎりぎりに渡米なさる方にとっては、生活のセットアップを重視されるのが得策という考え方もあるでしょう。

Class of 2010では、日本人学生5名のうち、「クウォント」、「コミュニケーション」とも4名ずつが参加しました。

<u>a. クウォント</u>

2008年夏の場合、数学4日間、ファイナンス3日間、アカウンティング3日間という構成でした。数学に関しては、中学レベル（！）の数学からはじまって、微分積分の基礎、確率論・統計学の基礎までをカバーします。ファイナンスは基礎概念、ファイナンシャル計算機の使い方等をひと通りカバーし、アカウンティングは日本でいう簿記3級程度の内容を米国基準で確認する程度です。

内容的には、理系の人は少なくとも数学の4日間はまず参加する必要はないのでしょう。文系の人にとっては、いい復習になるとも言えますが、人によって判断の分かれるところでしょう。（出席は義務ではなく、課題もないので、取りあえず参加してみて、つまらなければやめるという人が米国人学生には多いようでした）。一応、2008年秋学期の統計、ファイナンス、アカウンティングでは、このサマーの内容を完全に理解していることを前提に授業がスタートしました。が、仮に専門知識が無くても、授業開始後に勉強して追いつくことは全然可能ですので、自分の知識や状況に応じて、それぞれの課目部分だけ聴講し、残りの時間はセットアップに充てる手もあると思います。

<u>b. コミュニケーション</u>

昨年度は、小人数のグループに分かれて、新たなビジネスのプランを出し合って検討し、最後に各人がプレゼンテーション（スピーチ）を行うという構成でした。クウォントとは異なり、毎回簡単な宿題（メモの作成、プレゼンテーションの準備等）が課されます。

あまり海外生活の経験のない人にとっては、外国人と議論し、「度胸」を身に付けるいい機会になると思います。それに加えて、International Studentsの間のネットワークが広がるという見方も出来ます。なお、このコミュニケーションの授業は英語が喋れて当然と言う前提で進みます。インターナショナル学生用の英会話レッスンではないことを付け加えておきます。

尚、2009年は、十数年ぶりに講師が変更になるため、ここに書かれている内容や印象ではなくなる可能性があることを、補足致します。

コメント:

「Communicationでのチームに分かれてのラボは知合い作りに効果大のため、是非参加すべし。Quantitativeはまじめに予習、復習すればそれなりに効果はあると思うが(特に統計、偏微分等の数学に自信のない方)、統計も初心者でも秋からのコアからいきなり始めてもなんら問題はないと思います。私の場合、Workshopは単に講師が黒板に書いた数式をひたすらノートに写すだけで終わりました (因みに私は統計の初心者ではありませんでしたが)。」

「MBA Workshop は1）数学の復習、2）友人作りの点で大変効果的。できる限りとるべし(コミュニケーションは私についていえば意味が少なかった)。夏の講習ということで、宿題などは少なく、授業のスピードにさえついていければ良い(結構とばす)。講習中に生活準備に費やす時間が結構とれるので、到着は7月下旬でも遅すぎることはないと思う。あまり早く来て、アメリカでぶらぶらしているよりも日本で友人と残り少ない時間を楽しんだ方が良いのでは？」

「Workshopは参加する事に意義有り。友達ができます。内容は流す程度で、遊びに専念すべきと思います。」

「Workshopは友人を作るのにbest。但し、mathはあまり意味なし。Communicationは fall termのclassのprep.として良いと思う。」

「Communicationはスピーチの練習をするのですが、アメリカ人からちゃんとしたフィードバックがもらえるので非常に参考になりました。Mathは取らなかったのですが、Financeの授業の最初数回はこの授業を前提に行われたのでちょっと大変でした。とっても良かったかな、と思っています。」

「理系の自分に取っては、Mathは英語を聞いて慣れる目的以外全く意味無し。Financeは先生の教え方が上手く、非常に参考になった。Accountingは英文会計の用語に慣れる意味で良かった。就職活動がある人にとっては、10月後半のFall B開始直後はボストンキャリアフォーラムに行くなど忙しい時期なので、結果的にFinanceとAccountingの経験がない私には非常にありがたかった。Communicationは前半多国籍の人で議論が白熱したりして楽しかったが、後半人が減ったりして飽きてきた。」

「コスト・パフォーマンスという観点から考えると、必ずしも参加する必要はないかもしれません。この時期の授業に参加する一番の目的はあくまで友人づくりであり、新しい環境に飛び込むに当たり、同じ境遇のクラスメートと経験をシェアし、仲良くなる良いチャンスというわけです。その点から考えれば、夜の飲み会に顔を出してさえいれば、特にサマー・ワークショップを取る必要はないかもしれません。ただ、私自身は数学から10年以上離れていたこともあり、復習も兼ねて参加したQuantitativeの授業はそれなりに意味があったかな、と考えています。また、ファイナンスの授業も抜群に教え方がうまく、いいスタートを切るきっかけになったと思います。（但し、ファイナンスの講師は東海岸へ行ってしまったので、09年度は別の講師が担当する可能性があります。）コミュニケーションのクラスに関しては、個人的にはさほど苦労はしませんでしたが、あくまで友人作りや環境への順応という点で役立ったと考えています。」

2）オリエンテーション

秋学期の始業前の約一週間オリエンテーションがあり（O-Weekと呼びます）、学校の紹介のほか、レセプションパーティー、ロープスコース（グループで行う野外タスクフォース）、コンサート、ゴルフコンペ、メジャーリーグ観戦等の盛りだくさんのイベントが連日用意されていました。日程や、内容に関しては変更があると思われますので、大学から送られてくるパッケージでよく確認してください。

登録関係や一般的なカリキュラム説明もありますが、大半は一生懸命遊ぶのが目的です。初めて全学生が集まる場ということもあり、自己紹介など気軽に話しかけていきやすい雰囲気であることや、授業によってはプロジェクトのためのグループを組む必要があることから、積極的に行事に参加して多くの人と知り合いになることが大切だと思います。

オリエンテーションの直前の週末には、希望者に対しロープスコースやゴルフへ参加する機会があり、いろいろな人と仲良くなる良いチャンスですが、高所恐怖症の人はロープコースはちょっと控えられた方が良いかもしれません。ロープ一本で木に登り高いところから飛び降りたり、木から木へと細いロープを伝って歩いたり（もちろん命綱はありますが）と、かなりの運動が必要です。（もちろんその場で棄権も可能です。）一方、これで知り合った仲間を中心に輪が広がりました。そもそもがチームワークということを念頭に置いたグループ活動のため、グループ内の友達と1日かけて印象強く仲良くなれる良い機会です。

3）登録手続き・授業料支払

UCBの学生としての手続きがまず最初に必要となります。郵送されるパケット、オリエンテーション時に配付されるパケットをよく読んで、締め切りに注意し早めに終えられるとよいと思われます。

以下の二つは、自宅からインターネットに接続できればオンラインでの登録／更新が可能です。詳しくはUCB Office of Registrarのウェブページ（http://registrar.berkeley.edu:4202）を参照してください。

・Bear Facts（住所登録他）

Sproul Hall 2階などキャンパス内数ヶ所に設置されている端末で、自分の住所などの登録を行います。以後郵送されてくる書類などを確実に入手するために、住まいが決まり次第、登録内容を確認・更新されることをお勧めします。お手持ちのパソコンがインターネットにつながっていればウェブ上でも更新できます。なお、BearFactsでは、現時点での取得単位数、成績やGPAなども参照できるようになっています。

・Berkeley International Office への留学生登録

外国人留学生はI-House内にあるBerkeley International Office への登録が必要になります。同時に短いオリエンテーションを受けます。

・学生証・学費支払

学生証はSproul Hallのすぐ西側Cesar E. Chaves Student Centerで発行されます。（身分証明が必要）写真を撮り、その場で発行されます。学期が始まると長蛇の列ができますので、早めに取得することをお勧めします。尚、学生証は学費を支払わないと有効になりません。BillはBearFactsでオンラインで発行されます。学費はUniversity Hall1階のCashiers Officeでチェックで支払うか、BearFactsでオンラインで支払うこともできます。なお、Cesar E. Chaves Student Centerではバスが無料になるシールも貼ってもらうことになります。（学生証発行のあとしばらく経ってからようやく貼ってもらえました）

社費留学の人の場合、会社によって対応が分かれるようで、一旦個人で立て替えてから会社に請求するケースもあれば、学校の関連部門と調整し、直接会社に請求書を送ってもらう手続きも可能です。但し、後者の場合、学校の部署の動きは大変遅く、学期末ぎりぎりに請求書が会社に届くということも発生していますので、心配な方は、学校と良く調整されることをお勧めします。特に、AC Transitの無償乗車シールについては、会社から学校への支払い前に貰うことになるので、その点も含めて関係部署に確認されると良いでしょう。（学校からの請求書送付遅れが原因なので、シールを貰えない理由は何もない。）

4) Waiver Exam

Waiver Examは、必修科目の履修義務を免れたい人が受験するもので、各学期のはじめに実施されます。このテストに合格すると、その必修科目をとる必要はなくなりますが、決して卒業に必要な単位が減るわけではなく、代わりに選択科目をその分多くとることになります。Waiver exam に合格するメリットは、 十分に知識があるもしくは興味がない科目に代わって、自分のやりたい科目をとることができる点にあります。バックグラウンドのある人にとって必修科目のレベルは物足りない（ワークロードは重くても得るものが少ない）という声があることも事実であり、2年間の勉強を実りのあるものにしたいという人にとって、そのメリットは大きいといえるでしょう。

一方、必修科目に代わって取りたい科目がないという人にとっては、あまりメリットがないという意見もありました。特に1年目の秋学期の場合、必修科目を一緒にとることによって、他の学生と交流を深めることができますし、また得意科目をとっておく方が精神的にも楽だ、という考え方もあるでしょう。ただ、一応試験を受けてみて、そのあとで自分で判断すればよいわけで、時間があればとりあえず受けてみることをお勧めします。なお、受験に際しては事前の予約は必要なく、指定された時間と場所に行けば試験を受けられます。

参考までに、過去の試験内容は以下のとおりでした。しかし、実際の試験問題は、毎年かなり出題傾向や合格基準が異なるようですので、特に前年度と教授が変わった場合には、ホームページの試験情報を必ずチェックし、下記の情報よりはそちらを信じることをお勧めします。また、教授によっては、事前にメールで質問すると、ほぼ試験問題そのものの出題範囲を教えてもらえることもあるので、そこに絞って勉強しておくと良いと思います。

・財務会計(Financial Accounting)

計算問題が殆どですが、銀行・コンサルなどでいう財務分析の知識はあまり役立ちません。むしろ、基本的な取引の記帳法と、そ

れが損益や資産状況にどう影響するかを正確に理解していることが重要です。ご存知の通り、米国の会計制度は日本と差異がある為、リースや有価証券の取扱、税効果会計などについては前もってチェックする必要があるでしょう。

・統計(Statistics)

平均値の検定、t検定など各種検定と重回帰分析（dummy variablesを含む）に関する問題が中心となります。統計分析の結果（t値、相関係数など）を与えられ、それをどのように解釈するかが求められます。記述式で、5、6問出題されます。統計は内容が比較的簡単であるにもかかわらず、グループプロジェクトや宿題が多く時間を取られるため、バックグランドのある方はWaive受験をお勧めします。2008年の場合は、メモの持込不可の分だけ、実際の中間･期末試験よりも難しい問題が出題されたため、本当にWaiveされたい方は、よく試験範囲をチェックし準備されることをお勧めします。

・マクロ経済(Macro Economics)

計算問題は一つもなく、経済に関する時事問題についてコメントするというものでした。勉強方法としては、入門レベルの教科書で基本的なモデル（長期成長モデル、IS-LM

LM、総需要／総供給）の復習をした上で、フィナンシャル・タイムス等の雑誌・新聞を読んでそれらモデルが実際にどのように当てはまるかを考えておくのがよいと思われます。2009年春の試験では、初めてマークシートが導入され、20人程度受験したものの、誰も合格しなかったようです。

・オペレーション(Operations)

段取り換えやボトルネック工程等の生産技術/管理手法の理解に基づく、キャパシティや製造工程の設計、待ち行列問題、需要変動予測の方法と実際の供給をマッチさせる問題、あたりの試験範囲から、計5題程度出題され、その大部分が計算問題、一部論述でした。2009年春は教科書･ノート持込み可で、そもそもあまりWaiveする人がいない事から、図書館で教科書を借りて持ち込んで受けることができました。

5) 教科書購入

教科書は最初の学期は一覧が配られると思いますので、それに従い、ASUC(King Student UnionB1F)にある教科書コーナー で購入します。まともに新品を買うと合計$500～$700はします。ASUCの他、Bancroft沿いに中古の教科書を扱う店が何軒かありますので、ここで買うのもよいでしょう。また、Webで購入すると2割から中古なら5割程度は安くなります。

http://www.Campusi.com

http://www.ebay.com

http://www.amazon.com

また、Webで販売されている｢International Edition｣だと、通常の価格の半分程度で購入できて大変お得です。International Editionとは、米国以外の国で販売することを目的に作られているもので、本来であれば米国国内では販売できないようですが･･･。ソフトカバーであることを除けば、内容は通常版と全く同じです。

以下のサイトでは、複数のオンライン書店での価格比較が可能です。

http://www.chambal.com/

また、下記のサイトでは価格比較が可能な上、Email Price Alertという機能を使えば、こちらが指定した値段で売られた本が発見された瞬間にメールで教えてくれるので、便利です。教科書が発表されて直ぐに登録することで、非常に安価で手に入れられる可能性があります。

http://www.booksprice.com/

なお、教科書（特に中古）はすぐに売り切れてしまうので、早めに購入すると安心です。また、教科書はネットでの購入も便利です。ただし、安さにつられてついネットで注文したところ1ヶ月も届かず苦労したという話もあります。2年生から教科書を買うという最後の手段も残されています。実際のところ、教科書を読む時間はあまりなく、ケースを中心に予習、復習することがほとんどです。試験に際しても、ハンドアウトや練習問題のプリント類を中心に勉強するので、まったく使わないこともあります。

教科書以外で、授業で使うケース、雑誌記事、論文などは多くが

オンラインで授業ごとに配布されます。

bSpace (https://bspace.berkeley.edu/)

Study.Net（www.study.net/default.asp）

なお、Study.Netに関しては、授業で使用するハーバード･ビジネス・スクールのケースをこちらからダウンロードするになりますが、ログインはbSpaceにログインした状態からそのまま行います。（直接Study.Netへログインしないこと。）09年度には修正されているかもしれませんが、過去に何度か、Study.Netのケースをダウンロードするに当たり、ケースの新規購入が必要な旨のアラートが画面に出て、実際にクレジットカードで支払ったケースが多数出ています。が、実際にはこれらケースは授業料に含まれているため、改めて学生個人が支払う必要はありません。（従い、購入した人は、別途払い戻しの手続き等の面倒くさい作業が発生する。）また、いちいちプリントアウトするのが面倒な人は、TEXTPAKとして一式ハードコピーを購入することも可能です。（但し、授業によっては、追加マテリアルが授業進行に応じてStudy.Netにアップロードされるケースもあり、必ずしもTEXTPAKですべてのマテリアルがハードコピーでカバーされるわけではなく、注意が必要です。）

2. 授業開始後

1)スケジュール

UCBはセメスター制を採用しており、秋学期は8月末から12月中旬まで、春学期は1月中旬から5月中旬までの期間となっています。但し、Haasでは02年から必修科目（コア科目）を中心に一部クォーター制的な要素も取り入れており、Fall-A、Fall-B、Spring-A、Spring-Bというそれぞれ約7週間の4つの学期に分けてコア科目を履修することになりました。(選択科目については殆どがセメスターのままで、約15週間で履修します。)各科目の学期を通しての履修スケジュールは、それぞれのコースシラバスに詳しく書いてあります。期末試験は、各学期の終わりに試験期間が設定されており、全ての講義が終了してからということになりますが、中間試験は、特に期間を設けず、授業と平行して行われます。（試験のない科目もありますし、中間と期末の両方の試験がある科目もあります。）

通常の授業は月曜日から木曜日に行われます。金曜日には、科目によってはdiscussion sectionが開かれます。Ph.Dの学生やMBAの2年生などがGSI (Graduate Student Instructor) として補講を行うもので、基本的には希望者のみが対象になります。 必要に応じて出席されるとよいでしょう。

2）クラス

a. コーホート制

Haas では、コーホート制を導入しています。 コーホートとはクラスのことで、1年生の最初の秋学期のみ240名前後の学生を4つの約60名のクラス（Blue, Gold, Oski & Axe）に分け、必修科目を決められたクラス単位で受講するというものです。コーホートは、人数のバランスはもとより、国籍、性別等のバランスを考慮して振り分けられます。多くの場合友人は同じコーホートの中から生まれるので早く溶け込みましょう。

b.クラスパーティシペーション

平均的な日本人学生にとっての、1つの大きな難関にクラスパーティシペーション(教室で発言すること。授業に出席するだけではありませんので、念のため)があります。 科目によってグレード（成績）の大きなウエイトを占めることもあります。大半の日本人学生にとって積極的に発言できない最大のポイントはやはり英語力のようですが、Haasの場合、多少へたでも教授も生徒も一生懸命聞いてくれますので、その点はあまり気にしなくても良いと思います。しかし、それ以前に他の学生の意見がよく聞き取れないために、話の展開についていけないこともあるようです。アメリカ社会や企業風土等に関する知識不足や予習不足、また、日本人特有の奥ゆかしい性格（？）等も影響しているようです。最初は聞き取りが難しいかもしれませんが、半年程度で次第に慣れてきますので心配いりません。通常、成績におけるパーティシペーションの判断基準は、決して発言の回数ではなく、あくまでも内容が中心だといわれています。ただ、実際に教授が一人一人の発言内容や回数を正確に覚えているとは思われないので、全体的な印象が決め手のようです。量より質が大切なのは確かですが、最初はアメリカ人でも的外れなコメントをガンガン発言する人が多いので、皆さんも臆することなくどんどん発言しましょう。発言する習慣さえ付けば、内容の改善は自然とついてきます。特に狙った発言をする必要はなく、自然に疑問に思ったことや抱いたコメントを伝えればよいのです。パーティシペーションのGradingについては、教授によっては、ネイティブに対しては厳しめ、インターナショナルに対しては甘めということもあるようです。また、黙っていると逆に教授

からcold call(突然の指名)されることもあるので、授業中はできるだけ積極的に発言するようにしましょう。

c.時間割

時間割はコーホートによって違いますが、御参考までにClass2009のFall-A、Fall-Bの時間割をご紹介します。前述の通り、金曜日のdiscussion sectionの出席は自由ですが、最初はとりあえず出てみて様子を伺う事をお勧めします。

Cohort Blue	Mon.	Tues.	Weds.	Thurs.	Fri.
8:00-8:30					
8:30-9:00					
9:00-9:30	MBA 200S &	MBA 201A &	MBA 200S &	MBA 201A &	
9:30-10:00	MBA 203	MBA 202	MBA 203	MBA 202	
10:00-10:30	Data and Dec &	Economics &	Data and Dec &	Economics &	201A
10:30-11:00	Finance	Accounting	Finance	Accounting	Discussion
11:00-11:30					
11:30-12:00					203
12:00-12:30					Discussion
12:30-1:00					
1:00-1:30					200S & 202
1:30-2:00					Discussion
2:00-2:30	MBA 205 &		MBA 205 &		
2:30-3:00	MBA 206		MBA 206		
3:00-3:30	OB &		OB &		
3:30-4:00	Marketing		Marketing		
4:00-4:30					
4:30-5:00	MBA 205L				
5:00-5:30	Leadership				
5:30-6:00	10/22-12/3				
6:00-6:30	4:30-7:30PM				
6:30-7:00	MBA200C				
7:00-7:30	Communication				
7:30-8:00	8/27-10/6				
8:00-8:30	6:00-9:00PM				
8:30-9:00					

Cohort Gold	Mon.	Tues.	Weds.	Thurs.	Fri.
8:00-8:30					
8:30-9:00					
9:00-9:30	MBA 205 &		MBA 205 &		
9:30-10:00	MBA 206		MBA 206		
10:00-10:30	OB &		OB &		203
10:30-11:00	Marketing		Marketing		Discussion
11:00-11:30					
11:30-12:00					201A
12:00-12:30					Discussion
12:30-1:00					
1:00-1:30					
1:30-2:00					
2:00-2:30	MBA 200S &	MBA 201A &	MBA 200S &	MBA 201A &	
2:30-3:00	MBA 203	MBA 202	MBA 203	MBA 202	200S & 202
3:00-3:30	Data and Dec &	Economics &	Data and Dec &	Economics &	Discussion
3:30-4:00	Finance	Accounting	Finance	Accounting	
4:00-4:30					
4:30-5:00					
5:00-5:30			MBA205L		
5:30-6:00			Leadership		
6:00-6:30			10/23-12/4		
6:30-7:00		MBA200C			
7:00-7:30		Communication			
7:30-8:00		8/28-10/9			
8:00-8:30					
8:30-9:00					

Cohort Oski	Mon.	Tues.	Weds.	Thurs.	Fri.
8:00-8:30					
8:30-9:00					
9:00-9:30		MBA 200S &		MBA 200S &	
9:30-10:00		MBA 203		MBA 203	
10:00-10:30		Data and Dec &		Data and Dec &	200S
10:30-11:00		Finance		Finance	Discussion
11:00-11:30	MBA 205L				
11:30-12:00	Leadership				202
12:00-12:30	10/22-12/3				Discussion
12:30-1:00					
1:00-1:30					201A & 203
1:30-2:00					Discussion
2:00-2:30	MBA 201A &	MBA 205 &	MBA 201A &	MBA 205 &	
2:30-3:00	MBA 202	MBA 206	MBA 202	MBA 206	
3:00-3:30	Economics &	OB &	Economics &	OB &	
3:30-4:00	Accounting	Marketing	Accounting	Marketing	
4:00-4:30					
4:30-5:00					
5:00-5:30					
5:30-6:00					
6:00-6:30					
6:30-7:00			MBA 200C		
7:00-7:30			Communication		
7:30-8:00			8/29-10/10		
8:00-8:30					
8:30-9:00					

Cohort Axe	Mon.	Tues.	Weds.	Thurs.	Fri.
8:00-8:30					
8:30-9:00					
9:00-9:30	MBA 201A &	MBA 205 &	MBA 201A &	MBA 205 &	
9:30-10:00	MBA 202	MBA 206	MBA 202	MBA 206	
10:00-10:30	Economics &	OB &	Economics &	OB &	202
10:30-11:00	Accounting	Marketing	Accounting	Marketing	Discussion
11:00-11:30			MBA 205L		
11:30-12:00			Leadership		200S
12:00-12:30			10/23-12/4		Discussion
12:30-1:00					
1:00-1:30					
1:30-2:00					
2:00-2:30		MBA 200S &		MBA 200S &	
2:30-3:00		MBA 203		MBA 203	201A & 203
3:00-3:30		Data and Dec &		Data and Dec &	Discussion
3:30-4:00		Finance		Finance	
4:00-4:30					
4:30-5:00					
5:00-5:30					
5:30-6:00					
6:00-6:30					
6:30-7:00				MBA 200C	
7:00-7:30				Communication	
7:30-8:00				8/30-10/11	
8:00-8:30					
8:30-9:00					

3)グループプロジェクト

グループプロジェクトは日本人にはあまり馴染みのない学習形式であり、ミーティングに結構時間をとられる上、学生同士の英語でのディスカッション自体最初はハードに感じられるかもしれません。然し、これは、成績の上でもそれなりのウエイトを占めますし、またそれ自体ビジネススクールで勉強する最も大きな経験の一つだといえます。グループプロジェクトは確かに大変ですが、アメリカ人や他の外国人の友人を作り、彼らの考え方を知る上で大変良い機会だと思います。複数のプロジェクトを同じグループでやる人もいれば、プロジェクトごとにメンバーを変える人もいます。要は自分の目的(国際交流、コミュニケーション能力の向上、知識の習得、学習の効率化等)にあったチームを選ぶことが重要だといえます。

また、上記のプロジェクトとは別に、科目によってはスタディーグループを組むことになります。(1年目のFall-A、Fall-Bのコア科目では4～5人のスタディーグループがあらかじめ決められています。)この場合はグループでのプレゼンテーション、ケース分析や宿題の提出等を課されることになります。ほとんどの科目でグループ単位での課題提出があります。

4)カリキュラム

a.卒業要件

HaasのMBAコースは、合計51単位以上の取得が卒業要件となっています。このうち、2008-9年度に関しては、コアコース（必修科目）は次の11科目、20単位となっています。

＜1年Fall-A必修科目＞

Statistics (MBA200S 2 Units)

Microeconomics (MBA201A 2 Units)

Organizational Behavior (MBA205 2 Units)

Communications (MBA200C 1 Unit)

＜1年Fall-B必修科目＞

Financial Accounting (MBA202A 2 Units)

Finance (MBA203 2 Units)

Marketing (MBA206 2 Units)

＜1年Spring-A必修科目＞

Macroeconomics (MBA201B 2 Units)

Operations Management (MBA204 2 Units)

＜1年Spring-B必修科目＞

Ethics (MBA207 1 Unit)

Strategy (MBA299 2 Units)

Leadership（MBA205L 1 Units）

必修科目の履修義務は、Waiver Exam (前述)に合格することにより免除され、代わりに選択科目をとることになります。残りの必要単位は、選択科目により取得することになります。大半の選択科目に関しては、関連する基礎科目（必修科目が中心）を履修済みであることが前提とされていますが、実際の運用はさほど厳格ではないようです。また、卒業要件として、成績がGPA3.0（平均B）以上であることが要求されます。Haas では成績は原則として、A=4、B=3、C=2、D=1、F=0で付けられることから、平均してB以上をとっている必要があるわけです（＋/－のノッチもあります）。必修科目でD以下をとった場合には、その科目の再履修が義務付けられています。必修科目の場合は、原則的に相対評価でA:15%、A−:20%、B+:30%、B:20%、B− or Below:15%の割合で成績が付きます。一方で、選択科目の方の成績は完全な相対評価ではないので、下位何%は必ずCとかFといった決まりはなく、教授により、甘い、厳しいの差があるようです。

b. シラバス

各科目の概要、講義、宿題提出のスケジュール、使用するテキスト、成績の採点基準など重要事項については、講義の初日に配布されるCourse Syllabusに詳しく記述されています。 これにはしっかり目を通しましょう。

3. クラブ活動

HAASには20以上のクラブがあり、それぞれの学生が自分の興味のもとに、多くの場合複数のクラブに属して活動しています。活動の主な目的は、講演会などを行いその分野に関する知識を増やす、就職のための人脈形成、ネットワークを広げる、社会奉仕活動を行う、他の学生と交流する、などです。クラブ活動は、アメリカのビジネスを学ぶ良い機会であり、将来の仕事上で大変有益なネットワークづくりができます。また、アメリカで就職を考えられておられる方は、クラブ活動に参加し、何をしたかが問われるので大変重要です。多少英語ができない方でも、積極的に活動されることをおすすめします。また、Challenge for Charity（C4C）など地元の地域に貢献できる活動もあります。 詳しくは下記サイトを参照ください。

http://www.haas.berkeley.edu/MBA/community_01_01.html

では、数々あるクラブのうち、いくつかをご紹介しましょう。

1）MBAA

いわゆる生徒会のような組織で、大学と学生の橋渡しの役割を果たしている他、学生間の親睦を深めるべく種々の活動を行っています。具体的には学校側とのカリキュラムの交渉、就職活動に関する情報提供、各学生クラブへの財政的サポート、Consumption FunctionやBar of the Week（後述）の運営、そして入学に際してのオリエンテーションの運営などが挙げられます。なお、MBAAのメンバーは全員11月くらいに行われる選挙によって選出されます。

2）Entrepreneurs Association（EA）

スタートアップ企業にサマーインターンを派遣するPartners for Entrepreneurial(PEL)と学生がコンサルテイングを行うBusiness Solution Group等のクラブが合併して98年にできた比較的新しいクラブです。ベンチャー起業を目指す学生が多いバークレーのなかで今、最もホットなクラブで、全米の中でも最も進んでいるクラブの一つです。将来会社を作ろう、ベンチャーで一旗あげようというやる気のある学生が毎年50人から80人集まり、カリフォルニアを中心に、約600－700社とコンタクトして活動をしています。そのため活動は真剣そのものです。メンバーの多くはサマージョブをベンチャー企業で行い、その後も Entrepreneurshipクラスの研究テーマとしています。

またそれ以外にも、Lester Centerの講演会、ネットワークの会に主催します。月に1回学校で行われ、立食パーティを挟んでベイエリアのEntrepreneurと知り合いになる絶好の機会です。

このほか、日経新聞にも掲載されましたが、99年から賞金を懸けてビジネスプランを競い合うBusiness Plan Competitionがはじまり、全米のベンチャーキャピタルの注目を集めています。昨年は、3名の日本人が参加しています。80チーム以上が応募し、65チームが1次審査を通過、その後1ヶ月後に8チームがファイナルラウンドにショートリストされます。優勝チームには賞金500万円相当が与えられます。ベンチャーキャピタリストによるビジネスプラン作成のための各種ワークショップ、企業家によるメンタープログラム等も用意されています。

3）Pacific Rim Club

環太平洋地域に関心のある学生の集まりです。Pac Rimは学生

間の親睦に重きを置くクラブです。主な活動内容としては、毎年主催しているアジア旅行やファームナイト（企業リクルーターとの懇談会）の他、教授陣や外部の講師を招いての公演会、地元の企業訪問、各種ファンドレイジング活動などが挙げられます。

※Asia Business Conference

Haasのクラブ活動の大きな特徴はBusiness Plan Competitionを始め、学生がイニシアティブを取り、企画を次々とオーガナイズすることにあります。2001年から開催されているAsia Business Conferenceもそのひとつです。2007年より、Pac Rim Clubと実質一体運営されていますが、あくまでボランティア活動の一環という位置づけです。

社長・CEOレベルを基調講演スピーカーとして招き、またアジア方面で活躍する著名なベンチャーキャピタリスト、スタートアップ起業家などをパネリストに迎えて、複数のセッションに分かれてアジアビジネスの将来像や問題点について積極的な討論が行われます。過去には、パネル・ディスカッション以外にもプロダクトフェアを行い、アジアで話題になっている様々な商品やテクノロジーを直接体験してもらうコーナーも準備しました。例年、地元のビジネスマンから他大学の学生まで、総勢400人近く集めて大きな反響を呼んでいます。イベントの詳細は以下のURLから確認できます。

http://www.berkeleyabc.org/index.html

4）Haas Technology Club

Haasにはシリコンバレーやシアトルに近いことから、ハイテク企業やスタートアップを目指す学生が多数集まってきます。また大学のプログラムでもTechnology Managementは大きな柱のひとつでもあります。企業側からのHaasへの関心も高く、Haasでリクルーティングをしているシリコンバレー/シアトルのハイテク企業の例としては、Intel, HP, Cisco, Adobe, Siebel, eBay, Google, Yahoo, Intuit, Apple, Sun, BEA, Applied Materials, VMWare, Salesforce.com, Facebook, Microsoft, Amazon.com, Qualcomm, NetApp, Akamai, AT&T, BTなど（その他多数）があります。Haas Technology Clubは、こうした企業とのコネクションを作るための良い機会を提供してくれるので、シリコンバレーの名立たる企業で働きたい人にはもってこいのクラブです。活動内容には、企業から卒業生や人事を招待してネットワーキングの場を提供するFirm Night、ハイテク企業のマネジメントによるスピーカーシリーズ、企業訪問イベントTech Trekなどがあります。

5）Real Estate Club

企業との懇談会（これは就職目的です）や、卒業生とのパーティ、ゴルフ大会、実業界のゲストを呼んでの講演会などを主催するほか、スタンフォード大学などとの競争提案などの窓口もしています。全米有数の不動産のプログラム・教授陣を背景として、たくさんの積極的で優秀な学生が参加しており、卒業生とのネットワークも非常に良くできています。

6）Challenge for Charity (C4C)

クラブ活動というより、全校あげてのボランティア活動で、毎年地域の障害者のためのSpecial Olympicという競技会に向けたファンドレイジングの額を、西海岸の6つのビジネススクールで競うものです。ボランティア活動というと我々日本人にはなかなかなじみのないものではありますが、実際の活動は、アメリカ的な明るいノリのイベント＋αといったものです。具体的な内容としては学生によるオークション、ゴルフトーナメント、スキー旅行、6学対抗競技大会などで、いずれも売上、入場料などを Special Olympicに寄付します。活動に参加するには、イベントの企画スタッフになる、イベント活動の手伝いをする、イベントに参加して楽しむ、といった具合に、各自の負担と興味によって色々な方法があります。イベントへの参加は、勿論ご家族の方も歓迎されます。スタッフとして参加するのは、短期的に忙しくなることもありますが、メジャーなイベントのスタッフとして活動するのはなかなか楽しく、しかもアメリカ文化を学ぶ上でも興味深いものがあり、ぜひおすすめします。

7）その他の団体（一部）

週刊新聞を発行しているのは Haas Week。地元のコミュニティーに貢献するのは The East Bay Outreach Project のプログラムで The Young Entrepreneurs Club（高校生が会社を作る手助けを行う）などがあります。その他、Social VentureやNPOへの就職を希望する学生が多く集まるNet Impact、Consulting Club、Finance Club、Marketing Club、Women in Leadership などのクラブがあり、全員時間の許す限り参加をしています。

4. 他の学生との交流

1)Bar of the week

毎週木曜日どこかのバーが指定され、そこにHaasの学生が集まって皆で飲みます。これは Berkeley のキャンパス近くに限らず、サンフランシスコ、オークランド、アルバニー等の地域だったりします。またバーの種類も多種多様で、 Durant Hotel 内の Henry'sから、ダンスフロアに隣接したバーまで、地元のエンターテインメントを知るのにもいい機会となります。人数は平均60人程が来ますが、試験の後の Bar of the Weekなどは、100人以上が集まって大騒ぎになります。夜7時ごろから開始されて皆思い思いに参加し、バーが閉まるまで多くの学生がおしゃべりをして、飲んでいます。学期始まりの頃の情報交換の場として、また多くの学生と気楽に会話をできる場として、どんどん行かれることをおすすめします。また、自分の知り合いが来たときの為にローカルなバーを知っておくためにも便利です。

2)Consumption Function

月に一度程度金曜に行われるパーティーで、Bar of the Weekと異なりテーマ性があったりあるクラブが主催したりします。ビール、ワイン、サンドイッチ、チップスなどがふるまわれ、皆で集まって親睦を深めます。毎回100人近くが集まり9時頃まで続きます。教授やアドミッションのスタッフ等も参加し、時には Dean(学長)も顔を出します。夫婦や子連れでこのConsumption Functionに参加する学生も多く、奥様方にとっても良い会話の場となっています。週末の遊びの計画をここで立てることも多いので、情報収集にも最適です。

3)各種スポーツ

授業の合間や金曜日の午後等を利用して、サッカー、テニス、ゴルフ、スカッシュ、ランニング、ソフトボール、フリスビーを楽しんでいます。新学期が始まると、E-mailで各種スポーツクラブの案内が流れます。定期的な練習会だけでなく、クラブによっては他校とのトーナメントやUCバークレー内の(学部生含む)他チームとのIntramural(学内選抜試合)などにも積極的に参加しています。

また、スポーツ･センター(RSF)等学生証を提示すればタオルを借りて無料で利用できるジムやプール(屋外温水プールあり)も非常に充実しています。学生の特権として、どんどん活用してください。

MBAは勉強だけでなく体調管理も重要な要素です。どんどんスポーツクラブに参加して、1年目を乗り切る体力を養いましょう。

5. 自費留学の方の就職活動について

何といっても企業派遣の方と、自費留学の方の大きな違いは就職活動です。MBAに入学するとすぐにサマーインターンシップの準備が始まります。これは、1年生終了後の夏休みに行う仕事です。目的は、卒業後のフル・タイム・ポジションに対するトライアルとして、また、キャリアを積む、学費を稼ぐことなどです。主に自費留学生の方が中心ですが、企業派遣の方の中にも参加される方がいます。

1)スケジュール

就職活動のスケジュールは人それぞれであるうえ、その年の景気や国際情勢、希望業種によっても左右されますが、例年のおおまかなイメージ(アクションの開始時期)を参考に挙げておきます。

秋学期初め; キャリアセンターのオリエンテーション
レジュメ･カバーレター作成
名刺作成
企業のオンキャンパス プレゼン開始

9月ごろ; ボストンキャリアフォーラム参加申し込み
(日本人向け)、
インタビュー開始(日本の投資銀行部門)

10～11月; ボストンキャリアフォーラム
レセプション、インタビュー開始(コンサル、
外資系メーカーなど)
同時期に米国企業のオンキャンパスプレゼンテーションが開始(翌年1月くらいまで続く)

1月 ; 米国企業のオンキャンパスでの採用活動(面接)がスタート

3月以降 ; 米国企業によるポスティングが活発化

2)企業側の採用スタンス

企業側の採用スタンスに関しても、型にはまったパターンはなく、キャンパスに訪問してon-campus interviewを行う企業から、resume book（キャリアセンターが発行して企業の人事部に配布する)を見て直接本人にコンタクトしてくる企業、「Firm Night」と呼ばれるハース学生クラブ主催のレセプションに参加する企業などさまざまです。日本人MBAを専門に採用する在日外資系企業（主にコンサル・金融系など）は、サンフランシスコ市内のホテルなどでレセプションを行いながら面接も兼ねる、といった採用パターンをとります。

3)準備活動

（渡米前の準備活動については　Ⅲ出発準備編参照）

キャリアセンターから提供されるサービスはアメリカ人向けに設計されているものが多いのですが、いくつかのものはあとで役に立ちます。入学早々に説明会がありますのでこれに出席して、1年間のスケジュールを確認してください。レジュメの添削サービスや、自己適性診断、模擬面接サービスなど、盛り沢山のメニューから、自分が必要と思う行事に参加しましょう。ここでティップを一つ。こういった行事は、学期中に何回か行われますが、比較的早い時期に参加する事をオススメします。レジュメも時間のある8月中に書いてしまうのが良いかもしれません。10月初旬の中間試験以降は、グループプロジェクトで忙殺され、なかなか就職関連の行事に参加する時間が持てなくなりますので。

また、E-mailで名刺作成の案内が流れると思いますので名刺は作っておきましょう。 名刺は、UC Berkeleyの施設で作成できますが、恐ろしく間違いが多く手戻りが発生します。2週間-1ヶ月程度作成にかかることを覚悟し、早めに準備した方が良いです。あるいは、他の業者を探しているクラスメートもいました。

アメリカでの就職活動では Cover Letter と Resume が鍵ですから、こちらも早めに作っておきましょう。 この二つでいかに自分を売り込むかが勝負です。ですから、なるべく多くの人に原稿をいろんな角度から添削してもらって、良いものを作るべきです。クラスメート、キャリアアドバイザー、教授、コミュニケーションのインストラクターなどにお願いするとよいでしょう。

4) 情報収集

就職活動は、情報戦です。自分の持っている人間関係、HCC, クラスメート、2年生、クラブ、図書館、インターネット、出身大学のOBなど、フルに活用して下さい。確かに一連の就職活動にはかなり時間をとられ、多くの学生が数科目授業を余計にとっている感じだと述べています。忙しいのは事実ですが、様々な業界のプロや他のビジネススクールの同級生と意見交換する機会が持て、とても勉強になるのも事実です。また、自分の市場価値を客観的に見極める良い機会ともいえるでしょう。

a. HCC(Haas Career Center)

定期的にバークレーの学生を採用する多くの会社は on campus interview と称して HCCの部屋で面接をしばしば行っています。On Campus Interview の日程は毎週月曜日に日程表が発行されます。Career Adviser が数人常時していて、仕事の探し方をアドバイス してくれます。頻繁にAdviserを訪問して顔見知りになると、なにかいい情報が入った時にすぐに教えてくれます。彼らは日頃から企業とのコンタクト多く持っていますから。学生の間でのHCCの評価はまちまちです。日本人学生の中では留学生に対する情報が少ない、キャンパスインタビューがほとんど役にたたない、東海岸の情報が少ないという声もしばしば聞かれます。確かにバークレーのキャリアオフィスは他校と比べて、歴史的に弱かった背景があります。しかしこれは自分の目指す業界、HCCの利用の仕方によっても大きく変わってくるはずなので、積極的に活用することをお勧めします。特に、シリコンバレー近郊に位置していることから、インターネット、ハイテク企業、スタートアップ企業の情報は満ち溢れていますし、その他業界に関しても、新たにエキスパートを採用するなどして強化しており、昨今は随分と競争力をもっているという話も耳にします。そもそも就職関連の分野は、Haasが改革の中でもっとも力をいれている分野なので、かなり改善されつつあります。HCCのスタッフは増強され、卒業生のサポートも始まっています。HCCのスタッフも企業訪問をして仕事を集める努力をしています。

また、社費留学の人にとっても、将来的に転職を考えている場合、特に米国企業との面接やレジュメ・フォーマットなどに関して多々アドバイスを受けることができるので、できる範囲で積極的に利用することをお勧めします。アドバイザとのインタビューでは、個々

人の状況に応じた質問を行うこともできますし、例えば模擬インタビューをしてフィードバックを貰うことなども可能です。アドバイザの中には、過去に企業の人事部で実際に面接に携わっていた非常に優秀な人もいるので、面接時に注意すべきポイントやレジュメでのアピールの仕方などについてもアドバイスを受けることができ、有益だと思います。

b. 卒業生

日本と同じように多くの卒業生が愛校心を持っています。ですから、彼らに頼ることも一つの有効的な方法です。MBAAでは、卒業生が面倒をみてくれる Mentor Program を行っていますので参加するとよいでしょう。また、Alumni Centerでは、定期的にAlumni Partyを開催しており、そこでの出会いが就職先を決めることもあるようです。学校のデータベースで検索して自分に必要な卒業生にコンタクトすることも可能です。

c. クラブ・講演会

MBAのクラブは基本的に就職活動のためのクラブです。自分の将来行きたいフィールドのクラブに在籍しておいた方がよいと思います。特に不動産関係の Real Estate Club やベンチャー関連のPELには、毎年学生の数より多くの求人が来ます。 その他多くのクラブの Firm Nightなど、 いろいろな機会があります。

d. 日本人の人脈

日本にいるときから文献調査による業界や会社の調査をしておくべきです。積極的にいろんな人に会い、アドバイスをもらうのも良いと思います。いかに自分のネットワークを作るかが勝負です。過去には、渡米前に某コンサルティング会社に、どこのビジネススクールに行くべきかを相談に行き、これがサマージョブの一次面接になった人もいます。

また、私費留学生同士、他校のMBAと常に情報交換をすることをおすすめします。例えばもしあなたが、MBA受験時に予備校に通われていたのであれば、合格祝賀会に出席し、できるだけ多くの私費留学生と知り合いになり、後日お互い連絡すると良いでしょう。ネットワークを広げるという意味では、バークレー以外のサマースクールに行くのも1つの方法です。

各クラブの主催する firm nightは人脈を広げるために 出席しましょう。アメリカの企業でも、日本人のリクルーター（彼らもかつては私費留学生で、就職活動を経験している）が来ますし、その企業にたとえ興味がなくても参考になる話が聞けます。場合によっては、その人を介して思わぬ人に後日紹介されることもあります。

e. 日本人留学生向けのフォーラム、ウェブサイト

日本での就職を考えている場合は、リクルートやディスコなどが主催している日本人留学生を対象にしたキャリアフォーラムなどに参加する、という手もありますし、インターネットで興味のある企業のホームページを探し、直接レジュメを送る、という手もあるでしょう。

主なキャリアフォーラム

- ディスコ

http://www.careerforum.net/

例年秋にボストンでキャリアフォーラムを開催。

- リクルート

http://www.intercareer.com/japan/

例年冬・夏に東京でフォーラムを開催。就職・転職情報、キャリア相談など

- アクシアム　http://www.axiom.co.jp/
- キャリア・インキュベーションhttp://www.careering.com/
- グロービスマネジメントバンク

  http://www.globis.co.jp/gmb/

  いずれも日本人MBA向けのポジションを多く持っており、登録しておくと、ポジション情報メールなどが入手できる

その他一般情報

- YahooJapan
  www.yahoo.co.jp/Business_and_Economy/Companies/Employment/Recruiting_and_Placement
- 日経ネット　www.nikkei.co.jp/ad/career/
- 朝日求人情報
  www.asahi.com/job/job.html
- キャリア戦略研究所

www.csinc.co.jp/strategy.html

日本語のホームページが多く、また、英語でもレジュメの入力だけは漢字を要求されたりしますので、ここでも、日本語のメール・検索環境は早めに揃えられる事をオススメします。

5）主な就職パターン

今年の一年生は日本・アメリカ両方で就職活動を行っているので活動の仕方については遠慮なく相談してください。

秋学期は想像以上のワークロードで就職活動どころではないでしょう。しかし、秋学期のうちに自分の興味を絞って行って、年明けから本気で就職活動をして行くのがベストです。例年の日本人のサマーインターンは以下パターンです。

a. 外資系日本法人（コンサルティング、—銀行等）

多くの銀行の投資銀行部門では、渡米前に「合格者祝賀会」などと銘打って、MBA進学予定者を集めてのレセプションを行っています。レセプションの位置づけは企業によって異なり、「顔合わせ＆参加者のContact Info集めで、実際の選考プロセスにはあまり関係しない」企業がある一方、レセプションが「青田刈り」の場になっており、めぼしい学生をレセプションでチェックして、学校が始まる前の6月～8月に東京で面接を実施、という企業もあります。

レセプションが選考の場となっている投資銀行部門の場合、最も早く内定を獲得した人のケースでは、レセプション終了後に少人数でのディナーなどの誘いがあり、その後東京で面接、以後、電話面接などを経て、10月～11月ごろにリクルーティングチームが渡米して面接を行う「ロードショー」で確定、という流れでした。ただし、投資銀行部門の場合、ロードショーで西海岸に来ない企業も多いため、その場合はボストンキャリアフォーラム（BCF）が最終の面接の場となるでしょう。

9月頃から選考を開始する企業の場合、9月末ごろから、BCF（主な投資銀行部門は殆どBCFに参加します）のHPを通じてレジュメやオンラインアプリケーションを提出します。BCFのHPでは、意外と早く受付を締め切ってしまう企業も多いので要注意。また、8月-9月の早い時期にボストンキャリアフォーラムに登録を完了した上で、論文を書いて奨学金に申し込むと、往復航空券程度のお金を貰うことができる可能性があります。（2008年秋の場合、西海岸からの参加者には$350）

レジュメスクリーニングを通過すれば、10月～11月のロードショー、またロードショーが来ない都市に関しては電話インタビューが行われます。その後、10月～11月のBCFで再度インタビュー→確定、となります。

外資系コンサルティング会社の場合、10月～11月頃にカンパニープレゼンテーションのロードショーを行い、年末の帰国時に日本で、もしくは2月以降にアメリカにて面談があります。いずれにせよ、キャリアオフィスを全く通さず行うことになるので、他のビジネススクールの日本人私費学生と連絡を密にとっておくのがよいでしょう。Berkeleyには私費学生がもともと多いので、上級生からもかなりの情報が入るはずです。

b. 外資系日本法人（その他）

彼らのグローバル戦略として東京オフィスにはかなり需要があります。年明けに他のInternational Students（他校も含め）と一緒にポジションを争います。もちろん面接は英語です。キャリアオフィスを通して情報が手に入ります。

c. 日本法人

大手メーカー（自動車、消費財など）のマーケティング・戦略企画部門や、金融機関が主ですが、中にはベンチャーの経営企画関連のポジションなどもあります。前述の、日本人留学生を対象にしたフォーラムに参加したり、転職支援会社のデータベースに登録したりして、情報収集することをおすすめします。

d. 日系アメリカ法人

これは結構需要があるみたいです。通常サマーインターンというポジションはオフィシャルには用意していないようですが、もし興味がある業界や企業があるなら直接連絡してみるべきでしょう。

e. アメリカ法人

キャリアオフィスを通じて情報を入手して、他のアメリカ人、

international students とポジションを争います。業界が多岐に別れるので、早めに絞っていかないと効果的な活動は出来ないようです。キャリアオフィスに加え、ビジネスコンファランスやいろいろな行事を通してネットワークを広げて行くのが効果的なようです。冬休みの間に、レジュメ、カバーレターなどを用意し、1月にクラスが始まるのと同時にインタビューが開始されます。アラムナイやクラスメートのネットワークをうまく使って、OB訪問や情報収集を行っておくことが重要です。

VI. 生活情報

ショッピング、ダイニング、スポーツ観戦、エンタテインメント関係の情報は、インターネットでチェック可能ですので、そちらをぜひ参考にしてください。

ショッピング、エンタテイメント、売ります買います情報など

（英語サイト）

- http://sfbay.yahoo.com
- http://sanfrancisco.citysearch.com
- http://bayarea.citysearch.com/
- http://www.craigslist.org/sfo/eby/

（日本語サイト）

日本人コミュニティによるもので、家具や車の売買のほか、日本人好みのレストラン情報などの収集に役立ちます。

- http://world.gokinjo.net/
- http://www.jinaonline.org/home.php?city=SF&

1. ショッピング

日用品／食料品／衣料品など生活必需品は、為替レートにもよりますが、一般的に日本と比べて安いのではないかと思います。

基本的なことですが、日本との大きな違いは、

１）消費税率（8.75%、カウンティで差がありSFでは8.5%）

２）車がないとかなり不便（飲み物、洗剤など、どれも大きく重い）

３）家の近くにコンビニがない

４）同じものが場所によってかなり値段が異なる

５）店員の応対、商品知識などサービス全般のレベルが低く、つい、イライラしてしまいがち

６）リベート（割引分を購入後郵便で請求）の存在

７）たまに賞味期限切れのものが平気で売られている

などでしょうか。

以下、店舗の形態別に見てみることにしましょう。

1)スーパーマーケット（食品が中心）

Berkeley周辺ではSafewayとAndronico'sが店舗数も多く、ドライブしているとあちこちで目にするでしょう。共に生活の基本です。また安いプライベートブランドものも売っていますので、要チェックです。Safewayは24時間営業が普通です。

Safeway

(Albany):1500 Solano Av. (Berkeley):1444 Shattuck

(El Cerrito):10636 San Pablo （Oakland):6310 College Ave.

Andronico's Market

（Berkeley） 1550 Shattuck /1850 Solano Ave./

2655 Telegraph Ave. /1414 University Ave.

オーガニックの野菜を多く扱っている。品揃えがSafewayなどとは異なり高級で客層も違う。同じものなら10%高いので注意が必要。一方、果物は常にフレッシュで、少々高いが甘くて美味しいイチゴが唯一手に入るのも（Farmers' Marketを除いては）此処。生ハムやスモークサーモン、チーズ等は実に品揃い豊富。また店内に大きなワインコーナーがあり、好きな人には堪らない。食パンは＄4くらいするがとても美味しい。

Trader Joe's

（El Cerritoプラザ内）

今、最もはやっているオーガニック専門の食材スーパー。ファンの人のブログやSNSが多数あり、お勧めの商品を口コミで紹介している。パスタ（麺）が安い。

Albertsons

(Oakland):5727 College Ave. (Richmond):12010 San Pablo Ave.

なお、大手のスーパーはそれぞれ無料のメンバークラブカードがあり、それを見せると値引きが適用されるので、入会しておくべきでしょう。

- Safeway Club,
- BevMo! (Beverages & More) Club,‘ など

手続きはスーパーによって多少異なりますが、基本的に簡単で、Service Counter に行き、メンバー入会をしたい旨を伝えると良いでしょう。(Safewayはレジでそのまま手渡し発行してくれます。)

Monterey Market (Hopkins St.)

野菜が安い市場。日本の野菜・果物も数多く扱う(大根、きゅうり、なし、など)。周辺には新鮮な魚屋もある。

M-F 9:00-19:00 / Sat 8:30-18:00 / Sun Closed

Wild Oats

1581 University Av.

オーガニック・ナチュラルフードならここ。ただ、BerkeleyのはSan Francisco店にくらべると品揃えがよくありません。

WHOLE FOODS MARKET

3000 Telegraph Av.

全米を中心に270店舗以上展開しているオーガニック系高級スーパー。Deli がお勧め。お買い物の合間にマッサージもどうぞ。値段は高め

Market Place

College Av. 沿い。BARTのRockledge駅のすぐ近く。個別経営の高級デリ, ベーカリー, 八百屋, ワインショップ, ミートショップ, 魚屋, チーズショップ, 花屋等が入っている。グルメ系。

2) 日本食料品(みな閉店が早いので要注意)

(醤油や米などは普通のスーパーでも買えます)

Berkeley Bowl

2020 Oregon St. 510-843-6929

混雑していますが地元の人にも大人気のスーパー。新鮮な野菜/魚が豊富。 日本食材のコーナーあり。肉の薄切りもあるが少々厚め。刺身も買えます。野菜・果物の種類が非常に豊富。

M-Sat 9:00-20:00 / Sun 10:00-18:00

Tokyo Fish Market

1220 San Pablo Ave. 510-524-7243

基本です。日本人向け情報交換の掲示板もあるので要チェック。ここと Oriental Foodでほとんどの日本食材は揃う。 特に刺身・生モノはEast Bay随一。

M-F 9:00-18:00 / Sat 9:00-18:00 / Sun Closed

Ranch 99 Supermarket

3288 Pierce Street

アルバニーのI-80沿いにある、Pacific East Mallというショッピングセンターの中。中華を中心にしたアジア系食材の大型総合スーパー。日本食材も比較的揃っており、かつ低価格で手に入り、野菜の品揃えはSafeway他のスーパーと比べ価格も安く種類も豊富。大袋売りのものも多く、友人と一緒に行って分けると経済的でしょう。肉もありとあらゆる種類があり、新鮮で美味しい。しじみやあさり等の貝類も手に入る。

Yaoya-san

10566 San Pablo Ave. El Cerrito 510-526-7444

店は大きくないが、日本のスーパーの縮小版といったところ。日本のお菓子コーナーは大きい。肉の薄切りが手に入る。惣菜や弁当があるほか、お寿司の注文も出来る。

T-F 10:00-19:00 / Sat 9:00-19:00 / Sun9:00-18:00

Mon Closed

Koreana Plaza

2370 Telegraph Ave. 510-986-1234

テレグラフをオークランド方面にしばらく進んでいった左手。24時間やっている(らしい)韓国系のスーパー。肉(薄切りが売っている!)や魚・海草、アジア系の食料が豊富で安い。秋口にはマツタ

ケもあります。Safeway等が休むThanksgiving等の休日でも開いている。

Ichibankan

10566 San Pablo Ave. El Cerrito

Yaoya-san の隣にある日本の100円ショップグッズを扱う店

日用雑貨・食器・お菓子などが手ごろな値段で手に入る

東洋食品

10028　San Pablo

韓国食品の店だが日本食も多少あり。

ここの手作りキムチは、とてもおいしいです。

Nijiya Super Market

1737 Post St. San Francisco Japan Town内 415-563-1901

いわゆる日本のスーパーマーケット。日本のシャンプー、洗剤なども買える。やはり基本です。紀伊国屋のついでに寄りましょう。

Super Mira

1790 Sutter St. San Francisco, CA 415-921-6529

日本のスーパーマーケット。Nijiyaよりは小さめ。

木曜日にはサンノゼ豆腐を買うことができる。

Mitsuwa

675 Saratoga Ave., San Jose 408-255-6699

High Way880を南下して、280をSF方面に向かいすぐ。San JoseはUCBから1時間以上かかります。紀伊国屋書店も併設されていますが、SFのものと同規模です。

DOBASHI

240 E Jackson St. San Jose (San Jose Japan Town内)

26 Channel を見ていると何度もCMを見ます。Tokyo Fishよりは大きく、Mitsuwaよりは小さい中規模店。

Marukai

19750 Stevens Creek Blvd., Cupertino 408-200-4850

2008年にオープンしたばかりの日系スーパー。Mitsuwaと同規模で強力なライバルになりそう。Berkeleyからは1時間程度かかりますが、Mitsuwaとセットで行ってみて見比べてみるのもいいでしょう。

3)ドラッグストア

薬を買うならもちろん最適ですが、それ以外にも学用品、台所用品、食料品、化粧品、雑貨などが安く売っています。写真の現像が安いのがポイントではないでしょうか。

Walgreens

(Berkeley) 1050 Gilman St / 2995 San Pablo/ 2187 Shattuck　他多数

Longs Drugs

(Berkeley)　1451 Shattuck　(Oakland) Broadway & 51st

他多数

Payless Drug

(El Cerrito) 10650 San Pablo Av.

Thrifty

(Berkeley) 2119 University Av.

4)ディスカウントストア

Target

(Albany)1057 Eastshore Hwy

(El Cerrito)11450 San Pablo Av

たいていのものが安く買える店。

UC Village居住者にとっては場所的にも近く、初期の日用品購入に便利です。

Walmart

ご存知WalmartはBerkeley周辺にはありませんが、I-80を10-15分ほど北上したところのHilltop Mall内に最寄りの店舗があります。Oaklandにもあります。

1400 Hilltop Mall Road Richmond, CA 94806
(510) 669-1342

8400 Edgewater Drive Oakland (S), CA 94621
(510) 430-9606

COSTCO

(Richmond)4801 Central Avenue

(San Francisco)450 10th Street

会員制 大型ディスカウントストア。

会員制で年会費が必要（50ドル）

日用品、食料品などを大きな単位で販売している。ガソリンは近辺で最安値クラス。乳幼児がいる方は必須。おむつやウェットティッシュの類は圧倒的に安いです。これだけで年会費の元が取れます。クロワッサン（12個で$4.99）も人気です。薄型TVベンチャーのVISIOのテレビが買えるのもここだけ。メンバーシップは、2人まで登録できるので、友人（家族）とシェアすれば年会費は半額でOKです。

ワイン等アルコールのセレクションは少ないですが、近隣でほぼ最安値。

Ross

（El Cerritoプラザ内）

ブランドものの洋服、雑貨などが驚きの価格で売っている掘り出し物屋さん。

Marshall's

(El Cerrito, San Pablo通り沿い）

Rossと同じ感じ。若干、品がある。

5)大型専門店

ロードサイド型大型専門店（？）は品揃え、価格の両面で なかなか優れています。早めにチェックして何がいくらで 買えるかを確認しておくとよいでしょう。 6)でふれていますが、モールの形で複数が密集していることが多いです。

（文具）

Office Depot

Office Max

Staples

Longs Drugs

（DIY）

Home Depot

（日用雑貨／インテリア）

Home Express

Bed Bath & Beyond

（コンピューター）

Fry's（UCB近辺にはない）

（スポーツ用品）

Sport Authority

Golfsmith

（玩具）

Toys' R' us/Babies' R' us

（家電）

CircuitCity

Best Buy

（アウトドア用品）

REI

Any Mountain

North Face

6） モール

（UCB近辺）

Baystreet(Emeryville)

Coach、GAP、Abercrombie&Fitch(通称アバクロ)、Gymboree、Williams-Sonomaなどがある。

レストラン、映画館などが入っている。

（UCBの北）

Hill Top (I80を北上、Hilltop Exitで出る）

2200 Hilltop Mall Road, Richmond

中にMacy's やJC Penny、Walmartなどがある。さらに、その北側に、大型専門店が集結したモールが2つある。

(UCBの東)

Walnut Creek

Tiffany、Macy's、Nordstrom、Williams-Sonoma、Crate and Barrelなどがある。

(UCBの南)

Bayfair Mall（San Leandro）

Newpark Mall (Newark)

Great Mall (Milpitas) 車で1時間

今はやりのAbercrombie&FitchのOutletあり。GymboreeのOutletも。マッサージもできる。

7)商店街

サンフランシスコにはいくつもおしゃれな通りがあります。 そちらはせっかくですから自ら開拓してみて下さい。

バークレー周辺ではいくつかごく普通の商店街と おしゃれめの商店街があります。買い物はほとんど車でとなるでしょうから、買い物というより散歩／食事をする場所となるでしょう。

（普通の商店街）

University Ave. / Shattuck Ave.

（おしゃれめ）

College Ave. (ElmwoodエリアとRockridgeエリア)

Solano Ave.

4th Street

キッチン回りのおしゃれな店を中心に洗練された雰囲気の味わえるエリアです。

その近くのGilman周辺は再開発されたエリアで、North Faceのファクトリーアウトレットや FIFOカフェの本店Jimmy Beansなどがあります。

8)アウトレット

(www.outletbound.comでチェック可能)

皆さんご存知のFactory Outlet Mallは大体車で1時間-2時間 のエリアにいくつかあります。

Gilroy（101を南へ、1.5-2時間）、**Vacaville**(Vacaville、80を北へ1時間）が規模としては大きく、例えば日本から友人が遊びに来て連れていくならこのどちらかでしょう。**Napa**のものもそれに準じて大きく(29号沿いに2箇所あります)、ワイナリーと合わせて考えればここにでかけるのも有力です。

Petalumaは穴場的モールで、こじんまりとしていますが見逃せません。（101を北へ、1時間。ソノマに行く途中にあります。）

San Leandroは10種ほどのかなり限定された店舗数。

9)その他

Flea market（のみの市）

会場としてはBARTのAshby駅駐車場などがあるようですが、 週末に880号を走っているとOaklandや遠くはSan Joseなどに大きな

会場があるのを目にします。

Garage Sale

週末に住宅街を走っているとよく庭先で不用品を並べて販売しているのを見つけることができます。

Farmer's market

農家が直接野菜や果物を売る市場。UCB近辺で毎週多数開催されている。野菜・果物ともいたって新鮮。ただ、場所によってはスーパーよりも高価な場合があるので、ご自分の好みに応じて買い物されると良いでしょう。El Cerrito Plazaでも毎週土曜日午前中に開催されています。

Daiso

2006年末、SFOの近くのDaly CityにDaisoがオープンしました。$1.5と価格は日本よりやや高めですが、こちらのDollar shopにはないようなものが手に入るかもしれません（まだ誰も行っていないので未確認）

http://www.daiso-sangyo.co.jp/english/storeinfo/storeinfo03.html

2. レストラン

Bay Area は全米一のグルメ地帯だといわれ、世界中の様々な料理が手頃な料金で楽しめます。サンフランシスコには全米の流行のシェフたちが競って出店しており、また、バークレー周辺もそのdiverse cultureを象徴するかのようにethnic料理の店がたくさんあります。

ここではバークレーの主なレストランを一部紹介しておきます。

和食：

バークレー市内だけでも、寿司、てんぷら、うどん、定食その他、多種多様。値段、ボリューム、味はまちまち

Kirala

2100 Word St., Berkeley

510-549-3486

寿司。アメリカ人に大人気で長蛇の列。従い、注文しても料理が来るのに相当に時間がかかる。通常のお客にはおしぼりを出していないが、日本人のウェイトレスに日本語でお願いすると、なぜかこっそりとおしぼりを持ってきてくれる。

ただ値段の割には味は普通。

Tachibana

5812 College Ave., Berkeley

510-654-3668

寿司。一品料理もおいしい

Yusan

11866 San Pablo Ave., El Cerrito

510-233-0606

寿司。純日本風寿司屋で日本人に評価が高かった。2008年にオーナーと板前が代わったが、引き続き味はよいとのこと。

Taki-sushi

10887 San Pablo Ave., El Cerrito

510-233-9898

寿司。Yusanの旧板前が新たに開店した店。ネタは大きく美味い。掘り炬燵の座敷あり。

Uzen

5415 College Ave., Berkeley

510-654-7753

寿司。イーストベイで唯一トロが食べられる

Mitama

3201 College Avenue

寿司、一品料理など日本人に評価が高い。

ランチには丼物もある。

Anzu

2433 Shattuck Ave., Berkeley

510-843-9236

寿司、定食。カジュアル

Norikonoko

2556 Telegraph Ave., Berkeley

510-548-1274

和食全般。こじんまりとして家庭的

Katanaya Ramen

10546 San Pablo Ave, El Cerrito

510-528-1678

ラーメン。味についてはかなり意見が分かれる。

Musashi

2126 Dwight Way, Berkeley

510-843-2017

寿司その他。

中華料理:

Hong Kong East Ocean

3199 Powell St., Emeryville

510-655-3388

海鮮が売り物の高級中華。昼の飲茶もおいしい。マリーナの奥、ベイに面しロケーション抜群

Great China

2115 Kittredge St, Berkeley

510-843-7996

行列のできる店。味はよく、値段は安く、量は多め。

Daimo

3288A Pierce St., Richmond

510-527-3888

中華系スーパーマーケットRanch99に隣接。中国人お勧めで日本人の味覚にも適う。

Hong Kong Villa

2042 University Ave., Berkeley

510-486-8328

リーズナブル。中国学生にも人気

Clay Pot

809 San Pablo Ave, El Cerrito

415-908-3463

上海料理

China Village

1335 Solano Ave.

510-525-2285

四川・湖南系の超辛料理もあり。値段も比較的リーズナブルで、サーブも手際よく、あまり待たずに食事できる点が良い。

Taiwan

2071 University Ave., Berkeley

510-845-1456

安くておいしい

その他アジア・インド料理：

Koryo Village

4390 Telegraph, Oakland

510-652-6007

韓国風炭焼き料理。おいしい

Sura

4869 Telegraph Ave, Oakland,

510-654-9292

韓国料理。韓国人学生お勧め。リーズナブルでKoryoより車を駐

めやすい。

Le Cheval

1007 Clay St., Oakland

510-655-3388

ベトナム料理。リーズナブルでおいしい。Haas建物近くのバンクロフト通りに支店あり。

Cha Am

1543 Shattuck Ave., Berkeley

タイ料理。繊細な味付け

Thai House

2511 Channing Way

タイ料理。夏はテラスが気持ちいい。

Thai Noodles

1936 Shattuck Ave.

タイ料理。安くて美味しい。タイ人学生お勧め。

Breads of India

2448 Sacramento St., Berkeley

510-848-7684

インド料理。インド人学生お勧め

Ajanta

1888 Solano Ave., Berkeley

510-526-4373

インド料理。いつも混んでいる

<u>カリフォルニア・イタリア・フランス料理：</u>

Chez Panisse

1517 Shattuck Ave., Berkeley

510-548-5525

カリフォルニア料理の草分け。全米に名高くクリントンも来店。高い。超人気店なため予約必須。アラカルトがサーブされる2階はランチだと予約なしでも入れるときがある

Cugini

1556 Solano Ave., Berkeley

510-558-9000

イタリアン。気取らず、安く、とても混む

Solano Grill & Bar

1133 Solano Ave., Berkeley

510-525-8686

カリフォルニア料理（オリエンタル風）

Rivoli

1539 Solano Ave., Berkeley

510-526-2542

カリフォルニア料理（フレンチ＆イタリアン風）。結構混んでおり、予約しておいた方が良い。店の雰囲気・サービスもなかなか良く、料理も美味。

Lalime's

1329 Gilman St., Berkeley

510-527-9838

ベルギーフレンチ（地中海）。夜営業のみ。味はシェパニに匹敵するという意見も。

姉妹店のSea Salt Restaurant(2512 San Pablo Ave. Berkeley CA 94702)は値段の割には料理はこじんまりしていて、サービスはいまいち。特に子供連れの方にはあまりお勧めできない。

Lococo's Restaurant &Pizzaria

1400 Shattuck Ave.

510-843-3745

シシリアン・スタイルのイタリア料理が楽しめるお店。ピザの生地は厚め（シシリアン・スタイルとのこと）。パスタやその他料理もな

かなかおいしく、お店の雰囲気もアットホームで良い。事前に電話で注文して、テイクアウトすることも可能。

その他：

La Mediterranee

2963 College Ave., Oakland

510-548-5525

地中海料理

Fat Apple's

1346 Martin Luther King Jr. Way, Berkeley

/ 7525 Fairmont Ave., El Cerrito

510-526-2260 /510-528-3433

アメリカ料理。ジモティお勧め

Walker's

1491 Solano Ave., Berkeley

510-525-4647

パイとアメリカ料理

Cactus Taqueria

1881 Solano Ave., Berkeley / 5525 College Ave., Oakland

510-528-1881/510-547-1305

メキシコ料理

Trader Vic's

9 Anchor Dr., Emeryville

510-653-3400

ポリネシア料理

The Blue Nile

2525 Telegraph Ave., Oakland

510-540-6777

エチオピア料理

カフェ・ファストフード：

Top Dog

2534 Durant Ave., Berkeley

ホットドッグ。UCBの学生でここを知らないとモグリといわれる、らしい

Zachary's Chicago Pizza

1853 Solano Ave. Berkeley / 5801 College Ave. Oakland

シカゴ風（スタッフド）ピザ。7年連続ベイエリアで最もおいしいピザの店にランクイン。ピザの生地は厚い、薄いを選べるが、どちらも相当に待ち時間が長いことをご覚悟を。（薄い生地の方が若干早い。）

Cafe Strada

2300 College Ave., Berkeley

キャンパス近く。夏は外のテーブルが最高

バー・パブ（飲み屋）：

Haasの学生がよく行くのは、近場の**Henry's**（Durant）、**Jupiter's**（Center）、**Raliegh's**、**Larry Blake's**（Telegragh）あたりです。**Triple Rock**（Shattuck）、**Pyramid**（San PabloからGilmanを西に入って2ブロック程行った右手）といった地ビールブリュワリーにもエールハウスが併設されています。

おまけ）　歴代Haas生のおすすめ＆気になるお店

Chez Panisse（やっぱり外せない？）

Cheeseboard Pizza （美味しい）

Yusan（やっぱり安くて美味しい。Haasの先輩がお世話になったオーナーで大将の優さんは既に亡くなられた模様。）

La Cheval （ベトナム料理）

East Ocean （飲茶が美味しい＆景色が最高＆お手ごろ）

Ranch99内のベトナム料理屋

Bistro （on Shattack/Hearst）

Sakae Sushi（Burlingameにあるベイ随一の寿司屋。日系企業のお偉いさんも通う高級店）

Sushi Sam's江戸又（San Mateoの寿司屋。Sakaeほど高くないがこれまた美味。常に満員なので電話予約を）

喜作（San Mateo）（日本食が美味しい）

Yoshi's（寿司の食べられるJazzクラブ。ビッグネームの演奏を聴ける。味はイマイチ）

Pusan（韓国スーパー on Telegraph; Oakland何でも安い）

R&G Lounge（SF中華街にあるオススメ中華料理屋）

Renee's place（中華、Solano Ave.）

La Farine（ケーキ屋。おいしい）

Olivetto（カフェレストラン　雰囲気よし）

Café Fanny（Chez Panisseのsubsidiary）

Gregoire（持ち帰りあり）

Mondo（ジェラート。種類が多くておいしくて　つい通っちゃう）

Rick and Ann's（サンデーブランチにお勧め（待つけど））

Locanda Olmo（Elmwood, イタリアン）

Torattoria La Siciliana（なかなかまともなモッツァレラが出る）

Crepevine（クレープカフェ。ブランチにぴったり）

Uzen（寿司。肉厚シイタケのてんぷらもある（涙））

HudsonBayCafe（ネーミングが気になる。朝6時前に開いてる）

Lola"s（イタリア系？　テイクアウトの店）

Thep Naaree(そう悪くないと思うが、いつも空いていて心配)

Khana Peena（インド料理。テイクアウトもある）

Café Raji（インド料理。テイクアウトあり）

Kohaku of New York（いわゆる日本の居酒屋メニューがある）

Pyramid（地元のmicro brewery。レストラン併設）

Masse's Pastry(ケーキ屋。甘すぎずなかなかよい)

Scharffen Berger Chocolate Maker(チョコレートメーカー。カフェはランチにGood。)

Yaoya-san（日本食材店。手作りお弁当や惣菜あり）

Sushi Ran（サウサリートにある超人気の寿司＆和食レストラン。2008年ミシュランで1つ星）

Ici（College Ave.にあるアイスクリーム屋さん）

3. 各種サービス

1）床屋・美容院

アメリカの美容院は腕前はともかく安いことは確かです（$8.00-12.00）

MayFair Hair&Nail Care

1705 Solano　510-527-1953

美容師が香港・中国・ベトナム・日本等からの移民で構成される実にプロレタリアな店。一度行くとやみつきに？

K Magic Beauty Salon

Address: 1788 Shattuck Ave

Berkeley, CA 94709

510-644-3132

韓国人の年配の女性がやっているお店。値段の割には悪くない。"K"はKoreaの頭文字か。

Super Cuts

Solano Ave. 1475（安さと早さが売りのチェーン店）

Campanile Hair Cut

Bancroft Way（無口なじいさん）

Hair Professor

Bancroft Way（韓国を初めとする東洋系の美容師で構成されている。Haasからは一番近い。カット$14）

Berkeley Hair Studio

2556 Telegraph Ave.

510-540-1261

キャンパスからは歩いて10分強。中国・ベトナムから移民してきた女性3人が切り盛りしている。固定客が多い様子で、雰囲気は比

較的アットホーム。周りの会話にうまく入り込めば、色々と世間話をして時間を潰せるので悪くはない。腕は可もなく不可もなくといった感じ。値段は$12。

Scissors

Channing Ave. (店はこぎれいだが腕は悪い)

Panache

Telegraph Ave. 2305 (女性向きの店)

日本人の美容師をご希望の方は下記のお店をおためしください。

Clips

1832 Buchanan St., S.F. (415-922-7161)

女性向き。美容師の和子さんはとってもいい人。

Japan Center Beauty Clinic

1825 Post St. #109 S.F. 415-921-0135要予約

Comsa

1680 Post St. #G S.F. 415-931-4405 要予約

日本人による日本人のための美容室、といった感じ。値段は高いが「日本と同じ程度の仕上がり」を期待する人にはおすすめ。

Elixir Salon

10835 San Pablo Avenue El Cerrito, CA 94530

ソラノに本店あり。値段は30－40ドルくらいとやや高めだが、バークレー近辺の中では、日本の美容室に近い仕上がりが期待できるかも。男性可。

(510) 234-1874

2)貸ビデオ

PAL Japanese Video

734 San Pablo Ave., Albany, (510)-524-2005　表に「日本ビデオ」と書いてある。日本で放映中のドラマ、バラエティ、幼児番組等が見られる。

Blockbuster (www.blockbuster.com)

街の至る所にある大手ビデオチェーン店。

Netflix (http://www.netflix.com/)

インターネットで借りられるDVDレンタル。月間定額支払い・品揃え豊富＆延滞料なしで便利。

3)旅行の予約など

チケット、ホテルの予約、レンタカーの予約など、インターネットで済ませるのが一般的になっています。早めに予定が立つ場合はこれが一番安いと言われています。(「インターネット・スペシャル」という格安料金あり。)ただ、路線・会社によっては代理店や航空会社のウェブサイトの方が安い場合もあり、比較検討されるのをお奨めします。

Cheap Tickets : http://www.cheaptickets.com

Expedia : http://www.expedia.com/

Trip.com : http://www.trip.com/

KAYAK : http://www.kayak.com/

Tripadvisor : http://www.tripadvisor.com/

また、旅行日程がフレキシブルな場合は、こちらのサイトで予約してみるのも楽しいです。(希望の日程・価格をビッドする)

Priceline; http://www.priceline.com/travel/

Southwest AirlinesやJetblue, Virgin Americaは路線は限定されていますが、格安でサービスも悪くないのでここもチェックしてみて下さい

Southwest : http://southwest.com

Jetblue : http://www.jetblue.com

Virgin America : http://www.virginamerica.com/

バークレー、SFの主な旅行代理店

H.I.S. International Tours (S.F.) Inc.

870 Market St., Suite 746, S.F., (415)-296-7027

Taki' s Tours

150 Powell St. Suite 402-A, S.F. (415)-398-4104

Nippon Express Travel USA Inc.

720 Market St. SF　(415)-982-4965

Community Travel Service (510)-528-0600

Shogun Travel Service 150 Post St. SF (415)-397-1100

Travel Nippon 1-800-331-5858

4) 飲料水

ARROWHEAD (1-800-950-9393)

一ヶ月2回玄関まで運んでくれる。買い物の度に重い水を運ぶのが嫌な人にはお勧めです。6gallon=約8ドル

Brita (www.brita.com)

飲料水を購入するのが面倒くさい人には,(日本でも販売されている)Britaの浄水器は一考の価値あり。地元の人は,結構使っている模様。Andoronico 's(www.andronicos.com)等のスーパードラッグストアや家財道具店で購入可能。

5)地ビール(Homebrewing)

Oak Barrel 1443 San Pablo Ave. 自家製ビール製造(およびワイン)に必要なキット($85.00)及び原料セット($25.00-$30.00)を販売している。

6)リカーショップ

＊一部のワイン、酒類は以下の酒屋よりもCostcoのほうが安値です

Beverage, &More

830 San Pablo Ave.

酒の販売店は街中にあるがここが一番充実している。特にカリフォルニアワイン、テキーラ、ベルギービール、スコッチの品揃えは豊富。たまにグラス食器が格安で販売されている。パスポート以外の身分証明書が必要

Wine.com

2220 4th Street Berkeley, CA 94710

品揃えはバークレー近辺随一。オンラインで在庫を確認できる。オンライン注文＋配送もできるが、直接購入がお勧め。

http://www.wine.com/

(510)704-8007 / Customer Service 1-800-592-5870

Solano Cellars

1580 Solano Avenue B, Albany, CA 94707

セレクションは少ないが、夜分まで営業。試飲バーもある。

510－525－9463

Wine Merchant

One Ferry Building, Shop 23, San Francisco, CA 94111

SFのフェリービルディングの中。バーが併設され夜分まで営業。比較的レアなワインが手に入る

415－288－0470.

7)図書館

図書館には、二つのグループがあり、それぞれたくさんのブランチがありますが、代表的な二つのブランチをここでは紹介します。

Berkeley Public Libraryグループ

Central Library　Shattuck & Kittredge

(510-644-6100)日曜休館

Alameda County Libraryグループ

Albany Library　1247 Marine Ave.,

(510-526-3720)金、日曜休館

雑誌、CD、カセット、各種図書が3週間。ビデオはBerkeley3日、Alemeda1週間、無料で借りれます。Central Libraryにはドライビング・ハンドブックや、バスの時刻表もおいてあります。日系の新聞、日本語図書、雑誌(Central;家庭画報、料理番組他)もあります。パスポート、免許証等写真付きのIDと自分宛の手紙等現住所が確認できるものを用意していけば、その場でカードを発行してもらえます。

4. スポーツ

1) 大学の施設 RSF (Recreational Sports Facility)

大学全体のスポーツ活動の中心組織／施設です。 ステューデントユニオンの西側100メートルほどのところにあります。 1セメスターあたり＄10払って登録すると、プール、ジムなどの施設は無料で、各種スポーツ教室(Cal Fit)は有料で参加できます。 バスケットボール、卓球、スカッシュなどもでき、シャワーも完備しています(タオル無料)。 早朝から夜遅くまで開いていますので、頻繁に通ってシェープアップしたいものです。また別組織でCAL Adventureというものがあり、キャンプやマリンスポーツなどの教室を開いています(有料)。学生はかなり割安なのでパンフレットを見ておくとよいでしょう。 プールは25mがキャンパスを囲み4つあります。全て温水でオープンエアです。冬は少々気合いがいりますが晴れた日のプールは清々しいものがあります。家族の方も10ドルで利用できます。

2) 種目別一般事情

a. テニス

無料で使える大学のコートは4ケ所あり(①Channing、②Hearst、③Golden Bear、④La Loma)、空いていればいつでも使えます。予約はRSF(510-642-8345)に電話すれば取れます。(一人一面1時間)Hearstコートは2009年2月に閉鎖しており再開時期は未定とのことです。大学のチーム優先のHellman Tennis Stadium (Oxford沿い)は最もサーフェスの質が良いコートですが、予約は時間10ドルほど取られます。

大学のコートだけではなく、住宅街の中にもテニスコートを見かけます。週末の朝などを除けばそれほど混雑することもなく誰でも自由に使えます。 またアパートによってはテニスコート付のものもよくありますから、好きな人は考慮に入れるとよいでしょう。 またベイエリアに住む日本人で組織されたテニス同好会も存在するようですので、東京フィッシュマーケットで情報を手に入れて参加してみてはどうでしょう。

b. スキー

レイクタホ周辺にはいくつもスキー場(Heavenly, Kirkwoodなど)があり、バークレーからは渋滞していなければ3時間強で行けます。4月ごろでも十分雪があるようで、余裕がある人は通い続けているようです。年末が近づくとコンドをシェアしようとか、リフトのチケットを安く買わないかとか、皆ででかけようとかといったメールがたくさん入ることでしょう。毎年1月にC4Cのスキーイベントがあり、多数の学生が参加します。道具はスポーツ用品店よりはアウトドア専門店で買うのが一般的なようです。またスキーのリフト代は日本よりやや高めです。

c. ゴルフ

日本と比較してアメリカで一番割安感があるスポーツといえばゴルフでしょう。ゴルフ場は日本ほど混んでいませんが、週末の予約は必要です。多くのゴルフ場は、一週間前に予約を受け付けます。バークレーから車で1時間以内に40ヶ所を超えるパブリックゴルフコースがあります。料金は日本よりはるかに安く、平日は25-55ドル、週末は35-80ドル程度でプレーできます。Driving Range (打ちっ放し) もありますが、ゴルフ場の練習場で練習することが多いようです。

ゴルフを、これから始めたいと思っている方は、こちらではゴルフクラブは日本より圧倒的に安いので、(日本製でないと嫌という人以外は)こちらで購入することをお勧めします。ただ同じモデルでも日本で売られているものは日本人仕様にシャフトが若干柔らかくしてあります。こちらで購入される場合はRegularシャフトを選ばれるとよいでしょう。ちなみにClass of 2007はゴルフバッグ込みの新品フルセットを＄144で購入した人、$199で購入した人、さらには$99で購入したものの、一日も経たないうちに打ち放し練習中にアイアンヘッドが折れてしまった人もいます(とりあえずご参考まで)。またClass of 07、08の数人はCallawayが直営している中古クラブサイトでクラブを買っていました(www.callawaypreowned.com)。日本人レッスンプロから日本語で

レッスンを受けることも可能です。Class of 2009はグループで「マサ石川」のレッスンを受けました（12回、600ドル）。

Haas生お勧めのゴルフ場

＜East Bay＞

Tilden Park

Haasから車で5分。平日で＄25、休日で＄55程度だが、15:00以降は毎日一律＄18で日没まで回れる。平日の日の入りから90分以内であればバックの9ホールを＄18で回ることが出来る。コースは特にフロント9が傾斜が若干多く、中上級者向けだが日本のようにせかせかとラウンドするプレッシャーが無いので初心者も心配無用。ドライビングレンジは40球で＄4、80球で＄7、120球で$12。コースに隣接したパターアプローチ・バンカー練習場も充実しています（無料）。

また、ここではレッスン（4回で通常$219, Haas生は$199で可能）も受けられます。超初心者用からスコア90台の人用まで、レベルに合わせた授業が受けられます。さらにレッスン代以外にも、ドライビングレンジのボール代$50割引・コース割引・プロとの無料練習チケットなど特典も多く、お勧めです。初心者の方はまずはきちんと基本を収得するのが上達への早道です。

Franklin Canyon Golf Course

I-80を北へ15分、Highway 4を東へ3マイル。

平日で$22～44. 休日で$25～50. 比較的なだらか且つ開放感のあるコース。アクセスを重視する場合、Tildenと並び利便性が高い。

Metropolitan Golf Links

Oakland空港隣。I880で25分程度。

平日で$35～50. 休日で$50～80. UCBゴルフ部のホームコースで本格的なリンクスコース。隣接する練習場は芝地から直接打てる。GPS付カート。

Lake Chabot Golf Course

Oakland HillのChabot Park内にあるコース。I-580で30分程度。平日で$21～29休日で$39～45. バック9の眺望はすばらしい。18hの673Yards Par6(!)は有名。

＜North Bay＞

Chardonnay Golf Club

I-80を北に約40分程度。平日で$45～55. 休日で$57～70. その名のとおり一面のVine畑のただ中にある全27holes。この素晴らしい眺望の中でPlayしていると、自分がNorth Californiaにいることを実感できます。コースはVine YardとWater Hazardが戦略的に配置されており難易度はやや高い。芝地から打てる練習場、

10日本人学生お気に入りコース。

Eagle Vines Golf Club

Chardonnayに隣接する姉妹コース。平日で$36～45休日で$46～70. 休日で$39～45. Chardonnayと同じく素晴らしい眺望と抜群のコースコンディションを誇るが、コースはより戦略的で難易度は高い。韓国人学生に大変に人気。

Hidden Brook Golf Club

I-80を北に30分程度。平日で$45～50 休日で$55～85. Vallejo Hil内の高級住宅街に隣接する、Arnold Palmer設計の18holes。Hillの自然環境との調和が巧みに図られた大変に美しいコース。コンディションも最高の域にあるが、Palmer自身が、設計後初めてPlayし、Par Scoreであったという難易度の高さ。

Adobe Creek

I-110を北に30分程度。平日で$28～50 休日で$35～76. 世界的に有名なRobert Rent Jones jr.設計監修。その名のとおりCreekが随所に配置されたChampion Course。10のHが、生まれて初めて80台を記録した思い出のコースでもある。

＜South Bay＞

Half Moon Bay Golf Links

I-101を南にI92を西に約50分。平日で$160～180 休日で$185～205. 全米のBest Public Course Best 10に毎年必ずランクされる超名門コース。値段は日本並みに高いですが、思い出のラウンド

にどうぞ。

Golfnow.com

オンラインTee Time予約サイト。Bay AreaのPublic Courseのほとんどを網羅している。予約時にブッキングフィーを取られるが、通常では得られない割引価格が提供されていることがある。ゴルフ場の情報を集めるのにも便利。

d. ダイビング

サンフランシスコ近辺の海はかなり冷たく、夏でも水温15度程度にしかならないようです。敢えて潜るならモントレー（Monterey）に大きなショップがあり、有名なようですが、伊豆の海のイメージとは大分違います。ショップの人の話では、スーツはできればドライ、ウェットでも7mmは欲しいとのことでした。（フードも必要）

e. アウトドア

自然にめぐまれたベイエリアおよびその周辺ではいくらでも自然を楽しむことができます。 特にヨセミテ国立公園はキャンプ好きの人にはたまらないでしょう。Cal Adventureのプログラムの中にもトレッキング等のツアーが多数用意されています。

f. フリスビー

広い芝生のグラウンドがあってこそですが、フリスビーを使ったラグビーのようなゲームUltimateはこちらで見つけた意外なポピュラースポーツです。

g. ローラーブレード

カリフォルニアではいたるところでローラーブレードをはいた人がいるというのはちょっと勘違いでしたが、かなりポピュラーです。道具も安く買えますし、これでベイ沿いのサイクリングロードを走るとかなり気持ちがいいでしょう。 また毎週日曜日にSan FranciscoのGolden Gate Parkの一部は車両通行止めとなり、ローラーブレーダーの天国になっているようです。そこでレンタルしてみるのもよいでしょう。

h. ヨット

Cal Adventureのプログラムの中に、ヨットの入門講座がありますので、初めての人はそこで習うのがよいでしょう。

また、バークレーマリーナにいくつかのヨットクラブがあります。ここでは、最も安いクラブを紹介します。3ヶ月の会費が$40で、月、木、土曜日に行くと、コーチ付で乗せてもらえます。さらに、試験にパスすると自分で自由にヨットに乗り回すことができます。

Cal Sailing Club

124 University Ave., Berkeley

http://www.cal-sailing.org/

3）観戦

a. 大学スポーツ

大学スポーツの中で最もポピュラーなのがフットボールです。アメフトのルールに詳しくない人でも、とりあえずゲームに行って応援をしていると、アメリカで大学生活をしているんだという実感がわきます。新学期が始まってまもなく(8月終わりから9月初め)、RSF裏のチケットオフィスでスチューデントシーズンチケットが販売されます。チケットは全部でホームゲーム5試合分。1試合だけ一般で買うより学生用のシーズンチケットのほうが安いので迷わず購入しましょう。すぐ買わないと売り切れます。観戦する際はスクールカラーの青と黄は安全ですが、赤はスタンフォードの色なので非常に危険です。服の選択にはご注意。最終戦（11月終わりころ）はライバル校スタンフォードとの試合で毎年Big Gameと称し大変盛り上がります。Big Gameのチケットは完売してしまいますので、なるべく早く購入するのがいいでしょう。他に大学スポーツではバスケットボール、野球、水球などがあり同じくチケットを購入することになります。バスケットボールに関しても、その年の強豪チームとのカードがあると売り切れてしまいますので、ランキング情報を確認しつつなるべく早く購入することをお奨めします。

b. プロスポーツ

アメリカで本場のスポーツを生で見る機会を是非利用したいものです。野球チームはサンフランシスコジャイアンツとオークランドアスレチックスがあります。また、バスケットボールはゴールデンステートウォリアーズ、アメフトはサンフランシスコ49's、オークランドレイダース、アイスホッケーはサンノゼシャークスといったプロチームがあり、いろいろ楽しめます。ちなみに、オークランドアスレチックスの試合は、チケット売り場の窓口で学生証を提示することに

より、学割5割引となります。

また、テニスでは、Bank of West Classic（Women, Stanford、7月）、SAP Open(Men、 San Jose、2月)等のトーナメントが、ゴルフも全米オープンを初めとする大きな大会がベイエリアで行われます。

チケット全般の購入方法ですが、Ticketmaster
http://www.ticketmaster.com/
でオンラインクレジットカード決済ができます。

4) イベント

学生の企画するチャリティーイベントC4Cではいくつかスポーツものもあります。Haas内部で行われる単種目ものとしては5K競走、スキー、ゴルフ、などがあります。最大のイベントは西海岸のビジネススクール6校が参加してスタンフォードで開かれるスポーツ大会です。 種目は幅広くサッカー、バスケットボール、バレーボール、テニスといった通常のものから、ダーツ、ボウリング、ローラーブレードホッケーなどといったものまで20種程あり、それぞれ皆チームを作ってそれなりに練習をして臨みました。全部で1600人ほどが参加するという大イベントで宿題に追われる学期終盤ではありながら、皆現実を忘れて楽しく参加していました。

5. アート

ベイエリアでは、日本ではなかなかチャンスがないコンサートや芸術が低料金で楽しめます。サンフランシスコはもちろんのこと、バークレー周辺でも多くのシンフォニーや美術館がありますので、そのうちのいくつかをここで紹介します。日本のぴあに相当するものとしては、San Francisco Chronicle のDatebook(特に日曜版）やExpress誌が役に立ちます。

1) 音楽

San Francisco Symphony

全米でも評価の高いSFSが、‘95から常任指揮者にMichael Tilson Thomasを迎え充実しています。この指揮者はグラミー受賞者でもあり、古典もの、ロマンものに加え、近代もの(特にアメリカもの)を好んでいるようです。シンフォニーのプログラムも自然とそういった傾向になっています。又、当指揮者以外に来るゲスト指揮者や、ゲスト演奏者も大変充実しており、毎回楽しみです。シーズンチケットを購入するのもよし、Yo-Yo Ma, Midori, Perlman などのリサイタルや好きな演目を個別に購入するのも又良いでしょう。まずは、下記に電話して、パンフレットを入手し、検討しましょう。以後は向こうのメーリングリストにのるので、定期的にパンフレットが送られてきます。もちろんウェブサイトで購入できます。また、学生向け超低価格（それでいて席はそれほど悪くない）のシリーズチケットのパンフが、新学期すぐにASUCあたりで配布されるので要注意(7月下旬頃から申込開始、定員になり次第締め切り)。クリスマスのプログラムに行きましたがなかなか良く出来ていました。付近にレストランもあるので色々回ってみるのも良いでしょう。

San Francisco Symphony

Davies Symphony Hall, S.F.

Tel 415-864-6000,　Fax 415-863-3345

San Francisco Opera

メトロポリタン、シカゴと並ぶ三大オペラの一つ。世界一流の呼び声高いオペラハウスが2年の改修工事を終え、復活しました。演目はLa Traviataなどの定番だけでなく、意欲的に新しいものをやっています。3月から5月まで学生割引のチケットの申し込みがあります。これは、定価$105が$25になるというもの。申し込み期間が早いので残念ながら新一年生の方は、入手が困難ですが、オペラ好きの方なら定価でも損はしないはず。席により$40～200くらいです。一度何かの機会に行っておくと、プロモーションメールが送られてくるようになり、日によっては$12～で行けます。「セビリアの理髪師」に行きましたが非常に完成度が高かったです。ちなみにこのオペラハウスはサンフランシスコ講和条約が締結された場所であり、War Memorialと冠が付いています。荘厳な内外装に息を飲みます。チケットはウェブサイトで購入できます。

301 Van Ness Ave. S.F. 415-565-3261

San Francisco Ballet

こちらの人に大人気のバレエ。年末恒例の”Nut Cracker（クルミ割り人形）”から前衛ダンスまで幅広く楽しませてくれます。Nut Crackerはお子様をつれて家族で楽しめますのでおすすめです。

前述のオペラハウスで上演されます。

Cal Performances

キャンパス内のZellerbach Hall やHertz Hallなどでは、Classic, Ethnic Music, Dance, Jazz など様々なイベント(BerkeleyのDiverse cultureそのもの）が行われています。Gospel Choirは圧巻です。もちろん学生は半額。Zellerbach HallのTicket Officeや電話（手数料8ドル）で購入できます。510−642−9988

その他では、イーストベイのYoshi'sなどのJazz Houseが有名です。Yoshi' sはオークランドダウンタウンのジャックロンドンスクエアの近くにあり、全米の一流ミュージシャンの演奏が学生割引（$10前後）で楽しめます。

2) 美術

SF Museum of Modern Art (SFMOMA)

151 Third STt. S.F. 415−357−4000.

95年にオープンしたSFMOMA。人気が途絶えず平日でもこんでいます。MuseumはBottaがデザインしたもので、Matisseや現代写真家の作品が展示してあります。

Center for the Arts Yerba Buena Gardens

SFMOMAの正面に位置しているCultural/Ethnic Artの美術館。例えば現在はMexican artistの特集をやっています。

701 Mission St. S.F. 415−978−ARTS

University Art Museum

現代画、彫刻のほかに、Pacific Film Archiveの6,000以上の日本やソビエトの映画のコレクションをしています。学生無料。2626 Bancroft Way. Berkeley 510−642−0808

サンフランシスコやオークランドには、他にも様々なMuseumやGalleryがあります。キャンパス内では、東側の丘の上にBotanical Garden (植物園）が有名です。校内新聞の一つBerkeleyan に校内のイベントや様々な展示物が紹介されていますから参考にされたらよいと思います。

6. 旅行

日本と比較して宿代や移動コストが安いこちらでは、旅行は最もポピュラーなレジャーのひとつであるといえます。クラスメイトから思わぬ穴場情報が入手できることもありますので、日本人に限らずいろいろな人に聞いてみることをおすすめします。「地球の歩き方」などの日本語のガイドブックがあると便利です。Lonely Planetシリーズ（「地球の歩き方」はこのシリーズのまね）などのガイドブックがこちらでも手に入りますが、「地球の歩き方」の方が優れているという声もあります。

以下にバークレーから週末を利用していける代表的なスポットを紹介します。(カッコ内は車を使った場合の所要時間）

Monterey/Carmel (3時間)

アメリカ人に人気のある観光地。モントレーは古い港町。(個人的には加州の熱海と呼びたい。） Monterey Bay Aquariumが有名。クラゲの美しさに魅せられる。カーメルは瀟洒な浜辺の町。きれいな砂浜がある。ゴルフ場のペブルビーチや17 Mile Driveはカーメルの近く。日帰りするのはちょっと厳しい。

Yosemite National Park (4.5時間)

米国を代表する国立公園の一つ。氷河に削られた岩山のダイナミックな地形が圧巻。 夏がハイシーズンだが、真冬に訪れた人もいる。（人が少なくて良かった。） 公園内のホテルはなかなか予約がとれないとのこと。

Lake Tahoe/Reno (4時間)

タホは、夏はキャンプ、冬はスキーと一年中楽しめるリゾート。カジノもあります。リノはミニラスベガス。1960年に冬季オリンピックが行われたSquaw ValleyもTahoeにある。

Napa/Sonoma (1時間から1時間半)

大小300軒近くあるワイナリーで、ワイナリーツアーやテイスティングが楽しめる。First Streetにある観光案内所で地図を入手すると便利。日帰り可能。

＊＜テイスティング・ツアー入門＞は章末参照

Sausalito (0.5時間)

サンフランシスコに隣接した港町のリゾート。ショップやレストランがいっぱい。丘の上にはサンフランシスコを望めるビューポイントがある。(未確認だが、Alta Mila HotelやCasa Madrona Hotel内のレストランが良いとの話。)

Six Flags Great America (1時間)

北カリフォルニア最大のテーマパーク。どちらかというと「絶叫マシン」が売り。

Marine World Africa USA (0.5時間)

海、陸、空の動物たちのいろいろなショーが楽しめるテーマパーク。リニューアルされた絶叫系のマシンがかなり充実。

Muir Woods National Monument (1時間)

大木レッドウッドの森のなかで森林浴。長短いろいろのハイキング・コースがある。

「旅行」という表題からはすこしそれますが、隣町サンフランシスコに見所はたくさんありますし、地元バークレーにも、ピクニック、ハイキング、ゴルフ、メリーゴーラウンド、ミニ蒸気機関車、ポニーライドなどが楽しめるTilden Regional Parkがあります。

<テイスティング・ツアー入門>

多くのワイナリーは一般に開放されており、5－15ドル程度で数種類試飲できるテイスティング・サービスを提供しています。そこで飲んだワインを気に入れば、その場で購入するという仕組みです(購入すると試飲代が無料になる場合もあります)。また、一部のワインは市販されておらず、ワイナリーでのみ購入可能なものもあります。

テイスティングは基本的には予約は要りません。通常、ほぼ年中無休、午前10時／11時から4時／5時くらいまで営業しています。ですので日帰り・宿泊にかかわらず一日3－4軒程度めぐることができます。また、飲酒運転を避けるため、大人数でバンやリムジンを貸しきるという方法もあります(1台1日数百ドル程度します)。

多くのワイナリーでは会員を募っており、会員になると15%－25%程度の値引きや製造数の少ないワインの優先購入権が与えられたりします。会員には通常無料でなることができますが、その代わり年に数回、ワイナリーが選んだワインを購入することになります。会員になるには、ワイナリーでその場でサインアップするか、HP等でも行えます。(すべてのワイナリーが一般に開放されているわけではなく、ごく一部の超人気で生産量の少ないワイナリーでは会員になってワインが買えるようになるまで数年待ちの場合もあります。このようなワイナリーではテイスティングも行っていません)

テイスティング・ツアーを行う場合、昼ごはんを食べる場所に困る場合があります。多くのワイナリーはピクニックエリアを設けていますが、食べ物を提供する売店はあまりありません。サンドイッチ等を持参することをお勧めします。また、実はソノマ・ナパの地域はアメリカ西海岸随一の高級レストランがある地域です。(French Laundryは西海岸唯一のミシュラン三ツ星)基本的に長期予約待ちの状態ですが、これらを夕食等に利用するのもお勧めです。

以下、お勧めワイナリー。(ソノマ中心)

Santa Rosa 地区
○Ledson　http://www.ledsonwinery.com/winery
○Matanzas　Creek　http://www.matanzascreek.com/
○St. Francis http://www.stfranciswinery.com/

Healdsburg 地区
○Arista　http://www.aristawinery.com/arista/index.jsp
○Gary Farrel　http://www.garyfarrellwines.com/
○Rochioli　http://www.rochioliwinery.com/

Sebastopol 地区
○Iron horse　http://ironhorsevineyards.com/

Windsor 地区
○Chalk Hill　http://www.chalkhill.com/Estate/

7. トラブル対応

緊急事態

なにかことが起これば警察に連絡するのはこちらでも同じですが、こちらの緊急電話911は、警察、消防そして救急車が同時に呼ばれます。家の電話からかけると、住所・電話番号が自動的に認識されるようで非常に迅速です。事故、盗難など警察だけの用件の時には、以下の Non-Emergency ナンバーに連絡してください。

Berkeley	510-981-5900
Oakland	510-777-3333

夜中や休日の子供の急な発熱などまずいつも受診している先生に連絡をとり（夜中でも電話連絡がとれるはずです）、症状を話して指示を受けます。たいていはこれで済んでしまうのですが、連絡をとるのが難しい場合、あるいは症状が重い、すぐに診てもらうのが難しい、火傷や怪我、誤飲等、緊急に受診が必要といった場合には、病院のEmergency（ER）の窓口へ行けば24時間診てもらえます。こちらのERはそれほど敷居が高くないので（夜間外来に毛が生えたくらいの認識で）、直ぐに受診を考えたほうがいいそうです。

Children's Hospital Oakland

Emergency: 510-428-32407

47 Fifty Second Street, Oakland

10タダは、子供が急に体調を崩し早朝に救急車を呼ぶことになったことがありましたが、子供がこの病院へ搬送されました。後追いでERまで行きましたが（受付は若干効率が悪い）、小児科専門の病院だけあって医師のレベルもしっかりしており、また、あらゆる質問にもきちんと回答してくれ、非常に安心感を覚えました。特に、同時間帯に複数（最低でも４－５人）の医師（恐らくインターンも含む）が待機しており、これら医師がすべての患者を巡回で診察にくるので、自動的にセカンド・オピニオン、サード・オピニオンを聞くことができ、良かったです。看護婦も老練（！）で、様々なアドバイスをくれます。

Alta Bates Hospital

Emergency: 510-204-1303

09ツチヤは、夜に子供が怪我をしたときに連れて行きましたが、非常に感じよく正確に対応してくれました。

病院へ行く際には以下のものを準備していかれると、症状などの重要な情報を的確に医師に伝えることができます。普段から準備できるものは用意しておかれることをおすすめします。

・保険のIDカード（JAL/AIUの場合はSFのAgency Officeの住所や電話番号なども。保険の冊子にのっています）およびにInsurance Form。

・日本の母子手帳を英訳したもの・予防注射などの記録（アメリカの小児科で注射の際にもらえる）

・アレルギーがある場合は反応が出るもののリスト。

・かかりつけの小児科医の名前、住所、電話。

・症状や体温、薬の投与を時系列に記したメモ（英語）

・現在与えている薬（パッケージや説明書など）

Emergency（ER）の医療体制はかなりしっかりしていますので（ドラマの通り）、落ち着いて、症状をきちんと伝えることが重要です。大人の場合も基本的には子供と同様です。

Ⅶ. 出産 ・子育て

以下の情報は、

1. 妊娠がわかったら(2008年一部改訂)
2. 出産(2008年一部改訂)
3. 子育て(2009年一部改訂)

となっています。

バークレーの 子供をもつ親同士のネットワーク
http://parents.berkeley.edu/ (英語)
で、子育て全般に関する情報を入手することができます。かなり役立つ情報が多く重宝しました。

1. 妊娠がわかったら

1) WIC

WICは、California Supplemental Nutrition Program for Women, Infants, and Children の略で、低収入の人(pregnant / breastfeeding women & children under the age of 5)に以下のものが無償で与えられるシステムです。私費の学生ならまず「低収入」に該当します。

- Nutritious Foods
- Nutrition Education
- Nutrition counseling
- Referrals for health care
- Support and help with breastfeeding

プログラムの詳細は
http://www.wicworks.ca.gov/about/general.html

火曜の1:00pmと木曜の11:00amに行われるorientation meetingに参加して説明を聞き、必要書類を記入し、面接のようなものを受けて(proof of income, proof of residence, IDなどが必要)、次に妊娠時の食事の諸注意やその他のカウンセリングを受けると、スーパーマーケットで引き替えられる1ヶ月分のクーポンを発券してくれます。毎月一回行き、一ヶ月分を発券してもらいます。

妊婦用としては、ミルク、シリアル、卵、チーズ、ジュース、ビーンズかピーナッツバターで、総額50ドル以上相当の価値となります。

WIC
830 University Ave. (corner of 6th & University)
Berkeley, CA 94710
Tel: 510-981-5360

2) PCPについて

PCPとはPrimary Care Providerのことで、主治医のこと。いざという時に備えて近くのドクターの誰かになって貰っておくと良いでしょう。また、妊娠したときに産婦人科(OB/GYN)のドクターに紹介状(referral)を書いてくれます。妊娠関係は傷病でない為、通常旅行傷害保険の対象外なので、別途支払いが必要。

3) Medi-Cal

Medi-CalとはCalifornia州が無収入または超低収入の人対して行っているHealth Care Programを言います。Medi-Calにapproveされると、様々な医療サービスが受けられるようになります。尚、Medi-Calは経済的に弱い立場の人たちを助ける公共サービスです。したがって、月々の収入がある社費留学の人はapplyできませんので、ご注意ください。

多くの医療保険は、妊娠が分かった後だとapplyできないのですが、Medi-Calには、妊娠が判明してからでもapplyできます。通常、審査に時間がかかるので、もし審査が終わるのが待てない場合には、West Berkeley Family Practiceというクリニックに行けば、Medi-Calの「Presumptive Eligibility」を発行してもらうことができます。そうすることで、Medi-Calの正式なapprovalを受ける前に診察をしてもらうことができます。

尚、超低収入には該当しないが低収入である場合はAIM (Access for Infants and Mothers) Programもあります。

Medi-Cal Center
8477 Enterprise Way, Oakland, CA 94621
Tel: (510) 777-2300 or 1 (800) 698-1118

Alameda Social Service North County Multi-Service Center

2000 San Pablo Ave, Oakland CA 94612

Tel: (510) 891-0700

West Berkeley Family Practice

2031 6th Street, Berkeley, CA 94710

Tel: (510) 704-6000 / 6010

（クリニックですが、ここでもMedi-Calへのapplyが可能）

Access for Infants and Mothers

Request Application: 1 (800) 433-2611

Help and Information: 1 (800) 300-1031

4）無保険での出産

保険に加入せずに無保険の全額自己負担で出産することも可能です。Medi-Calは可能なようですが、一般の保険会社はすでに妊娠が判明している段階から加入してもPreexisting Conditionということで妊娠・出産に関わる費用の支払を拒絶されるケースもあるようなのでご注意ください。米国の医療費はとても高額なので、家族計画のある方は事前にMedi-Calに加入するか、一般の妊娠・出産をカバーする保険に加入しておくことを強くお勧めします。

Class of 08の天木は全額自己負担でいきました。SF市内のCalifornia Pacific Medical Centerには無保険者用のパッケージディスカウントがあり、1泊2日の入院費用が5000ドル(医師の分娩費、薬代は別途支払が必要)。出産に必要とした検診、各種検査、分娩費を含めると約1万１千ドルかかりました。

2. 出産

1) 主治医の選び方

日本人、女医、有名、大病院等々、何に重点を置くかで変わってきます。私達も最初、日本語の話せる方を探そうとしましたが、娘のピアノの先生（日本人）から、日本語が話せる安心感も分かるが、地元の名医を選んだ方がいいとアドバイスを受けました。実際、その先生はその昔、日本人のやぶ医者にひどい目にあったそうで、非常に力説していました。そこで会社の先輩の奥様に伺った処、いい女医さんを紹介してもらいました。

一つ留意して頂きたいのは、医師は普段は自分のオフィスに居て、出産時に提携している病院に出向いて分娩する点です。つまり誰かのお産に自分の検診が重なると、別の医師もしくは看護婦に見てもらう事になります。医師同士の連絡は緊密だと先方は言いますが、日本と勝手の違うシステムに少々戸惑っております。当地は医療費が高いのが頭痛の種です。派遣の方は、会社の規定をよく確認され、自費の方は保険の研究をお勧めします。カイザー保険・シグナ保険は最高90％まで出産費をカバーしてくれるようです。また検診費用がお医者さんによって結構差がありますので値段のチェックも怠らずに。

Dr. Donna Wiggins

Golden Gate OB/GYN

3838 California St Room 812

San Francisco, CA 94118

日本語はできませんが、とても親切でホンワカした感じの女医さんです。Class of 08の天木はこの方に子供を取り上げていただきました。SF市内のCalifornia Pacific Medical Centerで出産します。通常は検診してもらっている医師が分娩も担当しますが、夜間や週末等は当直の医師が担当します。よってGolden Gate OBでは誰になっても大丈夫なように、検診の段階で所属している全ての医師と一回は会えるようにセッティングしてくれます。

Dr. Katarina Lanner-Cusin

Ob-gyn fertility specialists medical group

2915 Telegraph suite 200

510-845-8047

日本語は喋れないが、彼女自身フランス人なので、外国人に対する理解がありとても親切。この病院は、すべて女医さん。出産の病院は、Alta-Bates という大きな病院を使う。

Dr. Jim Nishimine

2507 Ashby Ave., Berkeley,

510-644-3000

日本語の会話は出来ないが、大抵の医学用語を日本語でもご存知なので英語が苦手な日本人にはお勧め。信頼を置ける先生と

の評判。

Dr. Helen Hu

3838 California St., S.F.,

415-668-3161

日本語が少しできる。おおざっぱなので、心配の少ない妊婦向き。出産時の病院では日本語が通じない。

Dr. Albert L. Brooks

Omni Obstetrics & Gynecology Medical Group

2999Regent St. #301, Berkeley,

510-204-0965

黒人のひょうきんな先生でとても親切。

2) 出産方法

先生によって違いますが、通常は通院中に自然分娩か無痛分娩かを選択します。最近は無痛分娩の中でもエピドラル(部分麻酔)を勧められるケースが多いようです。母子ともに悪影響はなく出産中も意識がはっきりしています。但しあくまで本人の意志が尊重されますので、絶対自然分娩で、という人はその意志を先生に伝えて下さい。

3) 産後

アメリカでは通常母体に問題が無い限り出産後48時間で退院させられてしまいます。退院数日後に看護婦さんが家に来てアドバイスをしてくれるシステムもあります。

<参考資料>

ジャパンタイムズ　ノーラ・コーリ著「海外で安心して赤ちゃんを産む本」　語学・通院・出産方法等情報が盛り沢山で大変役に立ちます

3. 子育て

下記の様な候補がありますが、日本語OK希望の場合、SFのFukuda先生が有力候補でしょう。

1） 小児科

YASUKO FUKUDA, M.D, Pediatric and Adolescent Medicine

3905 Sacramento St., #303 San Francisco, CA 94118

Phone: 415-752-8038

バークレーからだと少し遠いですが(車で一時間)、非常にきびきびとした、頼れる小児科の先生です。先生、受け付け(オフィスアワー)ともに、日本語完璧OKです。緊急の場合でも電話をすれば、オフィスアワーに関係なく、すぐに対処法を指示してくれます。Oakland Children Hospital出身なので、必要であれば、ここの紹介もしてくれるそうです。Cherry Street とSacrament Streetの交差点に立つビルです。

Dr. Himeo Tsumori

2107 Van Ness Ave. #302, S.F.,

415-776-5295

日本語OK。親切。

Kiwi Pediatrics

Dr. David W. Kittams

1178 San Pablo Ave., Berkeley

510-524-9400

日本語はできませんが、とても良い先生。英語はとても分かりやすい。他の先生も良く、UC Villageに近いことから、日本人・外国人問わず、住人の多くはここに通っている。Kittams先生は、Alcatraz Ave.オフィスとの掛け持ちで、San Pabloオフィスに来るのは水曜午後と金曜のみ。

Dr. Christina Vo (East Bay Pediatrics)

2999 Regent Street Suite 325

Berkeley, California 94705

日本語できません。アジア系の女医さんでとてもフレンドリーで親切な先生です。Class of 08の天木家はこちらにお世話になっております。先生自身お子さんが二人おられるので、出産後の授乳や

離乳食の与え方等、色々と相談にのってくれます。妻はいつも30分ぐらいおしゃべりして帰ってきます。

Dr. Petra F. Landman (The Pediatric Medical Group)

2510 Webster St., Berkeley,

510-849-1744

とても親切。子供が急に熱を出しても朝電話すれば午前中には診てくれる。5人の小児科医のグループで24時間緊急電話サービスあり。

Dr. Steve Kowaleski (The Pediatric Medical Group)

2510 Webster St.,Berkeley,

510-849-1744

子供が好きそうな先生。

日本ベイクリニック

40 North San Mateo Dr San Mateo, CA 94401

TEL (650) 558 - 0337

http://www.nihon-bayclinic.com/

場所がSan Mateoなのでかなり遠いですが、小児科もありますので親子ともども診てもらいたい時には便利です。医師・受付とも日本人。

2) ベビーシッター

音楽会やパーティなどで、小さな子どもを一緒に連れて行けないときには、知人や友人に預けるかベビーシッターに世話を頼まなければなりません。ベビーシッターを利用する場合には、見知らぬ人を家に入れて、大切な子どもの世話を任せることになるので、人選に細心の注意が必要です。まずベビーシッターの探し方です。手っ取り早いのは、日本人奥様同士でベビーシッターし合う事でしょう。職業別電話帳に記載されているベビーシッター紹介所に問い合わせることもできますが、バークレー近郊にお住まいの方には、BANANAS Child Care Information (5232 Claremont Avenue, Oakland 510-658-0381) が便利で、かつ安心でしょう。ベビーシッターをしたいという200人以上の応募者のプロフィールがまとまっているので、自分の希望と一致する人の電話番号をそこでメモし、あとで電話で条件等を本人と直接交渉することになります。プロフィールには、年齢、性別、Native Language、希望日、希望する時間帯、喫煙の有無、ベビーシッターとしての専門知識・経験の有無などが記載されており、ほとんどどのようなニーズにも応えられるようになっています。 料金は＄5～＄12/ hr と人により格差があります。一般に年齢が高く、英語を母国語とする人は高い料金を要求します。$10以上を要求する人は、身体障害者の介護など特別の資格を持っている場合が多いようです。しかし料金とサービスは比例せず、低料金のMien系(ベトナム人)や、大学生の方が、かえって経験豊富で親身な場合も多くあります。また相手の身元がしっかりしていることは、忘れずに確認して下さい。親や子どもと同居していればまず安心ですが、一人暮しの身軽な人にベビーシッターを頼む場合は、家財の盗難を含めて様々なリスクを負うことになります。電話で交渉がまとまったら、前もって本人と会い、直接話しをしてみて下さい。気に入らなければ遠慮なく断わって構いません。

他のソースとしては、UCバークレーの関係者の親が作っているホームページで、メールグループに登録しておくと、時々、ベビーシッターの紹介メールなどが飛び込んできます。

どうしても日本人がいいと言う方のための裏ワザとして、バークレーのアンダーグラッズにE-Mailして探すという方法もありますが、試された方の話は聞いたことはありません。

外出する当日は、親の行き先、帰宅時間、緊急時の連絡先をメモ書きにして渡すとよいでしょう。子どもの食事や入浴、おむつの交換などは頼めますが、出かける前に用意はしておいた方がいいです。まれに長電話をしたり、友人を呼んだりする不心得者もいるので、して欲しくないことはきちんと伝えておいたほうが無難です。深夜や、長時間のベビーシッターを頼む場合は、彼らの軽食も用意した方がよいでしょう。1人か2人信頼できるベビーシッターが見つかったら、毎回、その人に頼むようにする方が、親にとっても、子どもにとっても負担が減ります。「夏休みだけOK」というような短期型ではなく、バークレー滞在中はいつでも頼めるような長期型のベビーシッターを選ぶことが、上手なベビーシッターの利用法と言えましょう。

3) デイケア・幼稚園・学校

お子さんをお持ちの方にとっては、子どもの教育は気がかりなものです。こちらでは、3 ヵ月ぐらいからデイケア(託児所)、2 歳ぐらいから pre-school (日本で言う幼稚園) 5 歳から Kindergarten(日本の年長)があります。今までの友達と別れ、言葉のわからないところで半日を過さねばならぬ心細さは、大人のそれを上回ることでしょうから、最初は十分なケアが必要になるでしょう。

Pre-school は、日本で言う保育園と幼稚園の両方の機能を併せ持っています。Pre-school にもよりますが、通園する時間帯や曜日はフレキシブルに選べることが多いようです。また、snack time (おやつ)や、nap(お昼寝)が、スケジュールに組み込まれているのが普通です。

Pre-school のタイプとしては、以下の 3 つがあります。

・Traditional 普通の幼稚園

・Montessori モンテソーリ方式を使い、礼儀や文字、数字の勉強が中心

・Parents co-op 親の保育参加が必要。その分若干月謝は安い。

それぞれの学校の規模は日本と比べると小さく、生徒数も、1 クラス 15 人程度で、先生が 3 人はつきます。日本のように皆で何かする(しなければならない)ということはなく、ある子はお絵書き、ある子は粘土といたって自由(野放しとも言う?)。

現地の英語による Pre-school を探す場合は、無料の月刊誌 Parent Press の広告欄、Banana Child Care (510-658-0381)、Yellow Page の pre-school の欄等を参考にしていくつか選び、実際に見学に行って決めるのがよいでしょう。UCB関係者でお子様をお持ちの方が運営する Web-site ペアッレントネット http://parents.berkeley.edu/も、いい情報源となるでしょう。

短期滞在の方などで、子供の言葉が心配な方などは、やはり日本語の話せる先生がいてくれると心強いと思います。日本語の話せる先生がいる学校としては、

Sycamore Christian Preschool

(1111 Navellier Street, El Cerrito; 510-527-9522)

http://www.sycamore-preschool.org/index.html

日系アメリカ人の Reiko 園長先生は非常にやさしい方です。日本語の先生による日本語での保育、園長先生による英語での保育が適度に配されており、また子供も日本人のみならず、地元のアメリカ人もおり、バイリンガルな環境が整っています。朝 9 時から最長午後 4 時まで預かってくれますし、曜日指定で毎日は学校に来ない子供もおり、ご自分の都合に合わせて選択されると良いでしょう。午前中は人数によって、さらに補助の先生もついてくれます。日本とアメリカ(ハロウィーン、感謝祭、イースター等)の両方の行事を取り入れています。例えば、秋には運動会が行われたり、ハロウィーンには、子供達は思い思いのキャラクターに仮装して学校でのパーティに参加し、その後は近所に"Trick or treat"に出掛けたりと、日米の習慣に基づいた保育が楽しめますし、これらの行事の多くは父兄参加が奨励されており、他のご家族の方とも仲良くなる良い機会です。夏にはサマーキャンプやプレイグループなどもあります。お集まりと自由保育のバランスもよく、園児達も英語と日本語の両方で話しながら、非常にいきいきと伸びやかに過ごしているようです。

幼稚園と同じ敷地内にあるシカモア教会には日本人の牧師さんもおり、小規模ながら日本人コミュニティがあります(ピアノレッスンや編み物教室あり)。バザーなどでは多くの日本人が集まります。

また、ベイエリアは概してデイケア、プレスクールともかなり高いですが(low-incomeの家庭は州政府補助を受けることができますが、皆さんはそのカテゴリには入らないので)、Sycamoreは他のデイケアやプレスクールに比べて比較的安いというのも魅力の一つです。

Nomura Pre-School Kindergarten & Primary

510-528-1727

日系人経営。2 歳 6 ヵ月から入園可能。週に 2 回日本語のクラスがあるだけで、基本は英語で保育を行う。

他には、バークレーの Glowing Lights という Montessori の幼稚園にカタコト日本語を喋れる方がいるようです。2 才未満の場合は、バークレー付属のチャイルドケアセンターにも、一人日本語の話せる先生がいるそうです。

日本語を話せる先生はいませんが、09 ツチヤは、2 歳の息子を以下の Pre-school に通わせていて、非常にいい学校だと感じています。18 か月から入れます。Director の Linda は UC Berkeley の卒業生。

Keystone Montessori School

6639 Blake Street El Cerrito, CA 94530

Telephone: (510) 236-7479

http://keystonemontessori.org/

日本語幼稚園に限らず、評判のよいところほど入園待ちになる可能性が高いので、お子さんを早く入園させたい場合には、早めに行動をとられることをおすすめします。

また、East Bay Japanese Language School は、土曜日に開かれる主に日系人の子女の為の日本語学校で、年齢、日本語のレベル別にクラス編成されています。後述する SF の日本語学校が将来日本に戻る駐在員の子女向けであることから学力の維持・向上に主眼を置いているのに対し、楽しく日本語や日本の文化を学ぶことに主眼を置いている。英語の幼稚園や小中学校の評価についても、先ほどの UCB Parents のウェブサイトにいろいろな情報やリコメンデーションが載っていますので、ご覧ください。

East Bay Japanese Language School

(5395 Potrero Ave., El Cerrito;510-222-4798)

日本語である必要がなければ、バークレーの学生向けのEarly Childhood Education Programをお勧めします。生後3ヶ月から7歳までの子供を預かってくれます。低収入者であれば、格安もしくは無料でサービスを受けることができます。両親ともに学生、もしくは片方が学生でもう片方が仕事についている人が優先されます。

UC Berkeley's Early Childhood Education Program

http://www.housing.berkeley.edu/child/

また、YMCAでもChildcareサービスをやっています。低所得者で一定の条件を満たせば、無料でサービスを受けられます。

West Berkeley Branch YMCA/Project Head Start

2009 10th St Berkeley, CA 94710

Tel: 510-848-9092

幼稚園、小学校以上は、現地校へ入学するというのが大抵のパターン。入学するには、まず、その学校の校長先生かそれに準ずる教員・スタッフに面会を申し込むことから始めます。直接学校に電話で面会日時の約束をとりつけ、学校へ父親或いは母親が(場合によっては子どもを連れて行き)、簡単な手続きを済ませることになります。事前に授業参観をすることもできます。(MBA2006 の秋山は、家族全員での渡米前に妻と私だけセットアップのため 6 月に渡米し、妻と小学校を訪問しました。そのときに子供の小学校への申し込みを行いました。当方は子供が二人いるので二人が同じ学校になるように強くお願いしました。同時に必要な予防接種の説明も受けました。通う小学校は 8 月の新学期

直前に決まりました）

外国人の子どもには英語の補習クラスである ESL(English as Second Language)が通常あるが、2003 年度は折からの州の財政危機の為に ESL Teachers への Fee が払えず ESL が組めない、といった困った状況でしたが、2004 年度から再開しており（2005 年も継続中）外国人の子供達の英語習得には不可欠の役割を果たしています。（幼稚園児（5 歳から 6 歳）にも 09 年現在英語補修クラスは用意されています。）尚、身体障害者のための小学校がバークレーとリッチモンドにあります。

学校のレベルは、一般的にアルバニー市の教育水準が高いと言われており、同市の三校の公立校が全米の共通学力試験では過去数年カリフォルニア州でトップ 5、全米でもトップ 10 に入っているほどです。バークレーの学校は市を 3 つに分け、学区制が取られています。学校間の差が激しいらしく、同じ学区内のどの学校に行くかは、教育委員会が抽選で決めます。ただ、日本人はマイノリティとして、優先権のようなものが得られる場合があるので、学区を越えた学校への申請などもあきらめずにやった方がいいようです。各市の教育委員会は以下の通りです。

Berkeley 2134 Martin Luther King Jr Way, 510-644-6147

Albany 904 Talbot 510-526-6441

Richmond 1108 Bissel Ave. 510-234-3825

サンフランシスコには、通信教育と週一回土曜日の登校を組み合わせた日本語補修校があります。渡米前に入学希望がはっきりしているときは、日本出発前に手続きをして支払いを済ませてくると便利です。住所の方は決まり次第知らせることになります。教科書は中学 3 年までは無償です。

日本語学校

S.F. Japanese Language School

760 Market St., #816 San Francisco, CA94102

415-989-4535（火、金）

www.sfjlc.com

先述の通り、主に駐在員などの子女向けに帰国後の日本社会への適応を考慮したカリキュラムを組んでいる。2004年時点で入学金＄180、Security費用＄27/年、授業料は学年毎に異なる（小1-2年＄100/月、小3-中3＄110/月、高1-3＄130/月）。

通信教育

卒業生の中には、小学生の娘さんの為に、ベネッセの“こどもチャレンジ”を海外購読した方もおられます。金額は日本の倍（＄50/月程度）ですが、娘さんは喜んで毎月送られてくるのを楽しみにして待っていたようです。申し込みは以下のネット経由で：

http://www.benesse.co.jp/zemi/

4） 子供用品・遊び場・習い事・レストランなど

子供用品

子供用品は、服、おもちゃ、ベビーカー等、なんでも日本よりも大分安く手に入ります。服の縫製は雑なものもありますが、選べば気になるほどではありません。なお、日本のように綿100%のものは少ないので、低月齢の赤ちゃんで気になるようなら日本から持参することをおすすめします。コットンにこだわっている店もあるので探せばよいものもみつかるでしょう。日本人の子供にはこちらのサイズは手、足共に少々長めですが、かわいらしいデザインの服もたくさんあります。子供服、子供用品、おもちゃ等のリサイクルは盛んで、小さなリサイクルショップをたくさん見掛けます。

大抵の子供用品はこちらで手に入れることは可能ですが、赤ちゃんの衛生用品（爪きり、細い綿棒、無香料石鹸等）は持参されることをお勧めします。おむつやおしりふきは米国で売っているものでも問題ありません。HuggiesやPampersも売っています。かぶれたりすることが心配な方は日本から持参するという手もありますが、かさばるので大変だと思います。おむつ、おしりふきはCostcoが安くて、品物も確かです。なお、こちらで乳児用のパンツタイプおむつが必要な場合は、PampersのFirst Stepがそれにあたりま

す。

ベビーフードも米国製のもので全く問題ありません。Whole Foodsやセーフウェイ、TargetでOrganicのベビーフードを売っています。我が家はGerberのオーガニックとEarth's Best、Homemade BabyというこれまたAll Organicのベビーフードを買っています。ただ、安心して子供に与えられる魚が手に入りにくいので、魚系のBFは重宝するかもしれません。

＜子供服＞

子供服のmonth表示はあまりあてにならないので、手持ちの子供服を持って行って比べるとよいでしょう。また、アメリカの乾燥機は高熱で衣類は縮みやすいので、子供服も乾燥機を使うつもりなら2サイズほど大きめを購入する方がよいでしょう（子供服は乾燥機にかけず室内干しという人も多いです）。

縫裁は雑なものもありますが、デザインはかわいくて値段は安い。かぶりものが多いのが特徴です。

・Gap Kids, baby：Bay street（Emeryville）、Walnut Creekなど

日本でもおなじみ。SALEも頻繁だし、アウトレットにも店舗がよくあるので安く購入することができます。

・Gymboree：Bay street（Emeryville）、 Walnut Creekなど

日本未進出ながら人気の子供服ショップ。デザイン・縫製ともに満足！

・Sweet Potato ：Solano avenue, 4th Street

アメリカでは珍しくコットン100%の子供服（0-7歳くらい）ばかりが揃うが、値段は高い。Sampleコーナーでは非常に安く手に入ります。

・Sweet Dreams ：2921 College Ave.

・A Child Place ：1857 Solano

・Dottie Doolittle ：3680 Sacrament

・Ross: El Cerrito Plaza, Berkeley Downtown他各地

ドンキホーテの様に半端品やB級品をまとめて販売している店。デザイナーブランドの服などとても安く買えます。

※Target, Macy's等では、BFから子供服、ストローラー等のベビー用品までなんでもそろいます。

<玩具>

小学生のお子さんがいる方は鉛筆（B）及び色鉛筆を持参することをお勧めします（当地のものは質が悪く色が薄い）。

・Toys' R' us ：1330 Fitzgerald Dr, Pinole, CA 94564

・Babys' R' us ：3938 Horton St, Emeryville, CA 94608

・Mr. Mopps ：Martin Luther & Rose

何でも揃うが殆どDiscountは無く、高い。

・Toy Go Around: 1361 Solano Ave. 510-527-1363

Second-hand toysの店で掘り出し物多し。

・Hearth Song ：1805 4th Street

プレイグラウンド

お天気の良い日はアメリカのお母さんたちも子供をつれて公園へ遊びに出かけます。砂場、ブランコ、滑り台などの遊び道具、芝生、ピクニックテーブルなどが用意されていています。あちこちに公園がありますが バークレー、アルバニー近辺で皆さんがよく利用されるところを挙げておきます。

・ Ocean View Park

Ocean View SchoolおよびUC Villageに隣接した公園。こじんまりとしているが、とてもきれい。BBQも出来ます。

・Berkeley Marina 、Emeryville Marina

ピクニックに最適。Berkeley MarinaにはAdventure Playgroundという小さな公園があり、敷地内にある遊具（日本で言えば使用期限をとっくに過ぎた、壊れた遊具など）にペンキを塗ったり板を打ち付けてみたり、子供が自由に扱うことができ、なかなか楽しいです。

・Tot land playground

Berkeley McGee St. とVirginiaの角。公園の周りに柵が設けてあり安全です。まわし付きのブランコ等、おすわり期の赤ちゃんから幼児向けの遊具がたくさん用意されています。

・Albany Memorial Park

Ashbury Ave. とPortland Ave.の角。Albany High School の裏 小さい子供用(0歳-2歳位)と大きい子供用の遊び場がある。近くのデイケアの子供が遊びに来ていて、息子が時々あそんでもらっています。

・Tilden Park little farm

Tilden Regional Park 内 山羊、羊、牛などの動物が飼育されている。ﾒﾘｰｺﾞｰﾗﾝﾄﾞもある。天気のいい夏は、近くの芝生が最高です。

・Codornices Park

Berkeley Rose Garden の近く(Euclid Ave.)

・Monroe Park

UC Village内Monroe St.沿い

その他、多くの公園があります。トライしてみてください。

習い事他

ピアノ教室

松田智子先生 510-526-2660及び510-215-9837

TomokoPiano@Ajita.com

ご自身もリサイタルを開くプロのピアニストで、教え方には太鼓判。卒業生の中には、二人の娘さんが教わったようで、情熱的で厳しくも優しい先生との評判。但し、やる気の無い生徒には容赦無く、やめさせられてしまう子供もしばしばいるらしい)。

体操ジム

University Village

Berkeley YMCA /Albany YMCA

遊戯中心の体操・ダンス教室

Gymboree Play & Music (生後まもなく～)

El Cerrito

704El Cerrito Plaza

510-528-3002

年齢に応じた各種プログラムが用意されている。利用したことはないが、生後まもなくからでも参加できるプログラムもあるよう。この近辺ではEl Cerrito Plazaにある。

スイミング

Berkeley YMCA

Albany Pool(生後6ヶ月から)

El Cerrito Community Center(小学生くらいから)

バレエ

City of Albany Youth Class(3.5歳から)

El Cerrito Community Center(4歳から)

Berkeley City Ballete(5歳から)

店内に遊び場のあるレストラン

Chuckecheese's Pizza El Cerrito Plaza 内

Cafe Creyon 1309 Solano Ave.

おなじみMcDonaldなどこちらでは、ほとんどのレストランが心良く赤ちゃん連れでもOKしてくれます。Kids menuも豊富にあります。

5)子連れママの集い

YWCA, English in Action(火曜10:00-12:00)

http://www.ywca-berkeley.org/

EIAはボランティアのNative speakerと少人数で英会話の練習ができるプログラム。子連れの場合は火曜・午前のAnn先生のクラスを紹介されます。日本人親子が多く、0～2歳の子連れママが参加しています。YWCAの会員になる必要がありますが(年会費$15)、プログラム自体は無料。水曜日の10:00-12:00が受付。

YWCA, The Centre(木曜9:30-12:00)

UCB教授奥様の夫人ボランティアグループによる、外国人奥様のための会。各国の文化紹介や親睦が目的の和気藹々とした会です。ほとんどが子連れで参加しており、おもちゃや遊びスペース

が用意されています。特に登録は必要なく、時間にYWCAに行けばいいだけです。

Berkeley在住日本人ママML

http://groups.yahoo.co.jp/group/berkeley/

現地での子育て情報交換やイベント情報交換など。まずは登録をおすすめします。（現在はMLが一杯のため追加募集を受け付けていないようです。最新情報を入手されるのをお勧めします。）

ESL @ Albany Adult School

受付では子連れは断られますが、実際には先生に相談すれば子連れでも受け入れてもらえることがほとんどです。

Chapter 8 参照

Class of 08の天木は卒業後も米国に居住する予定です。こちらでの妊娠･出産に関するアドバイスが必要な時はご連絡ください。（ただ当方の妻は日本語できません）

連絡先：amakikenichi@yahoo.co.jp

VIII. 各種学校・アクティビティー

奥様方は、英語が話せれば行動範囲が極めて広くなる反面、話せなくても日常生活においてはさほど差し支えないという意見もあります。実際には、皆さん、なにかしらのコースをとって学んでいらっしゃいます。

1. 英語

Albany Adult School, English as Second Language (ELS)

655 Key Route Blvd., Albany 510-559-6580

http://www.albany.k12.ca.us/adult/

3レベルに分かれており、無料で週3回。教室での授業のほかに、美術館、図書館訪問やパーティーなどのプログラムもある。いろいろな国の友達ができる。

Berkeley Adult School, English as Second Language (ELS) 1222 University Ave., Berkeley 510-644-6130

http://bas.berkeley.net/clover.html

内容は上記Albany Adult Schoolとほぼ同様で週5回。ここでは、進学希望者、TOEFL受験者のための準備コース（有料）もある。

YWCA, English in Action

2600 Bancroft Way, Berkeley 510-848-6370

YWCA の会員になる必要あり（年会費15ドル）。プログラム自体は無料。ボランティアのNative speakerを紹介してくれて、週1時間、マンツーマンまたは少人数のグループで英会話の練習ができる。

受付は水曜日10:00-15:00

UCB English Language Program (ELP)

2004年度よりUCBのELPは廃止され、現在プログラムは提供されていません。（噂によると日本人受講生が大幅に減ったためだそうです。）

UCB Extension (UCBキャンパス内その他)

1995 University Ave., Berkeley 510-642-4111

会話力向上、アクセント及びイントネーションの強化、各種ライティング等と英語関係だけでもレベル別に多数講座あり。クラスは10人程度。教師は大学教授等長い経験をもつプロフェッショナル。週1回（3時間）10週間で受講料はおよそ350ドルから400ドル。難点は社会人等にも提供されているプログラムのため、夜間に授業があることが多いこと。キャンパスとはいえ夜は決して女性は一人で歩かない方がよいため、通学の手段に工夫要。（例えばご主人に迎えに来てもらう、等）

2. 英語以外の学校・プログラム

YWCA, The Centre

2600 Bancroft Way, Berkeley

毎週木曜日10:00から12:00。無料。UCB教授陣の夫人ボランティアグループによる外国人の奥様のための会。各国の文化紹介や親睦をねらいとしている。和気藹々とした情報交換、プレゼンテーション、時にBay Area各所へのshort trips等企画は多種。小さなお子さんのいる方も安心して参加でき、友人の枠も広がる。まず最初に参加してみられることをお勧めします。

University YWCA

ここでは前述のEIAのほか様々なプログラムがあり、会員になると割引価格で参加することができる。（例えばエアロビクス、ヨガ、各種ダンス等）ちなみに、例えば、社交ダンスレッスンは年齢層が15-30歳くらいで、若く活気があります。

Albany Adult School

上記参照。

Berkeley Adult School

上記参照。

UCB Extension

http://www.unex.berkeley.edu/prog/

絵画、音楽、写真、カリフォルニアならではのワイン講座等、趣味を広げる講座に加え、コンピューター、ビジネス&マネジメント、環境管理学等の実務科目も数え切れない程開講されている。また、E-mailなどを利用して通学せずに学べるLong DistanceLearningのプログラムやUCBの大学の講義の聴講プログラム（Concurrent program）も用意されている。

VISTA コミュニティーカレッジ

バークレーから最も近い（駅前）のカレッジ。さまざまなコースが用意されている。

http://vistawww.peralta.edu/homex.asp?Q=Homepage

3. 趣味・スポーツ

Recreation Sports Facility, Adult Sports Program

2301 Bancroft Way

エアロビクス、テニス、ゴルフなど多くのプログラムがある。ゴルフは6回で119ドル（学生は77ドル）、エアロビクスは1回8ドル（学生は6ドル、volume割引あり）。

ASUC Art Studio

Telegraph & Bancroft Berkeley, 510-642-3065

http://www.asucartstudio.org/

M.L.K.,Jr. Student Union(生協のビル)の地下で、陶芸、写真、ビデオ、コンピュータ・グラフィックを教えてくれる。

Flower Arrangement

裏千家　San Francisco支部(www.urasenke.org/ufsf_1.htm）

2143 Powell Street

San Francisco, California 94133

415-433-6553　Fax: 415-421-2109

Email: chadosf@aol.com

説明の必要もないが茶道の裏千家の海外支部。京都で本格的に修行した米国人による指導。理路整然とした説明に満足度も大。日本文化に興味のある米国人と交友を持つことも可能。初釜等の単発での参加も可能。

Shizue Thomas　725-825-8607

在米10年以上の日本人の先生で、フレッシュ・フラワーとドライフラワーの両方を教えてくれる。先生のスタジオはConcordだが、3人くらいでグループを組めば自宅にきてくれる。費用は、フレッシュ・フラワーは月2回花材代込みで55ドル。ドライ・フラワーは1回15ドルプラス花材代（25ドルから40ドルくらい）。

Quilting

New Pieces, Solano Ave.　510-527-6779　60ドル。ビギナーからOKで、英語ができなくてもそれなりに分かる。

また、YWCA, The Centreでお世話をされている日本人の方で、週一回7＄で教えてくださっている。詳しくは藤本　信子さん（510-843-5379）までお問い合わせ下さい。

Cooking

Sur　La　Table　(www.surlatable.com)

Address: 1806 Fourth Street

Berkeley, CA 94710

Phone: 510-849-2252

Fax: 510-849-1980

Store Hours: Mon-Sat 9am-7pm、Sun 9:30am-6pm

調理道具専門店。定期的に料理界の著名人を呼んでお料理教室も開催されている。元Chez Paniesseのシェフや、San Franciscoで現在も活躍中のプロのシェフが指導する単発のお料理教室。

Mrs.Lily Pagle 533 Village Ave., El Cerrito

510-527-5665

名古屋出身の先生で、中華、カリフォルニア料理を中心に世界各国のお料理を御自宅で教えてくれる。1回18ドルプラス材料費（約10ドル）。

Ramekins (http://www.ramekins.com/)

450 West Spain Street

Sonoma, California 95476

Telephone: 707-933-0450 ext. 10

Fax: 707-933-0451

Sonomaにある有名料理学校。宿泊施設もある。単発の教室も開催されている。

Tennis

Winning Strokes 510-451-0825

El Cerritoの公営コートで、グループレッスンを行っている。電話、またはEl Cerrito Community Center, 7007 Moeser Lane, El Cerritoのメールボックスにメモを残して問い合わせる。4人から10人くらいのグループで、1回90分15ドル。

さらに興味があれば、地域のチームやUSTAのチームに入ってプレイをすることもできる。

ユーカリ会

在住の日本人夫人方が数十年前に発足した会。アメリカ文化を年2回の会合時に学ぶ(例:Table Setting, Flower Arrangement, Color Analysis等)ほか豊富な情報の入手源。

連絡先:

藤本 信子さん 510-843-5379

小林 幸子(ゆきこ)さん 510-526-4205

全般的に、日本より比較的安い金額で様々なことを習うことができるようです。2年間の長いアメリカ生活。いろいろな国から来ている人たちと友達になり、日本を紹介することによって、いつの間にか文化の坩堝アメリカでの生活に溶け込めるのではないでしょうか。いずれにしても、どんなことにでも積極的に参加することが大切だといえるでしょう。

KEIZAI SOCIETY US-JAPAN BUSINESS FORUM

http://keizai.org/

200ほどのメンバー企業から構成された日米ビジネスフォーラムで、将来の日米間のビジネス関係の発展を目指した活動が行われている。通常はメンバー企業に限った活動が行われているようだが、新年会等のイベントには非会員へも(09年より)門戸を開放し、大規模なネットワーキングの機会を提供している。(最近ではFacebookなどを通じてこれらイベントへ非会員を招待したりしている模様。)

09年の新年会にはClasses of 2009 & 2010の数人が参加したが、ハースの卒業生にもお目にかかると同時に、普段はシリコン・バレーで活躍している個人、企業の方々(日本人に限らず)と知り合う大変良い機会であった。

Silicon Valley Japanese Entrepreneur Network (SVJEN)

http://www.svjen.org/index.html

起業に興味をもっておられる方は是非メールリストに登録すると良いでしょう。もともとは、日本人の起業家、これから起業を目指している日本人、そして起業をサポートしたい日本人を一緒に纏めるために2002年に組織化された団体で、お互いネットワーキングをしながら、協業していく機会を提供するプラットフォームとなっています。定期的にラウンドテーブルも開催されており、その他にも起業という観点で各種講演などもかなり頻繁に企画されているので(たまには有名人をスピーカーに呼んだりして)、興味があれば参加できます。

SVJENの活動には日本政府、JETRO(日本貿易振興機構)なども側面支援をしていることもあり、例えばJETROが主催している講演会の情報なども一部SVJENのメールリストを通じて入手することができます。

Japanese Graduates and Researchers Society at Berkeley (JGRS-Berkeley)

2008年秋にUC Berkeley全学部の大学院入学の日本人1年生を中心に、日本人大学院生や研究者(Lawrence Berkeley National Lab所属など地域の研究者含む)が気軽に集まるために立ち上げた団体。2009年2月末に、UC Berkeleyに正式団体として登録されました。会の詳細は、今後詰めていく状況です、新入生の皆様も是非参加し、初年度の活動を創りながら盛り上げていきましょう。